

令和2年度 事業実施報告書

【期間 : 令和2年4月1日～令和3年3月31日】

社会福祉法人 志摩市社会福祉協議会

経過報告・・・・・・・・・・・・・・・・ p. 2

各課の取り組み

I. 法人運営事業

○総務課

1. 法人運営事業・・・・・・・・ p. 3
2. 放課後児童クラブ事業（受託事業）・・・・ p. 14
3. 地域包括支援センター（受託事業）・・・・ p. 16

II. 地域福祉活動推進事業

○地域支援課

1. 地域福祉活動推進事業・・・・・・・・ p. 19
2. 共同募金配分金事業・・・・・・・・ p. 37
3. 生活福祉資金貸付事業（受託事業）・・・・ p. 44
4. 会員サービス事業（法人運営事業に包含）・ p. 46
5. 介護予防事業（受託事業・家族介護教室）・ p. 47
6. 日常生活自立支援事業（受託事業）・・・・ p. 48
7. 生活困窮者自立支援事業（受託事業）・・・・ p. 50

III. 在宅福祉サービス事業

○居宅介護支援課

1. 居宅介護支援事業・・・・・・・・ p. 53

○訪問サービス課

1. 訪問介護事業・・・・・・・・ p. 57
2. 障がい者ヘルパーセンター事業・・・・ p. 60
3. 訪問入浴介護事業・・・・・・・・ p. 62
4. 福祉用具貸与事業・・・・・・・・ p. 64
5. 訪問看護事業・・・・・・・・ p. 65

○通所介護課

1. 通所介護事業・・・・・・・・ p. 68
2. 介護予防事業（受託事業・菜の花館）・・・・ p. 70

○障がい福祉課

1. 障がい者生活介護センター事業・・・・ p. 71
2. 放課後等デイサービスセンター事業・・・・ p. 75
3. 就労支援事業・・・・・・・・ p. 77

経過報告

令和2年度は、昨年度末から続く新型コロナウイルス感染症への対応が全ての事業に優先されました。国が緊急事態を宣言し、様々な活動への自粛協力が要請された結果、昨年度末から受付を開始した生活福祉資金特例貸付の相談が例年の4倍以上となるなど、市内においても経済活動に大きな影響が出ていることを実感させられました。

本会においても、学校の臨時休校に伴う職員の休業、サービスの利用自粛、新型コロナウイルス感染症の拡大予防対策として、施設内への立ち入り制限、各種会議や市の事業監査まで中止や延期が相次ぎました。人と人とのつながり、支え合いを核とする地域福祉の事業はその推進に大きなブレーキがかかることとなり、誰もが見えない不安に心を砕く日々が今なお続いています。このような状況に対応するため、管理職会議を随時開催し、「新型コロナウイルス感染症対策行動計画」を策定、本計画や各種ガイドラインに沿って感染予防対策を徹底し、事業運営にあたりました。

総務課においては、新型コロナウイルス感染症対策と並行し、パートタイム・有期雇用労働法の施行による働き方改革について、作業部会を通じて検討を進め、役員会での協議を経て働き方改革に着手しました。本会の中期発展強化指針にも示されているように労働者の不合理な待遇差解消を本会の健全運営と併せて実現しなければなりません。それには既存の仕組みや既得権を排除する決断も必要となってきます。どの程度の改革が必要か、その達成がいつまでに可能になるのか、将来の運営予測を示し、職員の理解と合意のもとに進めるため、今後も迅速かつ丁寧に議論を重ねる必要があります。

地域支援課では、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受け、その事業推進は困難を極めています。ふれあいいきいきサロンなど住民主体の地域活動が、これまでと同じ形態で行うことができず、全く活動ができない時期がありましたが、活動者の強い意志と必要な感染予防対策を施して活動を再開しています。本会は、活動を支援するため、全国で行われている様々な地域活動の情報、感染予防のガイドラインなどを提供、必要な資器材の準備も支援しました。介護予防の研修会等は、オンラインで行うなど密を避ける工夫をし、事業を進めました。

企画事業部の各事業についても、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、志摩市内の患者が発生した際には接触者として検査結果が判明するまでは自宅待機を命じた職員も散見されるようになったことから、これらのことを教訓として総務部と居宅介護支援課及び訪問サービス課の一部で在宅での勤務が可能になるよう仕組みを整えました。その後職員及び職員の家族に患者が発生した際には、関係する事業所の休止や職員の自宅待機、在宅ワークの実施などの対応を迅速に行い、その影響を最小限としました。企画事業部各課では、課題解決会議を設置し、目の前の課題とともに将来に向けての展望を議論しています。通所介護課では昨年度実績が低下したことに危機感を持ち、利用者のニーズを把握した機能訓練加算を充実させることで、業績回復の道筋をつけ、新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも業績を回復しています。障がい福祉課では、次年度に向け更なる事業統合を検討しており、一部職員には総務課の働き方改革作業部会への参加も行い、オール社協でこの難局を乗り越える努力をしています。しかしながら拠点設備の老朽化に伴う負担も大きく厳しい状況は予断を許しませんが、令和3年度に向け山積する課題の克服に向け感染症対策の徹底とともに不断の努力をまいります。

中区分において掲げた「目標」に対して、下記の5段階の評価基準で事業評価を記載しました。

*中区分の例：P3 総務課 (1) 法人運営

記号	評価基準
A	・計画を大きく上回った
B	・概ね計画どおり
C	・十分ではなく、努力を要する
D	・計画を大きく下回った
E	・未着手、準備中



各課の取り組み

I. 法人運営事業

○総務課（事業方針）

今年度総務課においては、単年度収支均衡に寄与し、効率的かつ効果的な組織運営ができる経営改善を重点として、次のとおり取り組みを行います。

1. 法人運営事業・・・・・・支出予算 83,975千円

(1) 法人運営

(組織運営)

■目標

- ①経営組織のガバナンスの強化、事業運営の透明性の向上等に取り組み、法人運営の強化を図ります。
- ②本会事業の健全経営や透明性を図るため、監事による監査を実施します。
- ③組織機構の再編や事業内容及び実施体制などを見直し、収支の均衡が図れるよう身の丈にあった経営改善に取り組みます。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況		
①定例理事会を開催します。（年3回） また、理事会、評議員会を必要に応じて柔軟に開催します。 ・参考：令和元年度 理事会 8回開催 評議員会 4回開催	100%	①下表のとおり理事会を開催しました。（定例理事会：年3回、臨時理事会：年3回）		
		開催日	決議及び協議事項（○印は協議事項）	出席者
		[第1回] 6月10日	1. 令和元年度事業実施報告について 2. 令和元年度社会福祉事業会計決算について 3. 職員在宅勤務規程の制定について 4. 職員就業規程の一部変更について 5. 嘱託職員就業規程の一部変更について 6. 契約職員・パート職員就業規程の一部変更について 7. 評議員候補者（補欠）の推薦について 8. 令和2年度第1回評議員会の招集について ⑨「社協訪問看護ステーション」及び「社協介護予防訪問看護ステーショ	理事9名 監事2名

			ン」の今後の事業の方向性について	
		[第2回] 9月10日	①社会福祉大会における被表彰者及び被感謝者の審査選考について	理事8名 監事2名
		[第3回書面] 11月18日	1. 令和2年度第2回評議員会の招集について	理事9名 書面協議
		[第4回] 12月18日	1. 令和2年度資金収支第1次補正予算について 2. 中期発展強化指針事業計画書の見直しについて 3. 育児休業等に関する規程の一部変更について 4. 介護休業等に関する規程の一部変更について 5. 顧問の委嘱について	理事8名 監事2名
		[第5回書面] 2月26日	1. 令和2年度第3回評議員会の招集について	理事9名 書面協議
		[第6回] 3月26日	1. 令和2年度資金収支第2次補正予算について 2. 共同募金配分金交付要綱の廃止について 3. 共同募金配分金交付要綱の制定について 4. 自治会福祉活動助成金交付要綱の制定について 5. 志摩市社協ボランティアセンター登録及び助成金交付要綱の廃止について 6. 志摩市社協ボランティアセンター事業実施要綱の一部変更について 7. 学童・生徒のボランティア活動普及事業補助金交付要綱の廃止について 8. 学童・生徒のボランティア活動普及事業実施要綱の廃止について 9. 学童・生徒の福祉活動支援事業実施要綱の制定について 10. 地域ふれあいサロン支援事業実施要綱の一部変更について 11. 地域見守り事業実施要綱の一部変更について 12. 志摩市災害ボランティアセンター設置・運営要綱の制定について 13. 日常生活自立支援事業利用料助成規程の廃止について 14. 職員就業規程の一部変更について	理事8名 監事2名

		<ul style="list-style-type: none"> 15. 職員給与規程の一部変更について 16. 嘱託職員就業規程の一部変更について 17. 契約職員・パート職員就業規程の一部変更について 18. 弔慰見舞規程の一部変更について 19. 職員就業規程等の関連諸規程章条の一部変更について 20. 役員等賠償責任保険契約について 21. 令和3年度事業計画について 22. 令和3年度資金収支予算について 		
<p>②定例評議員会を開催します。（年3回）</p>	<p>100%</p>	<p>②下表のとおり評議員会を開催しました。（定例評議員会：年3回）</p>		
		<p>開催日</p> <p>[第1回] 6月26日</p>	<p>決議及び協議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 1. 令和元年度事業実施報告について 2. 令和元年度社会福祉事業会計決算について 	<p>出席者</p> <p>評議員 12名 会長 1名 副会長 2名 監事 2名</p>
		<p>[第2回] 12月18日</p>	<ul style="list-style-type: none"> 1. 令和2年度資金収支第1次補正予算について 2. 中期発展強化指針事業計画書の見直しについて 	<p>評議員 11名 会長 1名 副会長 1名 監事 2名</p>
<p>③内部監査の仕組みを検討し構築します。</p>	<p>100%</p>	<p>[第3回] 3月26日</p>	<ul style="list-style-type: none"> 1. 令和2年度資金収支第2次補正予算について 2. 令和3年度事業計画について 3. 令和3年度資金収支予算について 	<p>評議員 11名 会長 1名 副会長 2名</p>
<p>④監事監査を実施します。（年2回）</p>	<p>100%</p>	<p>③実施体制や効果について検討した後、内部監査実施要領を定め、下表のとおり内部監査を実施しました。</p>		
		<p>実施日</p> <p>12月9日</p>	<p>内容</p> <p>市内8カ所の事業所を対象に、「内部監査確認チェックリスト」により現金、預金の経理処理、現金受け渡し簿の運用などについて確認しました。</p>	<p>対応者</p> <p>事務局長 総務部長</p>
		<p>④下表のとおり監事監査を実施しました。</p>		
		<p>開催日</p>	<p>内容</p>	<p>出席者</p>

⑤管理職会議を原則毎月1回開催し、運営状況及び方向性の確認と協議を行います。	100%	[第1回] 5月27日	令和2年度決算監査（下記書類を中心に監査） ①令和元年度事業実施報告書 ②令和元年度決算報告書（貸借対照表、資金収支計算書、事業活動計算書など）	監事2名												
		[第2回] 11月19日	令和2年度上半期決算監査（下記書類を中心に監査） ①令和2年度上半期事業実施報告書 ②令和2年度上半期決算報告書	監事2名												
		⑤原則、毎月3水曜日を開催日とし、管理職会議を19回開催しました。主な協議内容は以下のとおりです。 「令和元年度決算概要」「新型コロナウイルス感染症による会員募集の実施方針」「退職者による総務課の職員体制」「新型コロナウイルス感染症による志摩市社会福祉大会の開催方針」「パートタイム・有期雇用労働法への対応」「新型コロナウイルス感染症対策行動計画」「三重県最低賃金改正に伴うパート職員の時間給」「中期発展強化指針事業計画書の見直し」「大王・志摩地域包括支援センターの受託」「新型コロナウイルス感染症に関する母性管理措置」「令和2年度上半期決算状況」「令和2年度人事評価」「事業継続計画（BCP）令和2年度版」「パートタイム・有期雇用労働法への対応に向けた基本設計」「令和3年度組織体制」「定年再雇用の労働条件」「磯部健康福祉センターかがやきの空調機器改修工事」														
⑥役員定年制について協議を開催します。	50%	⑥役員を対象（11名）として、役員の定年制についてアンケート調査を実施しました。														
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>回答</th> <th>数</th> <th>率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. 導入するべき</td> <td>5</td> <td>50%</td> </tr> <tr> <td>2. 導入するべきではない</td> <td>1</td> <td>10%</td> </tr> <tr> <td>3. どちらともいえない</td> <td>4</td> <td>40%</td> </tr> </tbody> </table>			回答	数	率	1. 導入するべき	5	50%	2. 導入するべきではない	1	10%	3. どちらともいえない	4	40%
		回答	数	率												
1. 導入するべき	5	50%														
2. 導入するべきではない	1	10%														
3. どちらともいえない	4	40%														
⑦-1 表のとおり選出母体の役員改選等による一部評議員の辞任に伴い、評議員の補欠を選任する評議員選任・解任委員会を開催しました。																
⑦その他（計画外）		<table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>決議事項</th> <th>出席者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>[第1回] 6月11日</td> <td>1. 評議員（補欠）の選任について</td> <td>委員5名 会長1名</td> </tr> </tbody> </table>		開催日	決議事項	出席者	[第1回] 6月11日	1. 評議員（補欠）の選任について	委員5名 会長1名							
		開催日	決議事項	出席者												
[第1回] 6月11日	1. 評議員（補欠）の選任について	委員5名 会長1名														
⑦-2 市内での新型コロナウイルス感染症の陽性患者の確認に伴い、管理職を構成員とした対策本部会議を18回開催しました。主な協議内容は以下のとおりです。 「市内1～3例目の感染確認情報の整理と対応策の検討」「感染予防の徹底」「新型コロナウイルス感染症対策行動																

		計画（コロナBCP）の作成方針」「在宅勤務の推進」「職員が濃厚接触者と判断された場合の対応」「三重県緊急警戒宣言への対応」「職員が感染したことによる対応」など
--	--	---

■評価

目標の達成度 <table border="1"> <tr> <td>評価</td> <td>B</td> </tr> </table>	評価	B	<ul style="list-style-type: none"> ・定例理事会、評議員会は事業計画、予算、事業報告及び決算を中心として議案を提出し、全議案が承認されました。また、令和2年4月から施行されるパートタイム・有期雇用労働法が求める不合理な待遇差の解消に向け、職員就業規程等の関係規程の変更案を提出し全議案が承認されました。 ・新型コロナウイルス感染症の発生により、在宅勤務を推進する環境を整えるための規定を整備し、関連する就業規程を改正しました。 ・本会が提供するサービスの利用者及び職員が新型コロナウイルス感染症に感染したことにより、新型コロナウイルス感染症対策会議を開催し、その対応方針について協議し対処しました。 ・令和2年度の経営状況は、当期活動増減差額（利益）が5,400万円余りの黒字決算となり、前年対比4,000万円余りの経営改善となりました。経営改善となった主な要因は、収益では通所介護事業において利用者が大幅に増加したことや加算を算定できる事業運営を行ったことから介護保険収益が前年対比2,200万円余り（内約600万円はコロナ対策補助金）増加いたしました。また、費用では正職員の退職による退職給与引当金の繰入額が減少したことなどにより人件費が前年対比1,100万円余り減少いたしました。
評価	B		

（職員管理）

■目標

- ①次世代職員の育成と組織の活性化を目指し、人事制度の効果的な運用と評価につながる研修（計画）の調整・協議を行います。あわせて、相互理解が進む人事異動により、職員の士気高揚に努めます。
- ②各事業場において、正職員・契約職員・パート職員のバランスに注視し、余剰人員が生じないような体制整備を行います。
- ③職員の働き方を見直し、選ばれる職場づくりに努めることで、優秀な人材確保につなげます。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況
①人事評価制度の運用について検証し、制度が成熟するよう改善に取り組みます。	100%	①管理職会議において令和3年度の人事評価マニュアルの改善案について検討し、基本給評価表や長期休暇者への対応などについて整理しました。
②人事評価の精度を高めるための研修を実施	80%	②-1 評価を担当する職員を対象として例年実施してきました人事評価者研修は、新型コロナウイルス感染症の影響に

<p>施し、人事評価の効果的な運用につなげます。</p>		<p>より実施いたしませんでした。令和3年度の正職員の目標設定を職責別に整理した書類を管理職へ配布し、目標設定の課題などについて意見交換を行いました。</p> <p>②-2 下表のとおり新規採用職員研修を開催しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入会式及び施設見学 <table border="1" data-bbox="734 325 2114 501"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>内容</th> <th>出席者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4月1日</td> <td>入会式：辞令交付、管理職紹介 施設見学：本会が運営する主要な事業所の施設見学</td> <td>正副会長3名 管理職7名 新入職員1名</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・新規採用職員研修（主催：志摩市社会福祉協議会） <table border="1" data-bbox="734 549 2114 699"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>内容</th> <th>出席者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4月2日</td> <td>研修内容：社会福祉協議会とは、総務課など各課の業務内容説明 講師：事務局長を含めた管理職</td> <td>管理職7名 新入職員1名</td> </tr> </tbody> </table>	開催日	内容	出席者	4月1日	入会式：辞令交付、管理職紹介 施設見学：本会が運営する主要な事業所の施設見学	正副会長3名 管理職7名 新入職員1名	開催日	内容	出席者	4月2日	研修内容：社会福祉協議会とは、総務課など各課の業務内容説明 講師：事務局長を含めた管理職	管理職7名 新入職員1名
開催日	内容	出席者												
4月1日	入会式：辞令交付、管理職紹介 施設見学：本会が運営する主要な事業所の施設見学	正副会長3名 管理職7名 新入職員1名												
開催日	内容	出席者												
4月2日	研修内容：社会福祉協議会とは、総務課など各課の業務内容説明 講師：事務局長を含めた管理職	管理職7名 新入職員1名												
<p>③新規採用職員、既存職員とも、三重県社協のキャリアパス対応生涯研修課程などを活用し、階層に応じた研修を順次、受講させていきます。</p>	100%	<p>③三重県社会福祉協議会が主催する研修会に参加しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャリアパス対応生涯研修 <table border="1" data-bbox="734 794 2114 1043"> <thead> <tr> <th>開催日等</th> <th>区分</th> <th>内容</th> <th>出席者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2日間</td> <td>チームリーダー</td> <td>研修内容：チームリーダーとしてのキャリアデザインとセルフマネジメントを学ぶ</td> <td>正職員5名</td> </tr> <tr> <td>2日間</td> <td>初任者</td> <td>研修内容：福祉職員としてのキャリアデザインとセルフマネジメントを学ぶ</td> <td>正職員1名</td> </tr> </tbody> </table> <p>※管理職員コースはありませんでした。</p>	開催日等	区分	内容	出席者	2日間	チームリーダー	研修内容：チームリーダーとしてのキャリアデザインとセルフマネジメントを学ぶ	正職員5名	2日間	初任者	研修内容：福祉職員としてのキャリアデザインとセルフマネジメントを学ぶ	正職員1名
開催日等	区分	内容	出席者											
2日間	チームリーダー	研修内容：チームリーダーとしてのキャリアデザインとセルフマネジメントを学ぶ	正職員5名											
2日間	初任者	研修内容：福祉職員としてのキャリアデザインとセルフマネジメントを学ぶ	正職員1名											
<p>④パートタイム・有期雇用労働法による正規雇用と非正規雇用の不合理な待遇差を解消するため、職員就業規程や給与規程等の関係諸規程の見直しをすすめます。</p>	100%	<p>④令和2年7月に事務局長、総務部長、障がい福祉課職員1名及び総務課職員1名により作業部会を再編し、厚生労働省が発行した「不合理な待遇差解消のための点検・検討マニュアル」を基本に、本会の給料、賞与、各種手当、退職金、休暇などの待遇について再点検を行い、待遇差解消のための方策について検討しました。（22回開催）</p> <p>主な協議内容は以下のとおりです。</p> <p>「令和元年度の経過確認及び令和2年度の作業手順の確認」「職務評価方法」「給与見直し案の検証」「待遇差の検証及び改善策の検討」「就業規程変更に伴う職員説明会の開催方法」</p>												
<p>⑤職員給与規程の見直しと併せて長期的な</p>	100%	<p>⑤不合理な待遇差の解消に向けた作業部会において、給与規程の設計変更にあわせて長期的な採用計画についても設計</p>												

職員採用計画について協議を開始します。	していく必要があることを共通認識し、具体的な採用計画は令和3年度より着手することを確認しました。
---------------------	--

■評価

<p>目標の達成度</p> <table border="1" data-bbox="91 400 282 451"> <tr> <td>評価</td> <td>B</td> </tr> </table>	評価	B	<ul style="list-style-type: none"> ・パートタイム・有期雇用労働法が令和2年4月から施行されたことにより、正規社員と非正規社員との間の不合理な待遇差が禁止されました。本会においてもこの法律を遵守するため、給与や退職金、休暇などの不合理な待遇差を検証し、作業部会を立ち上げ改善策について原案を整理いたしました。この原案を基本に就業規程や給与規程などの関係諸規程を整理し、正職員を対象として説明会を開催いたしました。 ・人事評価制度及び長期的な職員採用計画については、現在の給与体系の抜本的な見直しと併せて検討する必要があることを作業部会において共通認識しました。具体的な見直しについては、令和3年度より着手することを確認しました。 ・職員研修は、三重県社会福祉協議会が主催するキャリアパス生涯研修を基本として、各階層の職員を参加させ資質の向上に努めました。
評価	B		

(その他)

■目標

- ①大災害などの非常時において本会の担うべき業務と事業の再開・継続に向けた過程を明らかにするために作成したBCP（事業継続計画）を検証します。
- ②BCP（事業継続計画）と連動した福祉版DCP（地域継続計画）を作成するため、関連部署と連携しながら協議を開始します。
- ③地域福祉センターの老朽化が進んでおり修繕費等の管理費が増大していることから、その在り方について、市と価値観を共有したうえで、収支のバランスが整うよう協議できる体制を要望します。
- ④受託事業に関する迅速な対応を研究します。
- ⑤中期発展強化指針を評価し、修正します。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況
①これまで作成したBCP（事業継続計画）を検証し、実情に応じ修正を行います。	100%	①企画事業部課題解決会議において、利用者及び職員の安否確認方法や食料品の備蓄量など不足している項目について修正するための検討を重ね、令和2年度版BCP(事業継続計画)を整理しました。整理したBCPは、第4回理事会においてその概要を報告しました。
②関連部署と調整のうえ、事業者等と福祉	0%	②令和2年度においては、協議を開始することができませんでした。令和3年度より協議を開始します。

<p>版 DCP の協議を行います。</p> <p>③市とサンライフあご大規模改修に向けた協議を継続します。</p> <p>④他の地域福祉センターの大規模修繕費用については、市に理解を求め、費用負担の軽減に努めます。</p> <p>⑤平成 29 年度に作成した中期発展強化指針（計画期間：平成 30 年度～平成 34 年度）について、平成 30 年度からの 2 年間の取り組み状況を評価し、計画及び具体的指針について修正します。</p>	<p>0%</p> <p>80%</p> <p>100%</p>	<p>③サンライフあごの大規模改修については、市の方針により実施時期が延期（未定）されたことから、市当局との交渉が止まっている状況です。大規模改修に伴う本会の要望等などについては市当局に伝えてあるため、協議は市当局からの依頼により再開します。</p> <p>④サンライフあごの空調設備の修繕など市との協議による負担軽減に努めました。</p> <p>・志摩市地域福祉センターの管理運営（利用者数）</p> <table border="1" data-bbox="757 422 1816 624"> <thead> <tr> <th></th> <th>浜島</th> <th>大王</th> <th>阿児</th> <th>磯部</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4 月～9 月</td> <td>6,364 名</td> <td>4,466 名</td> <td>4,147 名</td> <td>8,215 名</td> </tr> <tr> <td>10 月～3 月</td> <td>5,937 名</td> <td>5,004 名</td> <td>3,264 名</td> <td>8,211 名</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>12,301 名</td> <td>9,470 名</td> <td>7,411 名</td> <td>16,426 名</td> </tr> </tbody> </table> <p>（利用者：通所介護、生活介護、障がい児童デイサービス、ボランティア）</p> <p>⑤中期発展強化指針については、計画担当部署において平成 30 年度からの 2 年間の取り組みを評価し、計画を見直しました。見直した中期発展強化指針は、第 4 回理事会に上程し承認されました。</p>		浜島	大王	阿児	磯部	4 月～9 月	6,364 名	4,466 名	4,147 名	8,215 名	10 月～3 月	5,937 名	5,004 名	3,264 名	8,211 名	合計	12,301 名	9,470 名	7,411 名	16,426 名
	浜島	大王	阿児	磯部																		
4 月～9 月	6,364 名	4,466 名	4,147 名	8,215 名																		
10 月～3 月	5,937 名	5,004 名	3,264 名	8,211 名																		
合計	12,301 名	9,470 名	7,411 名	16,426 名																		

■評価

<p>目標の達成度</p> <table border="1" data-bbox="91 1061 282 1109"> <tr> <td>評価</td> <td>B</td> </tr> </table>	評価	B	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模災害が発生した場合に事業を継続することや早期に事業復旧させることを目的とした基礎的な計画として BCP を令和元年度に策定していますが、災害備蓄物品などの品目や数量の計画などが不足していたことから、計画を実行するための項目を補い令和 2 年度版の BCP を策定しました。 ・経営健全化に向けて作成した中期発展強化指針は、担当部署において進捗状況を確認し、その取り組みを評価した後、計画を見直しました。
評価	B		

(2) 会員サービス事業

■目標

①貴重な自主財源である会費については、自治会及び関係機関、法人等に協力を求め、会費増額に努めます。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況																																																																																															
<p>①会費…特別会費については、加入状況に応じて再募集を実施し、加入者の増加と増収を図ります。（前年比+10件以上）</p> <p>②資料等へ会費の情報を掲載し、納入促進を図ります。</p> <p>③会費納入の依頼の際に、会費の使い道を市民に分かりやすく説明します。</p>	<p>93%</p> <p>70%</p> <p>70%</p>	<p>①特別会費は新型コロナウイルス感染症拡大に対応した事業や会員サービスについての案内文書を同封し、例年通り7月に市内の企業を中心に文書の郵送により協力をお願いしました。今年度は新たに11事業所を追加して協力をお願いしましたが、実績件数、金額ともに減少となりました。</p> <p>②③一般会費の趣意書において、会費の用途をわかりやすく示しました。新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、大王町名田地区は令和2年度実施の全ての寄付及び募金を中止することとしたことから、会費の納入についても中止となりました。他の地区については募集開始の時期が例年より遅れた地区もありましたが、協力いただくことができました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会費・寄附金等の実績 <p>本会の経営基盤の確立と事業の充実を図るため、自治会や関係団体の協力を得て会員加入に向けた取り組みを行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般会費の状況 <table border="1" data-bbox="763 730 2011 906"> <thead> <tr> <th></th> <th>浜島町</th> <th>大王町</th> <th>志摩町</th> <th>阿児町</th> <th>磯部町</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>納入件数</td> <td>1,252件</td> <td>1,239件</td> <td>2,020件</td> <td>2,999件</td> <td>2,142件</td> </tr> <tr> <td>納入金額</td> <td>626,000円</td> <td>602,617円</td> <td>1,023,600円</td> <td>1,451,071円</td> <td>1,070,240円</td> </tr> <tr> <td>納入件数合計</td> <td colspan="2">9,652件〔前年比-506〕</td> <td colspan="3">納入金額合計</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">4,773,528円〔前年比-237,820円〕</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・賛助会費の状況 <table border="1" data-bbox="763 954 2011 1129"> <thead> <tr> <th></th> <th>浜島町</th> <th>大王町</th> <th>志摩町</th> <th>阿児町</th> <th>磯部町</th> <th>市外</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>納入件数</td> <td>21件</td> <td>28件</td> <td>34件</td> <td>58件</td> <td>17件</td> <td>5件</td> </tr> <tr> <td>納入金額</td> <td>69,000円</td> <td>84,000円</td> <td>102,000円</td> <td>179,000円</td> <td>51,000円</td> <td>15,000円</td> </tr> <tr> <td>納入件数合計</td> <td colspan="2">163件〔前年比+6件〕</td> <td colspan="4">納入金額合計</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="4">500,000円〔前年比+22,000円〕</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・特別会費の状況 <table border="1" data-bbox="763 1177 2011 1449"> <thead> <tr> <th></th> <th>浜島町</th> <th>大王町</th> <th>志摩町</th> <th>阿児町</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>納入件数</td> <td>10件</td> <td>22件</td> <td>9件</td> <td>98件</td> </tr> <tr> <td>納入金額</td> <td>65,000円</td> <td>120,000円</td> <td>105,000円</td> <td>600,000円</td> </tr> <tr> <th></th> <th>磯部町</th> <th>市外</th> <th colspan="2">合計</th> </tr> <tr> <td>納入件数</td> <td>35件</td> <td>12件</td> <td colspan="2">186件〔前年比-7件〕</td> </tr> <tr> <td>納入金額</td> <td>295,000円</td> <td>80,000円</td> <td colspan="2">1,265,000円〔前年比-88,000円〕</td> </tr> </tbody> </table>		浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	納入件数	1,252件	1,239件	2,020件	2,999件	2,142件	納入金額	626,000円	602,617円	1,023,600円	1,451,071円	1,070,240円	納入件数合計	9,652件〔前年比-506〕		納入金額合計						4,773,528円〔前年比-237,820円〕				浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	市外	納入件数	21件	28件	34件	58件	17件	5件	納入金額	69,000円	84,000円	102,000円	179,000円	51,000円	15,000円	納入件数合計	163件〔前年比+6件〕		納入金額合計							500,000円〔前年比+22,000円〕					浜島町	大王町	志摩町	阿児町	納入件数	10件	22件	9件	98件	納入金額	65,000円	120,000円	105,000円	600,000円		磯部町	市外	合計		納入件数	35件	12件	186件〔前年比-7件〕		納入金額	295,000円	80,000円	1,265,000円〔前年比-88,000円〕	
	浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町																																																																																												
納入件数	1,252件	1,239件	2,020件	2,999件	2,142件																																																																																												
納入金額	626,000円	602,617円	1,023,600円	1,451,071円	1,070,240円																																																																																												
納入件数合計	9,652件〔前年比-506〕		納入金額合計																																																																																														
			4,773,528円〔前年比-237,820円〕																																																																																														
	浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	市外																																																																																											
納入件数	21件	28件	34件	58件	17件	5件																																																																																											
納入金額	69,000円	84,000円	102,000円	179,000円	51,000円	15,000円																																																																																											
納入件数合計	163件〔前年比+6件〕		納入金額合計																																																																																														
			500,000円〔前年比+22,000円〕																																																																																														
	浜島町	大王町	志摩町	阿児町																																																																																													
納入件数	10件	22件	9件	98件																																																																																													
納入金額	65,000円	120,000円	105,000円	600,000円																																																																																													
	磯部町	市外	合計																																																																																														
納入件数	35件	12件	186件〔前年比-7件〕																																																																																														
納入金額	295,000円	80,000円	1,265,000円〔前年比-88,000円〕																																																																																														

・会費の推移

[単位：円]

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
一般会費	5,334,178	5,115,105	4,989,044	5,011,348	4,773,528
賛助会費	594,000	514,000	461,000	478,000	500,000
特別会費	1,620,000	1,290,000	1,390,000	1,353,000	1,265,000
合計	7,548,178	6,919,105	6,840,044	6,842,348	6,538,528

・寄附金の状況

	浜島町	大王町	志摩町	阿児町
寄附件数	4 件	1 件	6 件	27 件
寄附金額	175,500 円	16,000 円	288,102 円	882,471 円

	磯部町	市外	合計
寄附件数	20 件	2 件	60 件 [前年比：+8 件]
寄附金額	463,594 円	60,300 円	1,885,967 円 [前年比：-2,591,439 円]

※物品のうち 1 万円以上の価値のあるものについては、金額に換算しています。

・寄附金額の推移

[単位：円]

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
寄附金	2,840,084	2,358,809	2,844,678	4,477,406	1,885,967

④その他（計画外）

④-1 広報活動の推進

・広報誌やホームページを活用して、本会の役割や活動などの情報提供・発信に努めました。

〈1〉志摩市社会福祉協議会ホームページの運営 [[https:// www.shima-fukushikyo.or.jp](https://www.shima-fukushikyo.or.jp)]

内容 / 事業紹介、各種情報提供、ブログ（社協日記・市民活動ひろば等）

〈2〉広報誌「志摩市社協だより」の発行

発行回数 / 計6回発行（奇数月の1日発行）

A4版2色刷り（4ページ） / 約16,300部発行（1回あたり）

〈3〉フェイスブックの活用

リアルタイムで本会の事業予定、活動内容、福祉情報等を提供しました。

④-2 令和2年度志摩市社会福祉大会の開催

	<p>・多年にわたり地域福祉の向上に率先して、ご尽力、ご協力をいただいた方々の功績に敬意と感謝の意を表すことを目的とした志摩市社会福祉大会は、新型コロナウイルス感染症の影響により、参加対象者を限定するなど開催規模を縮小して実施しました。</p> <p>開催日 / 令和2年10月26日（月）13:00～14:00 場所/阿児アリーナ</p> <p>内容 / 顕彰</p> <p>顕彰者数 / 志摩市社会福祉功労表彰 個人：12名 団体：6団体 三重県社会福祉功労表彰 個人：8名 団体：4団体 社会福祉功労感謝 個人：6名 団体（法人）：6団体</p> <p>延べ参加者数/ 約100名</p>
--	---

■評価

<p>目標の達成度</p> <table border="1" data-bbox="91 708 282 756"> <tr> <td>評価</td> <td>B</td> </tr> </table>	評価	B	<p>・会員募集については、新型コロナウイルス感染症の影響により、募集中止や募集時期の変更等地域の実情に合わせた対応となりました。賛助会費はわずかに増加しましたが、特別会費、一般会費ともに減少しました。新型コロナウイルス感染症の影響も大きいと思われませんが、本会の活動が住民のみなさまにまだまだ理解や共感が得られていないことも原因かと考えられます。住民のみなさまからの相談に丁寧に対応していくことや、地域の課題を解決する仕組みの創造など社協だからこそできる活動を推し進めていくとともに、社協だよりやホームページなどの工夫により、本会の活動を広く知っていただけるよう取り組んでいきます。</p>
評価	B		

(3) 志摩市連携事業

■目標

①引き続き市（介護・総合相談支援課、生活支援課）に職員を派遣し、市との福祉サービス事業の連携強化を図ります。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況
<p>①定期的に地域支援コーディネーター会議を開催し、地域福祉事業の方向性の確認、実践方法などについて協議し、共有します。</p>	<p>100%</p>	<p>①介護・総合相談支援課に職員1名を派遣しました。町を単位として地域福祉活動に取り組む地域支援コーディネーターと毎月開催する会議などにより連携を図り、地域との協働による地域づくりを推進しました。</p>

②経済的な課題を抱えている市民の相談を受け止め、関係機関と連携を図りながら市民に寄り添った支援を進めます。	100%	②生活支援課に職員1名を派遣し、経済的な生活課題を抱える市民の相談を受け止め、関係機関と連携を図りながら市民に寄り添った支援を進めました。
---	------	---

■評価

<table border="1"> <tr> <td data-bbox="69 376 315 432">目標の達成度</td> <td data-bbox="315 376 2150 493" rowspan="2">・志摩市からの要請を受け、介護・総合相談支援課及び生活支援課にそれぞれ1名の職員を派遣し、その業務効果については一定の評価をいただいています。引き続き、市との福祉サービス事業の連携強化に努めていきます。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="69 432 315 493"> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="69 432 203 493">評価</td> <td data-bbox="203 432 315 493">B</td> </tr> </table> </td> </tr> </table>	目標の達成度	・志摩市からの要請を受け、介護・総合相談支援課及び生活支援課にそれぞれ1名の職員を派遣し、その業務効果については一定の評価をいただいています。引き続き、市との福祉サービス事業の連携強化に努めていきます。	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="69 432 203 493">評価</td> <td data-bbox="203 432 315 493">B</td> </tr> </table>	評価	B
目標の達成度	・志摩市からの要請を受け、介護・総合相談支援課及び生活支援課にそれぞれ1名の職員を派遣し、その業務効果については一定の評価をいただいています。引き続き、市との福祉サービス事業の連携強化に努めていきます。				
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="69 432 203 493">評価</td> <td data-bbox="203 432 315 493">B</td> </tr> </table>		評価	B		
評価	B				

(4) 障がい者雇用促進事業

■目標

①障がい者の法定雇用率を下回らないよう障がい者雇用に取り組みます。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況
①障がい特性に応じた職場配置や業務を検証し、職場定着を推進します。	100%	①②障がい者雇用の状況は、令和2年度実績で身体障がい者5名、知的障がい者2名、精神障がい者1名、合計8名 (常用雇用労働者:3名、短時間労働者[精神、重度]:1名、短時間労働者:3名×0.5=1.5名、週10時間~20時間の労働者:1名、カウント:5.5名であり、法定雇用率(カウント:4名)を上回っている状況です。 ※週10時間~20時間の労働者1名についてはカウント対象外
②法定雇用率が次年度も充足するよう障がい者の採用を検討し、必要に応じて募集します。	0%	

■評価

<table border="1"> <tr> <td data-bbox="69 1181 315 1236">目標の達成度</td> <td data-bbox="315 1181 2150 1295" rowspan="2">・令和2年4月1日現在において法定雇用率は法定要件を上回っていますが、令和3年3月1日より法定雇用率が0.1%引き上げられています。(民間企業:2.2%⇒2.3%)令和3年度においても法定雇用率を遵守し職場定着を推進していくとともに、障がい者雇用について検討していきます。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="69 1236 315 1295"> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="69 1236 203 1295">評価</td> <td data-bbox="203 1236 315 1295">B</td> </tr> </table> </td> </tr> </table>	目標の達成度	・令和2年4月1日現在において法定雇用率は法定要件を上回っていますが、令和3年3月1日より法定雇用率が0.1%引き上げられています。(民間企業:2.2%⇒2.3%)令和3年度においても法定雇用率を遵守し職場定着を推進していくとともに、障がい者雇用について検討していきます。	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="69 1236 203 1295">評価</td> <td data-bbox="203 1236 315 1295">B</td> </tr> </table>	評価	B
目標の達成度	・令和2年4月1日現在において法定雇用率は法定要件を上回っていますが、令和3年3月1日より法定雇用率が0.1%引き上げられています。(民間企業:2.2%⇒2.3%)令和3年度においても法定雇用率を遵守し職場定着を推進していくとともに、障がい者雇用について検討していきます。				
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="69 1236 203 1295">評価</td> <td data-bbox="203 1236 315 1295">B</td> </tr> </table>		評価	B		
評価	B				

2. 放課後児童クラブ事業(受託事業)・・・支出予算 19,252千円

(1) 放課後児童クラブ事業

■目標

①市及び関係機関と協調し磯部及び浜島地域において、放課後児童の健全育成と保護者の就労支援に寄与すべく、事業を運営します。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況																												
① 年2回放課後児童クラブ運営委員会を開催し、保護者及び有識者代表の意見・助言を事業運営に活かしていきます。	100%	①放課後児童クラブ運営委員会を、10月及び2月に開催しました。当該委員会は「保護者の代表」、「浜島・磯部の小学校長」、「主任児童委員」により構成しており、現状の児童クラブ運営状態の把握、またそれぞれの立場からのニーズ及び意見を聞き、今後の放課後児童クラブ事業運営に活かしました。 委員会での協議は、新型コロナウイルス感染症による児童の生活への影響（家庭・学校・児童クラブ）と対応策が主だったテーマとなりました。																												
②必要に応じて利用者ニーズをアンケート等でつかみ、施設の環境整備等を行っていきます。	80%	②令和元年8月に実施したアンケート結果を踏まえ、両放課後児童クラブに新しい支援員を配置し、多様な児童に対応しうる指導体制を構築しました。また磯部放課後児童クラブにおいては自治会及び志摩市との協議により新たな使用スペース（川辺コミュニティセンター1F和室）を確保できましたので、静かに過ごす児童のための部屋として活用できるようになりました。																												
③待機児童への対応のため、定員増に向けた環境整備について関係機関との検討を進めます。	100%	③②での施策により、磯部児童クラブの定員を15名増やし75名としたことで、待機児童に関する課題を解決しました。 ・経営状況																												
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>浜島</th> <th>磯部</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>定員</td> <td>25名</td> <td>75名</td> <td>100名</td> </tr> <tr> <td>延べ利用者数</td> <td>2,295名</td> <td>11,101名</td> <td>13,396名</td> </tr> <tr> <td>[前年比]</td> <td>-611名</td> <td>+1,535名</td> <td>+924名</td> </tr> <tr> <td>1日平均利用者数</td> <td>9名</td> <td>44名</td> <td>53名</td> </tr> <tr> <td>当期利益</td> <td></td> <td></td> <td>1,913,266円</td> </tr> <tr> <td>当期利益増減値 [前年比]</td> <td></td> <td></td> <td>-1,175,199円</td> </tr> </tbody> </table>		浜島	磯部	合計	定員	25名	75名	100名	延べ利用者数	2,295名	11,101名	13,396名	[前年比]	-611名	+1,535名	+924名	1日平均利用者数	9名	44名	53名	当期利益			1,913,266円	当期利益増減値 [前年比]			-1,175,199円
	浜島	磯部	合計																											
定員	25名	75名	100名																											
延べ利用者数	2,295名	11,101名	13,396名																											
[前年比]	-611名	+1,535名	+924名																											
1日平均利用者数	9名	44名	53名																											
当期利益			1,913,266円																											
当期利益増減値 [前年比]			-1,175,199円																											
		<ul style="list-style-type: none"> ・1日平均利用者数は、土曜日を除く。 ・当期利益は約190万円の黒字決算となりましたが、前年比は約117万円減少しました。収益では、延べ利用者数 																												

		は増加したものの、4年生から6年生の利用者数が増加したことにより、利用料の単価が下がったことなどから収益が減少しました。また費用では、磯部事業所の定員を増やしたことによる人件費や給食費の増加、児童館システムの導入による保守料の増加などにより費用が増加しました。
--	--	--

■評価

目標の達成度 <table border="1"> <tr> <td>評価</td> <td>B</td> </tr> </table>	評価	B	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年4、5月は新型コロナウイルス感染症対策による学校の休校とそれに伴う児童の自主休会の影響があり、両放課後児童クラブとも利用者数が著しく減少しましたが、6月以降は徐々に平常時にもどりました。また、新型コロナウイルス感染症対策として“マスクの着用”“施設の常時換気”“手指消毒”等を行い、利用児童数が多い磯部児童クラブでは、児童のいわゆる三密の状態をできる限り減らすために、学童保育室(2F)・和室(1F)・グラウンド(屋外)をフル活用し、児童の居場所の分散化を計りました。
評価	B		

3. 地域包括支援センター(受託事業)・・・支出予算 26,590千円

(1) 浜島・磯部地域包括支援センター事業

■目標

①保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員がチームアプローチによる住民の健康保持及び生活の安定に向けた必要な援助を行うことにより、保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援します。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況																						
①高齢者やその家族からの介護、福祉などに関する相談を総合的に受けるとともに、必要に応じ訪問して実態を把握し、必要なサービスにつなぎます。	160%	①総合相談支援業務 <ul style="list-style-type: none"> 高齢者に関する総合相談窓口として相談支援を行いました。 自宅への訪問や関係者からの情報提供を受け、適切な制度やサービスへつなげました。また、民生委員や生活困窮者自立支援事業担当者、地域支援コーディネーターとの同行訪問も適宜行っています。 地域支援体制づくりのために、個別地域ケア会議の開催や認知症カフェ(オンライン含む)、民生児童委員協議会研修会等へ参加しました。 																						
		<table border="1"> <tr> <td></td> <td>生活 介護</td> <td>介護 保険</td> <td>介護 予防</td> <td>医療</td> <td>経済 問題</td> <td>施設 利用</td> <td>虐待 (権利擁護)</td> <td>福祉 サービス</td> <td>その他</td> <td>合計</td> </tr> <tr> <td>浜島町</td> <td>202件</td> <td>173件</td> <td>1件</td> <td>8件</td> <td>40件</td> <td>7件</td> <td>31件</td> <td>7件</td> <td>18件</td> <td>487件</td> </tr> </table>		生活 介護	介護 保険	介護 予防	医療	経済 問題	施設 利用	虐待 (権利擁護)	福祉 サービス	その他	合計	浜島町	202件	173件	1件	8件	40件	7件	31件	7件	18件	487件
			生活 介護	介護 保険	介護 予防	医療	経済 問題	施設 利用	虐待 (権利擁護)	福祉 サービス	その他	合計												
浜島町	202件	173件	1件	8件	40件	7件	31件	7件	18件	487件														

		磯部町	142 件	177 件	2 件	3 件	3 件	13 件	34 件	5 件	12 件	391 件
		合計	344 件	350 件	3 件	11 件	43 件	20 件	65 件	12 件	30 件	878 件

(参考)	令和元年度実績
浜島町	125 件
磯部町	147 件
合計	272 件

※令和元年度は、10 月から 3 月までの 6 月間の事業受託

100% ②権利擁護業務

- ・虐待通報、相談を受けた案件について、現地への状況確認、相談支援を行いました。志摩市が虐待事例に対して開催するコアメンバー会議にも担当地域包括支援センターとして出席しています。
- ・志摩市介護総合相談支援課や鳥羽警察署との連携を図り、必要時に対応できる体制づくりに努めています。

	浜島町	磯部町	合計
虐待通報件数	6 件	4 件	10 件
虐待認定された件数	2 件	3 件	5 件

(参考)	令和元年度実績		
	浜島町	磯部町	合計
虐待通報件数	4 件	1 件	5 件
虐待認定された件数			

100% ③包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

- ・居宅介護支援事業所のケアマネジャーへ、主任介護支援専門員として随時個別相談・アドバイスを行いました。支援困難事例等への対応指導や、特に虐待事例におけるの同行訪問も行っています。

105% ④介護予防ケアマネジメント業務

- ・要支援者及び事業対象者が要介護状態となることを予防し、または維持するために適切なケアマネジメントを行い

②高齢者の虐待の早期発見・防止のための地域支援体制づくり、成年後見制度の利用促進、消費者被害防止のための情報提供などを行います。

③ケアマネジャーが孤立しないよう、一緒にケアマネジメント過程を振り返ったり、連絡会議などを開催し、他機関との連携が行えるよう支援します。

④要支援者に対する予防給付、要介護・要支援状態となるおそれのある方に対する

<p>介護予防事業が効果的かつ効率的に提供されるための適切なケアマネジメントを行います。</p> <p>⑤要支援者が介護予防サービス等の適切な利用を行うことができるよう、その心身の状況や環境等を勘案し介護予防サービス計画を作成します。</p>	<p>120%</p>	<p>ました。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>自機関</th> <th>委託</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>介護予防ケアマネジメント数</td> <td>478 件</td> <td>345 件</td> <td>823 件</td> </tr> </tbody> </table>		自機関	委託	合計	介護予防ケアマネジメント数	478 件	345 件	823 件			
			自機関	委託	合計								
介護予防ケアマネジメント数	478 件	345 件	823 件										
<p>(参考)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">令和元年度実績</th> </tr> <tr> <th>自機関</th> <th>委託</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>介護予防ケアマネジメント数</td> <td>226 件</td> <td>169 件</td> <td>395 件</td> </tr> </tbody> </table> <p>自機関：浜島・磯部地域包括支援センター 委託：浜島・磯部包括支援センターが業務委託した居宅介護支援事業所（8 事業所）</p>		令和元年度実績			自機関	委託	合計	介護予防ケアマネジメント数	226 件	169 件	395 件		
		令和元年度実績											
	自機関	委託	合計										
介護予防ケアマネジメント数	226 件	169 件	395 件										
		<p>⑤介護予防支援</p> <p>・要支援者が必要な介護予防サービス等を適切に利用できるよう、介護予防計画の作成を行いました。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>自機関</th> <th>委託</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>介護予防サービス計画作成数</td> <td>422 件</td> <td>554 件</td> <td>976 件</td> </tr> </tbody> </table>		自機関	委託	合計	介護予防サービス計画作成数	422 件	554 件	976 件			
	自機関	委託	合計										
介護予防サービス計画作成数	422 件	554 件	976 件										
		<p>(参考)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">令和元年度実績</th> </tr> <tr> <th>自機関</th> <th>委託</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>介護予防サービス計画作成数</td> <td>161 件</td> <td>240 件</td> <td>401 件</td> </tr> </tbody> </table> <p>自機関：浜島・磯部地域包括支援センター 委託：浜島・磯部包括支援センターが業務委託した居宅介護支援事業所（8 事業所）</p>		令和元年度実績			自機関	委託	合計	介護予防サービス計画作成数	161 件	240 件	401 件
	令和元年度実績												
	自機関	委託	合計										
介護予防サービス計画作成数	161 件	240 件	401 件										

■評価

<p>目標の達成度</p> <table border="1"> <tr> <td>評価</td> <td>A</td> </tr> </table>	評価	A	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響により各地域での会議や催しが中止され、浜島・磯部地域包括支援センターの認知度を高める活動は限られていました。しかし、民生委員や地域支援コーディネーターとの同行訪問を始めとした、地域により近い個別支援活動を積極的に行った結果、着実に相談件数は増えています。ただし、当センターが浜島町に置かれているためか、浜島地区に比べ磯部地区の相談件数が少なく、今後の課題と考えています。今後も引き続き、地域包括支援センターの機能について啓発し、住民のみなさまに信頼され安心して相談できる拠点づくりを目指します。 ・定期的に志摩市地域包括支援センターと情報共有会議を行い、地域に関する情報交換や地域包括支援センターとしての支援のあり方を検討しています。 ・生活困窮者自立支援事業や地域支援コーディネーターと協働し、社会福祉協議会で地域包括支援センターを受託している強みを活かした活動を行って
評価	A		

	いきます。
--	-------

Ⅱ. 地域福祉活動推進事業

○地域支援課（事業方針）

地域支援課では、地域支援コーディネーターが日々の事業業務と並行して、担当者が相互連携の中、地域訪問や地域開催のふくし座談会等により、少しずつ地域の声を聴かせていただいております。

今年度は、『地域が主体』を念頭に、第3次地域福祉（活動）計画を見つめ直し、住民の皆様とともに、地域にとってより良い地域支援サービスを創っていく必要があります。また、2年後の第4次地域福祉（活動）計画の策定はもとより、3年後、5年後、10年後の志摩市が明るい姿となるよう更なる地域力の強化を求めています。

1. 地域福祉活動推進事業・・・支出予算 49,505千円

（1）地域福祉活動計画推進

■目標

- ①第3次地域福祉活動計画の4年目にあたり、市と連携を図り内容の見直しを行います。
- ②相談支援調整会議と連携し、包括的な支援体制の充実を目指します。
- ③地域支援コーディネーターによる地域コーディネート推進を図ります。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況
①地域福祉活動計画の見直し時期にあたり、ふくし座談会を全地区で実施します。	100%	<p>①地域座談会の実施</p> <p>目的：第4次地域福祉（活動）計画策定に向け、地域の福祉ニーズや生活支援ニーズを把握すること</p> <p>期間：令和2年10月4日～11月27日（計20回）</p> <p>地区：浜島地区（浜島、南張、塩屋）、大王地区（波切、船越、名田、畔名）、志摩地区（片田、布施田） 阿児地区（甲賀、国府、安乗）、磯部地区（杵掛、上之郷、川辺、山原、穴川、三ヶ所、渡鹿野、的矢）</p> <p>参加：市民1回4名程度 計89名（自治会役員、民生委員・児童委員、老人クラブ、福祉委員、活動団体等） 市、社協1回4名程度 計79名（市：健康福祉部、社協：地域支援課、浜島・磯部地域包括支援センタ</p>

ー)

内容：地域福祉（活動）計画についての説明、地域課題についての話し合い

※第4次地域福祉（活動）計画策定に向けた意見集約の場として、計画段階ではふくし座談会の実施としましたが、従来の「ふくし座談会」と明確に分けるため、計画策定にあたっては名称を地域座談会としました。

※従来の「ふくし座談会」は、第3次地域福祉（活動）計画において、地域課題の継続協議の機会として開催するものとして②に掲載しました。

事務座談会の実施

目的：第4次地域福祉（活動）計画策定に向けた協議の場

参加：志摩市地域福祉推進アドバイザー（三重大学 深井教授）、市（地域福祉課、介護・総合相談支援課）
本会（地域支援課）

期日	内 容	出席者
6月30日	1. 事務座談会の進め方について 2. 市民アンケート、地域座談会の進め方について	職員3名
7月28日	1. 「地域福祉計画の策定・改定ハンドブック」について 2. 地域座談会の進め方について	職員3名
8月17日	1. 市民アンケートの内容について 2. 地域座談会の進め方について	職員2名
8月31日	1. 市民アンケートの内容、進め方について 2. 中学生アンケートの進め方について 3. 地域座談会の進め方について（対象地区等）	職員6名
9月24日	1. 中学生アンケートの内容について 2. 地域座談会の進め方について（役割分担等） 3. 地域福祉推進審議会委員の推薦結果について	職員6名
10月22日	1. 地域座談会の進捗状況確認 2. 地域福祉推進審議会の進め方について	職員6名
11月24日	1. 地域福祉推進審議会の振り返り 2. 第4次計画策定に向けた検討体制について	職員5名

<p>②前年度までのふくし座談会で出された方策の実現に向けて、継続的に協議する場を作っていきます。</p> <p>③地域支援コーディネーターと相談支援調整会議の定期的な連携会議により、包括的な支援に向けた話し合いを進めます。 (月1回)</p>	<p>80%</p> <p>100%</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="770 150 958 248">1月5日</td> <td data-bbox="958 150 1966 248"> 1. 第3次地域福祉(活動)計画の総括方法について 2. 地域福祉推進審議会の進め方について </td> <td data-bbox="1966 150 2145 248">職員6名</td> </tr> <tr> <td data-bbox="770 248 958 347">2月18日</td> <td data-bbox="958 248 1966 347"> 1. 地域福祉推進審議会の準備について 2. 策定委員会委員の選定について </td> <td data-bbox="1966 248 2145 347">職員5名</td> </tr> <tr> <td data-bbox="770 347 958 494">3月23日</td> <td data-bbox="958 347 1966 494"> 1. 策定委員会の進め方について 2. 令和3年度地域座談会について 3. 策定委員会分科会について </td> <td data-bbox="1966 347 2145 494">職員6名</td> </tr> </table>	1月5日	1. 第3次地域福祉(活動)計画の総括方法について 2. 地域福祉推進審議会の進め方について	職員6名	2月18日	1. 地域福祉推進審議会の準備について 2. 策定委員会委員の選定について	職員5名	3月23日	1. 策定委員会の進め方について 2. 令和3年度地域座談会について 3. 策定委員会分科会について	職員6名																	
		1月5日	1. 第3次地域福祉(活動)計画の総括方法について 2. 地域福祉推進審議会の進め方について	職員6名																								
2月18日	1. 地域福祉推進審議会の準備について 2. 策定委員会委員の選定について	職員5名																										
3月23日	1. 策定委員会の進め方について 2. 令和3年度地域座談会について 3. 策定委員会分科会について	職員6名																										
<p>②浜島町南張地区、志摩町和具地区において、地域課題(買い物課題など)に対する取り組みについて話し合いました。また、上記地域座談会においても、協議の場を持つことができました。</p> <p>③相談支援調整会議との連携会議</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="790 735 958 783">期日</th> <th data-bbox="958 735 1966 783">内 容</th> <th data-bbox="1966 735 2145 783">出席者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="790 783 958 932">4月22日</td> <td data-bbox="958 783 1966 932"> 1. 各部署の事務担当について説明 2. 各担当部署からの情報提供・情報共有(新型コロナウイルス感染症対応含む) 3. 個別ケース(困難ケース)の情報共有 </td> <td data-bbox="1966 783 2145 932">職員6名</td> </tr> <tr> <td data-bbox="790 932 958 1080">5月27日</td> <td data-bbox="958 932 1966 1080"> 1. 各部署の事務担当について説明 2. 各担当部署からの情報提供・情報共有(新型コロナウイルス感染症対応含む) 3. 個別ケース(困難ケース)の情報共有 </td> <td data-bbox="1966 932 2145 1080">職員3名</td> </tr> <tr> <td data-bbox="790 1080 958 1179">6月24日</td> <td data-bbox="958 1080 1966 1179"> 1. 各部署の事務担当について説明 2. 各担当部署からの情報提供・情報共有(新型コロナウイルス感染症対応含む) </td> <td data-bbox="1966 1080 2145 1179">職員4名</td> </tr> <tr> <td data-bbox="790 1179 958 1227">7月22日</td> <td data-bbox="958 1179 1966 1227"> 1. 各担当部署からの情報提供・情報共有(新型コロナウイルス感染症対応含む) </td> <td data-bbox="1966 1179 2145 1227">職員6名</td> </tr> <tr> <td data-bbox="790 1227 958 1275">8月26日</td> <td data-bbox="958 1227 1966 1275"> 1. 各担当部署からの情報提供・情報共有(新型コロナウイルス感染症対応含む) </td> <td data-bbox="1966 1227 2145 1275">職員6名</td> </tr> <tr> <td data-bbox="790 1275 958 1323">9月23日</td> <td data-bbox="958 1275 1966 1323"> 1. 各担当部署からの情報提供・情報共有(新型コロナウイルス感染症対応含む) </td> <td data-bbox="1966 1275 2145 1323">職員6名</td> </tr> <tr> <td data-bbox="790 1323 958 1370">10月21日</td> <td data-bbox="958 1323 1966 1370"> 1. 各担当部署からの情報提供・情報共有(新型コロナウイルス感染症対応含む) </td> <td data-bbox="1966 1323 2145 1370">職員3名</td> </tr> <tr> <td data-bbox="790 1370 958 1422">11月24日</td> <td data-bbox="958 1370 1966 1422"> 1. 各担当部署からの情報提供・情報共有 </td> <td data-bbox="1966 1370 2145 1422">職員3名</td> </tr> </tbody> </table>	期日	内 容	出席者	4月22日	1. 各部署の事務担当について説明 2. 各担当部署からの情報提供・情報共有(新型コロナウイルス感染症対応含む) 3. 個別ケース(困難ケース)の情報共有	職員6名	5月27日	1. 各部署の事務担当について説明 2. 各担当部署からの情報提供・情報共有(新型コロナウイルス感染症対応含む) 3. 個別ケース(困難ケース)の情報共有	職員3名	6月24日	1. 各部署の事務担当について説明 2. 各担当部署からの情報提供・情報共有(新型コロナウイルス感染症対応含む)	職員4名	7月22日	1. 各担当部署からの情報提供・情報共有(新型コロナウイルス感染症対応含む)	職員6名	8月26日	1. 各担当部署からの情報提供・情報共有(新型コロナウイルス感染症対応含む)	職員6名	9月23日	1. 各担当部署からの情報提供・情報共有(新型コロナウイルス感染症対応含む)	職員6名	10月21日	1. 各担当部署からの情報提供・情報共有(新型コロナウイルス感染症対応含む)	職員3名	11月24日	1. 各担当部署からの情報提供・情報共有	職員3名	
期日	内 容	出席者																										
4月22日	1. 各部署の事務担当について説明 2. 各担当部署からの情報提供・情報共有(新型コロナウイルス感染症対応含む) 3. 個別ケース(困難ケース)の情報共有	職員6名																										
5月27日	1. 各部署の事務担当について説明 2. 各担当部署からの情報提供・情報共有(新型コロナウイルス感染症対応含む) 3. 個別ケース(困難ケース)の情報共有	職員3名																										
6月24日	1. 各部署の事務担当について説明 2. 各担当部署からの情報提供・情報共有(新型コロナウイルス感染症対応含む)	職員4名																										
7月22日	1. 各担当部署からの情報提供・情報共有(新型コロナウイルス感染症対応含む)	職員6名																										
8月26日	1. 各担当部署からの情報提供・情報共有(新型コロナウイルス感染症対応含む)	職員6名																										
9月23日	1. 各担当部署からの情報提供・情報共有(新型コロナウイルス感染症対応含む)	職員6名																										
10月21日	1. 各担当部署からの情報提供・情報共有(新型コロナウイルス感染症対応含む)	職員3名																										
11月24日	1. 各担当部署からの情報提供・情報共有	職員3名																										

④地域課題の把握、検討を通じた地域づくりを進めます。（月10地区以上の地域訪問）	100%		2. 地域座談会についての振り返り																					
		12月23日	1. 各担当部署からの情報提供・情報共有				職員6名																	
		1月27日	1. 各担当部署からの情報提供・情報共有（新型コロナウイルス感染症対応含む） 2. 個別ケースの情報共有				職員5名																	
		2月24日	1. 各担当部署からの情報提供・情報共有（新型コロナウイルス感染症対応含む） 2. 第3次地域福祉（活動）計画 評価調書について検討				職員5名																	
		3月24日	1. 各担当部署からの情報提供・情報共有（新型コロナウイルス感染症対応含む）				職員5名																	
		※市健康福祉部各課担当者と地域支援コーディネーター等で構成																						
④地域訪問活動																								
自治会、民生委員、サロンなど地域活動の機会や必要に応じて訪問活動を実施しました。																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>浜島町</th> <th>大王町</th> <th>志摩町</th> <th>阿児町</th> <th>磯部町</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>訪問活動</td> <td>223回</td> <td>190回</td> <td>229回</td> <td>195回</td> <td>191回</td> </tr> </tbody> </table>								浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	訪問活動	223回	190回	229回	195回	191回						
	浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町																			
訪問活動	223回	190回	229回	195回	191回																			
実態把握活動（地域アセスメント、個別ケース）																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>浜島町</th> <th>大王町</th> <th>志摩町</th> <th>阿児町</th> <th>磯部町</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域アセスメント</td> <td>8件</td> <td>13件</td> <td>7件</td> <td>20件</td> <td>9件</td> </tr> <tr> <td>個別ケース</td> <td>55件</td> <td>33件</td> <td>25件</td> <td>27件</td> <td>6件</td> </tr> </tbody> </table>								浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	地域アセスメント	8件	13件	7件	20件	9件	個別ケース	55件	33件	25件	27件	6件
	浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町																			
地域アセスメント	8件	13件	7件	20件	9件																			
個別ケース	55件	33件	25件	27件	6件																			

■評価

目標の達成度	<ul style="list-style-type: none"> 第4次地域福祉（活動）計画の策定に向けて、定期的に志摩市担当部局との協議の場を作ることができました。引き続き、市と連携を図り内容の見直しを進めていきます。 地域支援コーディネーターと相談支援調整会議の定期的な連携会議は、計画どおり月1回実施し、新型コロナウイルス感染症などの状況及び支援について市関係部署との情報共有による連携をとることができました。引き続き、包括的な支援検討の場となるようにしていきます。 地域支援コーディネートについては、地域への訪問活動や実態把握を重ね、地域課題の把握や検討を通して地域づくりを進めていますが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり訪問活動が進みにくい現状もありました。令和3年度は、具体的な方策の実現に向けたコーディネートを進めていきます。
評価	

(2) 生活支援体制整備事業

■目標

- ①総合事業にかかる地域での取り組み状況を把握し、地域住民と協同で地域資源開発の仕組みづくりを進めます。
- ②協議体（第3層）の立ち上げ支援を行うと共に、第2層協議体の在り方について検討していきます。
- ③地域アセスメントや地域組織化などの手法やコミュニティソーシャルワークによる地域ネットワークのしくみづくりを進めるための技術や知識を習得し、質の高い地域支援を行います。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況
<p>①支え合い研修会の受講生を中心に、地域づくりや地域課題への取り組みについて継続的に話し合う場を作り、活動への支援と開発を一体的に進めていきます。 (各地区)</p>	50%	<p>①地域づくりや地域課題への取り組みについて、自治会や民生委員・児童委員等に働きかけ、話し合う場をもちました。(浜島町南張地区、志摩町和具地区、志摩町間崎地区)</p> <p>支え合い研修会参加者を対象とした、地域課題検討の機会については、新型コロナウイルス感染拡大の影響から会議が中止となり、取り組みを進めることはできませんでした。</p>
<p>②地域づくりの関係者(自治会や活動者等)で協議体の構成をするための基盤づくりを進め、地域に合った地域力向上に向けた協議をする場づくりを進めます。 (各地区)</p>	50%	<p>②ふくし座談会等、地域づくりの関係者が話し合う場を協議体と位置づけています。下半期には、地域座談会において協議の場を持ちました。</p> <p>※(1)地域福祉活動計画推進①参照</p>
<p>③地域アセスメントやコーディネート機能を担うことができるように、技術や知識の習得に努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活支援コーディネーター研修への参加(年1回) ・三重県社協主催の研修会への参加(年2回) 	100%	<p>③質の高い地域支援を行うことができるように、下記研修会へ参加しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域支援コーディネーター研修会の開催(内部研修) 日時:5/15、7/20、9/24、12/8 会場:磯部健康福祉センターかがやき 参加:地域支援コーディネーター5名 内容:「ふれあいサロン支援事業について」「ボランティアセンターについて」「地域アセスメントについて」 ・生活支援コーディネーター養成研修 日時:11月10日(火)13:30~16:00 会場:磯部健康福祉センターかがやき(オンライン参加) 参加:地域支援コーディネーター3名

<p>④支え合い体制づくりの充実に向けて、支え合い推進員研修会を開催します。 (年1回)</p>	<p>0%</p>	<p>内容：生活支援コーディネーターと協議体の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活支援コーディネーター研究協議会 日時：11月16日（月）9：30～12：00 会場：磯部健康福祉センターかがやき（オンライン参加） 参加：地域支援コーディネーター6名 内容：地域包括ケアシステムの構築と介護予防事業等の施策動向について他 在宅医療・介護連携推進事業情報交換会 日時：5月12日（火）19：00～20：30 会場：磯部健康福祉センターかがやき（オンライン参加） 参加：地域支援コーディネーター2名 内容：新型コロナウイルス感染症における緊急事態措置中の高齢者の支援について 相談支援包括化推進員等養成事業 <table border="1" data-bbox="808 711 2145 1110"> <thead> <tr> <th>期日</th> <th>内 容</th> <th>出席者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9月30日</td> <td>地域共生社会に向けた包括的支援と重層的支援体制整備事業について</td> <td>職員5名</td> </tr> <tr> <td>10月13日</td> <td>重層的支援体制整備事業にかかる事業説明</td> <td>職員4名</td> </tr> <tr> <td>11月27日</td> <td>ひきこもりの実態把握と支援力向上～家族支援を通じて家族と本人を支える～</td> <td>職員1名</td> </tr> <tr> <td>12月24日</td> <td>他機関の協働による外国人住民の支援</td> <td>職員2名</td> </tr> <tr> <td>1月25日</td> <td>精神障がい者の理解と地域共生社会について</td> <td>職員2名</td> </tr> <tr> <td>1月27日</td> <td>他機関協働による包括的相談支援の実践</td> <td>職員4名</td> </tr> <tr> <td>2月18日</td> <td>相談支援従事者の感情制御について</td> <td>職員2名</td> </tr> </tbody> </table> <p>会場：磯部健康福祉センターかがやき（オンライン参加）</p> <p>④今期の開催は見合わせました。新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、生活支援サービスの担い手や拠点づくりにおける地域支援員など、具体的な活動に結びつけられるような研修の機会を次年度に進めていきます。</p>	期日	内 容	出席者	9月30日	地域共生社会に向けた包括的支援と重層的支援体制整備事業について	職員5名	10月13日	重層的支援体制整備事業にかかる事業説明	職員4名	11月27日	ひきこもりの実態把握と支援力向上～家族支援を通じて家族と本人を支える～	職員1名	12月24日	他機関の協働による外国人住民の支援	職員2名	1月25日	精神障がい者の理解と地域共生社会について	職員2名	1月27日	他機関協働による包括的相談支援の実践	職員4名	2月18日	相談支援従事者の感情制御について	職員2名
期日	内 容	出席者																								
9月30日	地域共生社会に向けた包括的支援と重層的支援体制整備事業について	職員5名																								
10月13日	重層的支援体制整備事業にかかる事業説明	職員4名																								
11月27日	ひきこもりの実態把握と支援力向上～家族支援を通じて家族と本人を支える～	職員1名																								
12月24日	他機関の協働による外国人住民の支援	職員2名																								
1月25日	精神障がい者の理解と地域共生社会について	職員2名																								
1月27日	他機関協働による包括的相談支援の実践	職員4名																								
2月18日	相談支援従事者の感情制御について	職員2名																								

■評価

<p>目標の達成度</p>	<p>・昨年度に継続して同じ地域支援コーディネーターが担当したことにより、関係機関や団体との関係づくりは円滑に進めることができました。しかし、</p>
---------------	---

評価	C	<p>昨年度末から拡大している新型コロナウイルス感染症の収束の見通しは立たず、地域における活動は中止、自粛を余儀なくされ、いかに地域支援を進めていくか手探りの一年でした。ふくし座談会、地域座談会等を通して話し合いの場をつくり、協議体を構成するための基盤づくりは進みましたが、具体的な方策に結びつくには至っておらず、引き続き地域住民と協同で地域資源開発の仕組みづくりを進めていきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響によりオンライン開催となる研修会が多く、今まで以上に参加する機会が増えました。引き続き、地域支援コーディネーターとして、技術や知識の習得に努めつつ、質の高い地域支援を行うことができるように、研修会への参加と定例会議を通じた学びの場を継続していきます。
----	---	---

(3) 地域生活拠点づくり事業（市受託事業）

■目標

①間崎地区「もやい」

拠点の運営・活用や地区の課題解決に向け、もやい運営協議会、市や支援者、企業、「つばさ（和具地区拠点）」の連携を支援します。また、拠点運営、健康づくりや余暇活動において地域住民がやりがいと役割が持てるよう支援します。

②新拠点

新拠点の設置を目指し、住民主体の取り組みを進めます。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況
<p>①間崎地区「もやい」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員を派遣します。 （月2日～週1日程度） ・買い物課題の解決に向けて、もやい運営協議会と企業の連携を支援します。 （ショップ・買い物ツアー） ・健康づくり、余暇活動の取り組みをもやい運営協議会と連携して協力員主体で進めます。 	80%	<p>①間崎地区「もやい」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民主体による「もやい」の運営を進めています。 ・「もやい」の生活支援メニューのひとつとして、買い物支援（ショップ運営）を住民が主体となって運営しています。もやい協力者との協議やショップ作業の研鑽を重ねています。 ・買い物支援（ショップ運営）について、週1回職員を派遣しています。 ・地域支援員は6名（6月から1名増員）となり、運営協議会（協議体）のメンバーとして、また、買い物支援スタッフとして、やりがいを見い出した中で活躍しています。また、運営協議会を2回開催し、「もやい」の現状共有と見直しについて話し合いました。 ・8/1にはショップオープンから1周年を迎え、新型コロナウイルス感染症の影響のため規模を縮小してイオン阿児

<p>・拠点つばさにかかわる協力員と合同会議を実施します。 (月1回)</p>	<p>店、志摩市、本会が地域を激励するため1周年を祝いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染予防のため『「もやい」で買い物ができるおかげでおよそ2ヵ月間島外へ出かけず生活できた』という住民の声や、お米や飲料ケース等の重い品物は注文者宅前へ地域支援員が配達するなど、拠点の買い物支援と地域支援員の有用性や活躍が見受けられます。 ・持続可能な取り組みに向けて、住民ボランティアや市役所とともに財源確保について協議を行い、次年度においては引き続き地域生活拠点づくり事業で継続することとなりました。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>*陳列販売：月・水・金 9：00～11：30（約250品目） *受注販売：注文受付…月・金 9：00～11：30、販売…金 10：00頃～11：30 *商品調達…イオン阿児店、商品運搬・販売・在庫管理…住民ボランティア</p> </div> <p>地区内外の資源等や拠点間の連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・和具地区（地域交流拠点つばさ）と月1回程度の合同会議を継続しており、情報共有やつばさ支援員の支援や交流機会をスムーズに行っています。 ・和具地区（地域交流拠点つばさ）は、平成30年度で志摩市からの受託事業が終了したものの、引き続きつばさ地域支援員による「もやいいきいきショップ」のレジスター調整や間崎サロンの運営協力などの支援が得られています。 ・地域支援員と連携して、間崎いきいきサロンを月1回程度計画していますが、新型コロナウイルス感染症の影響から活動を休止しており、10月より再開しました。 ・志摩市及び三重大学深井研究室と進捗状況を共有しながら、「もやい」の展開について適宜協議を実施しています。 <p>和具地区 地域交流拠点つばさ（受託事業外）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・午前中は本会の志摩町拠点（事務所）として、午後や休日は地域協力員の自由な発想で相談・打合せ・サロンなどで使用しています（新型コロナウイルス感染症の影響で休止する期間がありました）。 ・地域支援員4名が中心となり「つばさ」を活用して、サロンや朝市等の交流の場を地域住民とともに運営しています。 ・地域支援員でもある「わいわいマルシェ」のメンバーが中心となり、志摩町和具の休耕農地を再生し、農業を通じた主体的な住民参加の介護予防事業という新たな取り組みが始まりました（名称：ぷらっと農園）。 ・拠点運営会議開催 拠点運営会議を月1回開催し、つばさ運営の振り返りと新しい企画について話し合っています。また、「つばさ」、「もやい」が合同で協議機会を持っています。さらに、「つばさ」を活動拠点とする傾聴ボランティア「こ
---	--

<p>②新拠点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会をはじめ、地域住民とともに地域把握（地域実態の調査や課題検討）をします。 ・課題解決に向けて拠点（協議体・拠り所）の設置を進めます。 ・拠点を活用した課題解決の仕組みを作ります。 ・拠点（3層）へ2層支援者の連携をコーディネートします。 	<p>70%</p>	<p>ころ」もこの運営会議へ参加しました。（新型コロナウイルス感染症の影響で休止する期間がありました）</p> <p>②南張地区</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者のみの世帯を対象に生活状況実態調査（生活課題や買い物実態等の聞き取り調査）を実施しました。 ・実施した調査結果を地域のコアメンバーや市と共有し、持続可能な拠点づくりについて協議しました。 ・また地域住民への調査を実施し、ニーズの精査を行いました。そのうえで、南張地区に必要とされる生活拠点の在り方の検証と地域実践の仕組みとして福祉委員会の設置について提案しました。 ・浜島町まちづくり委員会とは、同じ地域を考える組織として、情報連携を図っています。
---	------------	--

■評価

<p>目標の達成度</p> <table border="1" data-bbox="91 836 282 887"> <tr> <td>評価</td> <td>B</td> </tr> </table>	評価	B	<p>①間崎地区「もやい」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・買い物支援事業の新展開により本会パート職員を地域支援員のサポートや作業指導のため派遣しています（週1日）。 ・注文者や売上の増加、地域の声などから、「もやい」の買い物支援は間崎地区住民にとってなくてはならない存在となったと考えられます。 ・他の生活支援メニューは、間崎サロンで実施しています。また、救急医療情報キットの配付にあたり、ポスターの掲示や対象となる住民への情報シートの配付については協力を得ています。 ・持続可能な拠点及び買い物支援事業を目指して、引き続き島内外の人材を含む地域資源や財源確保について住民や行政と取り組んでいきます。 <p>②南張地区</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施した調査結果を地域のコアメンバーと共有し、地区に必要とされる持続可能な拠点について協議しました。 ・調査及び協議結果から、困り感を抱いている住民が少ない現状でしたが、5年後には困り感を抱く人の増加が懸念されます。 ・今後のことを見据え、福祉委員会の設置についてコアメンバーと検討します。 ・また、南張地区には医療や介護分野の資源があることから、医療・介護・住民が連携する地域包括ケアシステムの構築を目指して協議を進めていきます。 ・浜島町まちづくり委員会とは引き続き、協議・情報交換の機会を持ちます。
評価	B		

(4) 災害ボランティアセンターの運営準備

■目標

①有事に備え、災害ボランティアセンターが円滑に運営できるよう準備していきます。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況
<p>①災害ボランティアセンターの運営マニュアルに基づき、災害の規模に応じた別冊版策定による具体的な検討を行います。</p> <p>(11月まで)</p>	70%	<p>①災害ボランティアセンター運営マニュアルの作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害規模に応じた災害ボランティアセンターの設置場所について、公共施設及び民間施設の活用について市役所へ情報提供（提案）しました。現実的なセンターの設置場所について、候補地を市と協議しました。 ・みえ災害ボランティア支援センター主催の災害ボランティア関係団体研修（8/3、9/4、10/12）へ参加し、SNSを活用した情報共有やリエゾン（行政等連絡員のセンター設置）等について研修しました。 ・災害ボランティアセンター設置運営要綱を施行し運営マニュアルを策定しました（令和3年4月1日より施行）。別冊版運営マニュアルは令和3年度に策定します。
<p>②災害ボランティアセンターの運営協力者の養成に向け、災害ボランティアコーディネーター養成講座を開催します。</p> <p>(年1回)</p>	100%	<p>②災害ボランティアコーディネーター養成講座の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度は、新型コロナウイルス感染症の影響から第1回（2/20、参加23名）のみを開催し、残りを延期しましたが、本年7～8月に残り3回を開催しました。講座の企画については、特定非営利活動法人みえ防災市民会議及び、特定非営利活動法人DRT-JAPAN 三重、畔名自治会、みえ防災コーディネーター志摩の会の協力を得ています。 <p><第2回> 日時：7月30日（木）19：00～21：00 会場：磯部健康福祉センターかがやき 参加：18名 内容：令和元年台風19号被害（大王町畔名地区）復旧報告会、水害復旧のいろは</p> <p><第3回> 日時：8月6日（木）19：00～20：30 会場：磯部健康福祉センターかがやき 参加：18名 内容：災害ボランティアについて学び、考える 日頃のボランティアやスキルを災害ボランティアに活かす</p> <p><第4回> 日時：8月20日（木）19：00～20：45</p>

<p>③養成講座修了者をベースとした（仮称）『志摩市災害ボランティアコーディネーターズ』の組織化と地域ネットワーク化を進めます。</p>	<p>0%</p>	<p>会場：磯部健康福祉センターかがやき 参加：15名 内容：令和2年豪雨災害（九州地方）被災地支援報告会 災害ボランティアセンターを学び、考える</p> <p>・令和2年度開催につきましては、全3回を計画し、9月18日より実施しています（受講者18名程）。災害ボランティアセンターの理解を深めながら、新型コロナウイルス感染症の影響下における感染症の知識、センターや支え合いの仕組みを考える内容としています。昨年度に引き続き特定非営利活動法人みえ防災市民会議及び、特定非営利活動法人DRT-JAPAN 三重の協力を得ています。</p> <p><第1回> 日時：9月18日（金）19：00～20：30 会場：磯部健康福祉センターかがやき 参加：14名 内容：災害ボランティアセンターの理解を深める</p> <p><第2回> 日時：10月8日（木）19：00～20：30 会場：磯部健康福祉センターかがやき 参加：16名 内容：新型コロナウイルス感染症と被災者支援を考える</p> <p><第3回> 日時：10月22日（木）19：00～20：30 会場：磯部健康福祉センターかがやき 参加：15名 内容：コロナ禍における災害ボランティアセンターの運営を考える</p> <p>③令和2年度の全講座終了後に、講座修了者の交流の機会等を用いて組織化とネットワーク化を進める計画でしたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響から次年度へ持ち越します。</p>
--	-----------	---

■評価

<p>目標の達成度</p>	<p>・市役所と災害ボランティアセンターの設置場所を協議し、センター設置候補場所をマニュアルへ反映させて、完成しました。また、災害規模（地震・津</p>
---------------	--

評価	B	<p>波や風水害等) に応じたマニュアルを次年度に策定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害ボランティアコーディネーター養成講座は、昨年度に延期した分と今年度の講座を開催しました。受講者は災害ボランティアコーディネートの必要性や有用性の認識が高くコーディネーターとして協力いただけるものと期待ができます。講座修了者の組織化またはネットワーク化は新型コロナウイルスの影響から次年度へ持ち越します。
----	---	--

(5) 災害時要援護者支援

■目標

- ①災害時に支援が必要な高齢者、障がい者などを地域が把握をし、助け合いにつながるよう志摩市、自治会、民生委員などと連携して災害時要援護者台帳の整備を支援します。また、自主避難や要援護者支援について検討していきます。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況
①地区（自治会、民生委員等）の災害時要援護者支援台帳（支えあいカード）の取り組み状況や活用事例を把握します。	100%	①地域支援コーディネーターが日々の地域支援活動の中で災害時要援護者台帳の取り組み状況や活用事例の把握を行っています。また、取り組んでいる地区には市役所へ支えあいカードの情報提供を進めるとともに、和具地区のように防災世帯台帳の作成や地域に暮らす看護師等の専門職の把握に取り組んでいる地区を確認しています。
②地域主体の自主避難支援の仕組みを市・社協・地域と検討します。 (モデル1地区)	0%	②片田地区にて開催したふくし座談会において、自治会、民生委員児童委員協議会が連携した支えあいカードの取り組みについて提案しましたが、地域主体による自主避難支援の仕組みづくりへの検討にまでは至りませんでした。
③避難行動要支援者訓練(志摩市総合防災訓練時)へ参画します。⇒自治会や民生委員、市、社協で避難支援が必要な要支援者を把握確認し、避難ルートや避難に必要な支援について検討します。(年1回)	0%	③市役所の防災訓練の一環として実施している避難行動要支援者訓練は、新型コロナウイルス感染症の影響から市役所の方針により今年度は中止となりました。
④引き続き志摩市と連携を進め、災害時要援護者支援台帳システムの運用方法を検討します。	0%	④令和3年度から新制度（避難行動要支援者制度）へ移行することにより、システムの運用は廃止となり、市役所から貸与されていたシステムは返却しました。しかしながら、地域で取り組まれている旧制度（災害時要援護者台帳）と新制度の整理と有用な活用方法を市役所と連携して提案してきます。

■評価

目標の達成度 評価 C	・災害時要援護者台帳の取り組みについては、地域支援コーディネーターが地域との日頃の接点から把握しています。また、行政・社協と連携した住民主体の避難支援の仕組みづくりである災害時要援護者支援台帳システムは、新制度へ移行することとなりました。次年度に地域への働きかけと具体的な取り組みについて提案します。
----------------	--

(6) 救急医療情報キット配付事業 (受託事業)

■目標

- ①高齢者等の急な傷病など万が一に備えるため、救急医療キットを必要とする独居高齢者や高齢者世帯等に対し、救急時に必要な情報シートを入れたケースを世帯へ配付します。
- ②救急医療情報キットの配付をきっかけに、地域のつながりを確認する機会とし、支え合いや見守りにつながるように地域へ働きかけます。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況
①救急医療情報キットの配付方法や活用について自治会や民生委員と協議して新たな対象者への配付を実施します。 配付時期：令和2年9月から 対象年齢：70歳以上独居高齢者、高齢者世帯等 配付数：令和2年度新規対象者約500世帯 配付方法：自治会・民生委員等と協議し、地域で取り組みやすい方法を検討の上、配付方法を定めます。 情報更新：本人の医療情報等の更新を促します。(年1回)	100%	①救急医療情報キットの配付について今年度対象年齢を迎える方々(新規)を対象に情報キットを配付しました。 新型コロナウイルス感染症拡大の懸念から、当初の計画より前倒しで7月から配付を開始しました。 ・地区の状況に応じて、対象者を確認の上、自治会と民生委員等へ相談・協議の上、配付の時期と方法について検討しました。 ・過年度配付したキット情報について、最新の情報として有事の際に役立つように、配付された対象者向けに社協だよりやチラシにより情報更新の啓発を行いました。

■評価

目標の達成度	・キットを配付することにより、的確かつ迅速な救急対応や近隣の見守り意識の向上を目指し、自治会や民生委員・児童委員、地域団体との連携・協力体制を構築するため協議を進めました。次年度も引き続き協議を重ねながら連携・協力を図り、市民がより暮らしやすいまちづくりを目指します。
評価 B	

(7) 成年後見制度の利用支援

■目標

①認知症、知的・精神障がいなどの障がいにより、判断能力に不安のある人の自己選択や自己決定を支援するため、成年後見制度の利用を支援します。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況																														
①支援に要する財源や担当人員に見合った法人後見支援を継続し実施していきます。	100%	<p>①利用状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>後見</th> <th>保佐</th> <th>補助</th> <th>任意後見</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年度当初受任者数</td> <td>9名</td> <td>2名</td> <td>0名</td> <td>0名</td> <td>11名</td> </tr> <tr> <td>年度内新規受任者数</td> <td>0名</td> <td>0名</td> <td>0名</td> <td>0名</td> <td>0名</td> </tr> <tr> <td>年度内後見終了者数</td> <td>0名</td> <td>0名</td> <td>0名</td> <td>0名</td> <td>0名</td> </tr> <tr> <td>年度末利用者数合計</td> <td>9名</td> <td>2名</td> <td>0名</td> <td>0名</td> <td>11名</td> </tr> </tbody> </table>		後見	保佐	補助	任意後見	合計	年度当初受任者数	9名	2名	0名	0名	11名	年度内新規受任者数	0名	0名	0名	0名	0名	年度内後見終了者数	0名	0名	0名	0名	0名	年度末利用者数合計	9名	2名	0名	0名	11名
	後見	保佐	補助	任意後見	合計																											
年度当初受任者数	9名	2名	0名	0名	11名																											
年度内新規受任者数	0名	0名	0名	0名	0名																											
年度内後見終了者数	0名	0名	0名	0名	0名																											
年度末利用者数合計	9名	2名	0名	0名	11名																											
②制度の利用希望者に対する申立等の相談支援を行います。	70%	②随時対応し、関係機関や団体等へ適切につなげることができるよう支援体制をとっています。																														
③成年後見推進会議へ参加します。 (県社協年1回)	0%	③成年後見推進会議：令和2年度の会議開催はありませんでした。																														
④成年後見連絡会議へ参加します。 (県社協年1回)	0%	④成年後見関連業務担当職員研修会：新型コロナウイルス感染症の影響から会議開催はありませんでした。																														
⑤成年後見制度利用促進基本計画に関する情報収集と研究を行います。	80%	<p>⑤成年後見制度利用促進基本計画について</p> <p>(1)成年後見制度利用促進に関する意見交換会（津家庭裁判所主催）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催なし <p>(2)志摩市と意見交換</p> <ul style="list-style-type: none"> ・志摩市の担当者と基本計画についての意見交換を行いました。 																														

	<ul style="list-style-type: none"> ・市の成年後見サポート組織（中核組織）については、市単独運営の方針であることを確認しました。 <p>◎その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成年後見人等の活動報酬助成について、四日市市社協と名張市社協へ聞き取り調査を行いました。
--	--

■評価

目標の達成度 <table border="1" style="width: 100px; height: 20px;"> <tr> <td style="width: 50px;">評価</td> <td style="text-align: center;">B</td> </tr> </table>	評価	B	<p>・法人後見受任件数は、昨年度同様 11 件です。月 1 回～2 回の定期的な訪問等により、被後見人等の身上保護と財産管理を行い、家庭裁判所へ適切に報告事務を行いました。現在はサンライフあご勤務の地域支援課と訪問介護課の職員が兼務による後見事務を担っております。新型コロナウイルス感染症の影響により入所先施設が外部からの出入りを規制したことにより、被後見人との面会制限がありました。施設や関係機関との連携により後見人等の生活に支障をきたすことなく支援ができました。引き続き、後見人等の意思決定支援を行いながら生活支援を行います。</p> <p>また、志摩市において成年後見制度利用促進計画に基づき、令和 3 年度より中核組織の準備が進められることから、志摩市の後見人の担い手の確保や市民後見人講座の組み立てへの必要な提言を行っていきます。</p>
評価	B		

(8) 福祉人材の育成支援

■目標

①次世代を担う介護・福祉の人材を育成するため、高等学校、大学、事業所などの機関より実習希望者を受け入れます。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況		
①社会福祉士相談援助実習の受け入れを行います。（2名まで）	100%	①福祉・介護人材の育成支援		
			人数	備考
		社会福祉士相談援助実習	1名	社会福祉士受験資格取得に係る実習（180時間以上）
		介護等体験実習	0名	小中学校教員免許資格取得に係る実習（40時間）
		その他	0名	
		合計	1名	

■評価

目標の達成度	・社会福祉士相談援助実習について1名を受入れました。
評価 B	・介護等体験実習については、新型コロナウイルス感染症予防につき、通所介護事業所での受入れは中止しています。（担当：通所介護課）

(9) 広報、啓発

■目標

①地域住民の福祉への興味・関心を高め、福祉活動に協力しやすくなるよう広報・啓発していきます。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況
①社協だよりを活用して情報を伝達します。（年6回）	100%	①奇数月に社協だよりにて情報発信を行いました。
②ホームページやブログ、SNSを活用して情報を発信します。（月1回以上）	100%	②地域支援コーディネーターが地域の活動を把握し、SNSを活用して旬な情報発信を行っています。また、総務課と連携し、ホームページによる情報発信に心掛けました。
③地域活動・ボランティア活動の見える情報手段として、蓄積された情報や地域情報を元に、社会資源マップづくりを行います。（継続）	90%	③社会資源情報としてサロンパンフレットを作成しました。取材にご協力頂いたサロンへ配付し、今後、民生委員児童委員協議会、居宅介護支援事業所、公民館等の各関連機関への配布を予定しています。また、市内弁当配達業者一覧表等の情報を更新し、今後、ホームページへ掲載します。

■評価

目標の達成度	・定期的に SNS の更新は行っていますが、地域支援課内の情報が中心のため、社協全体で情報発信の方法や内容を考え、地域住民が福祉や介護に興味・関心を持っていただけるための工夫が必要です。そのため総務課担当者と打ち合わせを行い Facebook への投稿方法を共有しました。
評価 B	

(10) 専門相談会

■目標

①住民が抱える様々な悩みや困りごとの中で、法律的な問題に対し、解決に向けた必要な情報提供や助言を与える機会を提供します。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況			
①土地、相続、金銭貸借など民法上の相談窓口として、専門相談会を開催します。 ※弁護士相談（年10回）、法テラス三重の巡回相談（年6回）、司法書士相談（年10回）	100%	①専門相談会			
		相談区分	法律相談 （弁護士）	登記・訴訟相談	巡回相談 （法テラス三重）
		開催回数	10回	10回	5回
		相談件数	41件	32件	13件

■評価

目標の達成度 <table border="1"> <tr> <td>評価</td> <td>B</td> </tr> </table>	評価	B	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年5月14日予定されていた法テラス三重の巡回相談は中止となりました。 法律相談は、受付開始後早々に予約が埋まり、キャンセル待ちで対応することも多い状況です。 登記・訴訟相談に関しては予約が少ない月もありましたが、概ね計画どおり実施することができました。 法律相談の予約が多い状況ですが、内容によっては登記・訴訟相談での対応可能なケースもあることから、相談内容に応じて柔軟な受付案内を行います。また、本事業において対応できない場合は、他制度を紹介するなどして、市民の困りごとに可能な限り対応できるようにしています。
評価	B		

（11）民生委員児童委員協議会事務、当事者団体への支援

■目標

- ①地区民生委員児童委員協議会との連携強化を図ります。
- ②当事者団体の自主運営のための側面支援を行います。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況					
①民生委員児童委員協議会 ・地区民生委員児童委員協議会の事務局として、民生委員・児童委員との連携を一層強化し、小地域での福祉活動を推進し	100%	①民生委員児童委員協議会					
		協議会名	定数	委員数	定例会	役員会	専門部会
		浜島地区民生委員児童委員協議会	18名	15名	6回	7回	1回
		大王地区民生委員児童委員協議会	20名	16名	5回	3回	7回

ていきます。 ◇各地区定例会、専門部会の事務調整 (定例会 各地区年6回、専門部会 随時) ◇視察研修の企画、同行支援 (各地区年1回) ◇相談連携 (同行訪問等 随時) ②老人クラブ ・志摩市老人クラブ連合会、各町老人クラブ の自主運営を支援します。 ◇志摩市老人クラブ連合会 ・役員会等への参加 (会長会議2回、役員 会年6回) ・スポーツ交流大会、役員研修会への協 力 (各年1回) ③障がい者団体 ・志摩市障がい者福祉会をはじめ、障がい 者関連団体の自主運営を支援します。 ◇志摩市障がい者福祉会 ・理事会等への参加 (総会1回、理事会6回) ・志摩市障がい者福祉体育大会、志摩市障 がい者福祉大会、忘年芸能発表会への協 力 (各年1回) ◇志摩市視覚障がい者福祉会 ・総会への参加 (年1回)	100%	志摩地区民生委員児童委員協議会	31名	29名	5回	10回	3回
		阿児地区民生委員児童委員協議会	49名	43名	5回	6回	4回
		磯部地区民生委員児童委員協議会	23名	23名	5回	10回	4回
		・視察研修については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から全地区で中止となりましたが、講師を招いて の研修会を地区民児協単位で企画し、開催しました。 ・民生委員・児童委員からの相談、問い合わせ等：各地区1月平均30件					
50%	②老人クラブ ◇志摩市老人クラブ連合会 ・志摩市老人クラブ連合会会合参加 ・会長会議 (5/28:2名参加、3/18:1名参加) ・役員会 (7/22、9/9:各1名参加)※5月は書面議決による開催 ※11月は不参加 ※1月、3月は中止 ・スポーツ交流会 中止 ・役員研修会 中止 ◇各町老人クラブ ・阿児町老人クラブ連合会会合参加 ・会長会議 (7/29:1名参加)						
	③障がい者団体 ◇志摩市障がい者福祉会 ・定期総会 (5/7:書面開催のため、不参加) ・理事会 (6/11:2名参加、8/6:3名参加、9/24:不参加) ・志摩市障がい者福祉体育大会 (新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。) ・志摩市障がい者福祉大会、芸能発表会 (新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。)						
	◇志摩市視覚障がい者福祉会 ・志摩市視覚障がい者福祉会会合参加：定期総会 (新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)、役員会 (8/20: 1名参加)						

■評価

目標の達成度	・各地区民生委員児童委員協議会との連携及び各団体への支援を継続的に行い、連携を強化しています。
評価	B ・老人クラブなどの当事者団体は、地域福祉活動を推進する団体でもあることから、当事者団体の自主運営を側面支援いたしました。

2. 共同募金配分金事業・・・・・・・・支出予算 8,365千円

共同募金配分金が、現状の志摩市のニーズを確認し、地域・事業への効果的な配分と活用ができるように、共同募金配分計画の見直しを行います。今年度は、共同募金配分金が地域支援の一助となるしくみとなっていることの意義を改めて検証し、実施事業すべての解体と組み立てを行います。

(1) 地域見守り事業

■目標

- ①地域での支えあい活動や交流、見守り活動の促進に努めます。
- ②地域見守り支援内容を見直し、小地域での見守りの体制などの方法を検討していきます。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況																					
①地域見守り事業の在り方について、利用者や関係団体、協力ボランティア等に理解を求めています。	90%	①見守り配食サービス（定期訪問、電話での安否確認） <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>浜島町</th> <th>大王町</th> <th>志摩町</th> <th>阿児町</th> <th>磯部町</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延べ実施回数</td> <td>21回</td> <td>24回</td> <td>12回</td> <td>22回</td> <td>22回</td> <td>101回</td> </tr> <tr> <td>延べ利用者数</td> <td>679名</td> <td>306名</td> <td>1,098名</td> <td>1,859名</td> <td>1,717名</td> <td>4,561名</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、5月～6月は定期訪問を中止し、職員や民生委員・児童委員が電話での安否確認を行いました。また、弁当の調理は中止し、外注弁当で配食サービスを継続しました。 ・課内で見守り事業についての勉強会を実施し、事業内容について検討する機会を持ちました。また、声かけサービスについて、絵手紙グループひまわりや磯部郵便局長と事業内容について話し合いを行いました。 		浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	合計	延べ実施回数	21回	24回	12回	22回	22回	101回	延べ利用者数	679名	306名	1,098名	1,859名	1,717名	4,561名
		浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	合計																
延べ実施回数	21回	24回	12回	22回	22回	101回																	
延べ利用者数	679名	306名	1,098名	1,859名	1,717名	4,561名																	
②見守り支援内容そのものを見直し、事業実施を目指します。 <ul style="list-style-type: none"> ・各地区月1回の見守りに移行します。（志摩年9回、他地区年13回） ・本会主催の会食会から、地域で展開され 	90%	②三重県共同募金会の配分要綱の改正において社会福祉協議会への配分が見直されたことから、見守り事業（配食サービス）の事業内容を見直しました。（変更内容は以下の通り） <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>事業内容</th> <th>令和2年度</th> <th></th> <th>令和3年4月から</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業実施回数</td> <td>月1～2回</td> <td>→</td> <td>月1回</td> </tr> <tr> <td>訪問時の提供の品</td> <td>お弁当または日用品</td> <td>→</td> <td>日用品等</td> </tr> </tbody> </table>	事業内容	令和2年度		令和3年4月から	事業実施回数	月1～2回	→	月1回	訪問時の提供の品	お弁当または日用品	→	日用品等									
事業内容	令和2年度		令和3年4月から																				
事業実施回数	月1～2回	→	月1回																				
訪問時の提供の品	お弁当または日用品	→	日用品等																				

ている会食会の支援に移行します。		・地域で展開されている会食会は、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となっているところが殆どのため、開催支援には至りませんでした。
------------------	--	---

■評価

目標の達成度 評価 B	・新型コロナウイルス感染症における感染対策を行い、ボランティアや民生委員・児童委員と連携し、地域での見守り活動を継続しました。 ・地域見守り事業の事業内容を見直し、協力者等との協議の場を持ちました。
----------------	--

(2) 福祉委員会

■目標

①自分たちの住む地域の福祉課題や困りごとを自分たちの問題として受け止め、解決に向けて関係機関等と協議、連携して取り組んでいけるよう福祉委員会の活動を支援します。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況																	
①地域支援コーディネーターが随時訪問により活動に係る側面支援を行います。	50%	①随時訪問等により、活動に係る側面支援を行いました。 【浜島町】 ・桧山路地区：助成金申請・報告手続き支援 ・塩屋地区：助成金申請・報告手続き支援 【阿児町】 会長会議を開催しました。 ・6月12日（金）地域見守り事業の進め方について話し合った結果、7～8月の定期訪問の取り組みにつながりました。 ・2月12日（金）地域見守り事業の変更点、助成金の使い途等について説明しました。																	
②助成金の交付を行います。 (市内9地区、上限65,000円)	100%	②活動の状況と助成金の交付状況 <table border="1" data-bbox="741 1230 2150 1428"> <thead> <tr> <th data-bbox="741 1230 869 1283">地区</th> <th data-bbox="869 1230 1167 1283">委員会名</th> <th data-bbox="1167 1230 1279 1283">委員数</th> <th data-bbox="1279 1230 1984 1283">主な活動内容</th> <th data-bbox="1984 1230 2150 1283">助成額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="741 1283 869 1385" rowspan="2">浜島</td> <td data-bbox="869 1283 1167 1385">桧山路地区福祉委員会</td> <td data-bbox="1167 1283 1279 1385">15名</td> <td data-bbox="1279 1283 1984 1385">地区行事へ協力、サロン運営、見守り活動、新春ウォーキング、福祉課題の把握</td> <td data-bbox="1984 1283 2150 1385">65,000円</td> </tr> <tr> <td data-bbox="869 1385 1167 1428">塩屋地区福祉委員会</td> <td data-bbox="1167 1385 1279 1428">7名</td> <td data-bbox="1279 1385 1984 1428">福祉課題の把握、サロン運営、社会奉仕作業の実施、社</td> <td data-bbox="1984 1385 2150 1428">65,000円</td> </tr> </tbody> </table>				地区	委員会名	委員数	主な活動内容	助成額	浜島	桧山路地区福祉委員会	15名	地区行事へ協力、サロン運営、見守り活動、新春ウォーキング、福祉課題の把握	65,000円	塩屋地区福祉委員会	7名	福祉課題の把握、サロン運営、社会奉仕作業の実施、社	65,000円
地区	委員会名	委員数	主な活動内容	助成額															
浜島	桧山路地区福祉委員会	15名	地区行事へ協力、サロン運営、見守り活動、新春ウォーキング、福祉課題の把握	65,000円															
	塩屋地区福祉委員会	7名	福祉課題の把握、サロン運営、社会奉仕作業の実施、社	65,000円															

					協事業への協力	
			迫子地区福祉委員会	5名	社協事業・地区行事・地区老人会事業・JA女性部事業への協力、サロン運営、見守り活動、介護予防教室	65,000円
		大王	船越地区福祉委員会	7名	見守り活動、サロン運営協力、福祉課題の把握	65,000円
		阿児	鵜方地区福祉委員会	8名	ボランティア協力、地区行事への協力、志摩市あんしん見守り協力員研修、見守り活動	65,000円
			神明地区福祉委員会	16名	見守り活動、高齢者ふれあい交流会、福祉・介護等の研修、高齢者の生活支援活動、社協事業への参加・協力	65,000円
			立神地区福祉委員会	15名	見守り活動、独居高齢者の不用品整理支援、非常災害時独居老人家庭安否確認、通学見守り、地区行事への協力	65,000円
			志島地区福祉委員会	11名	見守り活動、サロン運営、地区福祉課題の把握	65,000円
			甲賀地区福祉委員会	9名	見守り活動、サロン運営、地区福祉課題の把握	65,000円
		合計				585,000円

■評価

目標の達成度	・福祉委員会の活動場面に地域支援コーディネーターが訪問し、地域福祉活動を支援しました。
評価	B

(3) 地域ふれあいサロン支援事業

■目標

①地域で孤立することなく安心して暮らせるまちづくりを目指し、地域住民が主体となって取り組む交流拠点づくりを支援します。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況						
①地域支援コーディネーターの随時訪問により、日頃のサロン活動の想いや活性できるプログラム作りを支援します。	100%	①プログラム作りへ助言や運営への参加協力を通して、サロン活動への支援を行いました。						
			浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	合計
		訪問件数	3件	3件	4件	12件	3件	25件

②助成金の交付を行います。 (48団体、上限30,000円)	100%	支援件数	34件	7件	49件	42件	48件	180件
		※サロン団体へ新型コロナウイルス感染症影響下での活動状況・困りごと等についてアンケート調査を実施しました。						
③新規サロン設置の支援を行います。	100%	②助成金の交付状況						
			浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	合計
		助成件数	6件	1件	11件	13件	17件	48件
		助成額	180,000円	30,000円	271,000円	390,000円	478,000円	1,349,000円
		③相談には随時応じ、今年度は新たに3団体のサロンが立ち上がりました。						
		※サロン活動の活性化、地域住民への分かりやすい情報提供を目指し、サロンパンフレットを作成しました。今後、民生委員・児童委員や居宅介護支援事業所等へ配付し、サロン活動の輪を広げることにつなげていきます。						

■評価

目標の達成度	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響からコーディネート者のサロン訪問は昨年度から比べ減少となりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響下での活動に関する相談への支援は増えた傾向にあります。 ・住民主体の拠点づくりのひとつの形として、サロン活動の支援を継続して行っています。令和元年度より作成していたサロンパンフレットが完成したため、各種支援機関等に配布し、サロン活性化に向けて引き続き支援を行っていきます。
評価	

(4) 福祉学習の支援

■目標

- ①児童・生徒が体験学習の機会を通して、社会福祉に理解と関心を高め、日常生活の中で相互扶助、社会連帯の思想を浸透させるとともに、家庭及び地域社会への啓発を図り、地域福祉の向上を図ります。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況
①福祉体験学習を実施します。 ・交流体験を通して高齢者や障がい者へ	50%	①福祉学習 ・磯部小学校（3年生：車イス体験学習、デイサービスとの交流）、鵜方小学校（4年生：車イス体験学習）を対象に福祉

<p>の理解を深めます。（夏休みデイサービス体験）</p> <p>②助成金の交付を行います。 （15校、上限60,000円）</p> <p>③福祉教育を支援するために、学校と協働し福祉体験プログラムを進めます。</p>	<p>100%</p> <p>70%</p>	<p>学習を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏休み福祉体験教室「デイサービス体験」を計画したものの、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からデイサービス側が受け入れ不可となり実施できませんでした。 ・8月29日に予定していた防災デイキャンプは、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止しました。 ・学校が実施している福祉・生涯学習の取り組みや学校と関わりがある地域団体、本会に求める福祉学習へのニーズなどを把握するため、市内小中学校にアンケート調査を実施しました。 <p>②助成金の交付状況</p> <table border="1" data-bbox="725 488 2033 735"> <thead> <tr> <th></th> <th>浜島町</th> <th>大王町</th> <th>志摩町</th> <th>阿児町</th> <th>磯部町</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10,000円</td> <td>0校</td> <td>0校</td> <td>0校</td> <td>0校</td> <td>1校</td> <td>1校</td> </tr> <tr> <td>30,000円</td> <td>2校</td> <td>0校</td> <td>1校</td> <td>4校</td> <td>2校</td> <td>11校</td> </tr> <tr> <td>60,000円</td> <td>0校</td> <td>1校</td> <td>0校</td> <td>0校</td> <td>0校</td> <td>1校</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>60,000円</td> <td>60,000円</td> <td>30,000円</td> <td>120,000円</td> <td>70,000円</td> <td>340,000円</td> </tr> </tbody> </table> <p>③磯部小学校（3年生）の担当教諭と新型コロナウイルス感染症の影響下においても実施できるデイサービス体験を考え、デイサービスの様子を撮影し上映する新しい形の福祉学習を実施しました。この福祉学習を成功事例とし、今後の福祉学習においてプログラム化していきます。</p>		浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	合計	10,000円	0校	0校	0校	0校	1校	1校	30,000円	2校	0校	1校	4校	2校	11校	60,000円	0校	1校	0校	0校	0校	1校	合計	60,000円	60,000円	30,000円	120,000円	70,000円	340,000円
	浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	合計																															
10,000円	0校	0校	0校	0校	1校	1校																															
30,000円	2校	0校	1校	4校	2校	11校																															
60,000円	0校	1校	0校	0校	0校	1校																															
合計	60,000円	60,000円	30,000円	120,000円	70,000円	340,000円																															

■評価

<p>目標の達成度</p> <table border="1" data-bbox="91 1034 286 1086"> <tr> <td>評価</td> <td>C</td> </tr> </table>	評価	C	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の学校を福祉協力校とし、学童生徒が福祉やボランティアを学ぶきっかけづくりを推進する事業費を助成しました。また、防災について体験を通じて学べるようボランティア団体と共同で防災デイキャンプを企画しましたが、市内で新型コロナウイルス感染症感染者が発表されたことを受け、中止しました。 ・磯部小学校（3年生）、鵜方小学校（4年生）を対象に福祉学習を実施しました。鵜方小学校はUD志摩との合同開催で車イス体験学習を実施し、磯部小学校は磯部通所介護事業所において車イス体験学習とデイサービス利用者との交流を行いました。デイサービス利用者との交流は施設での交流が新型コロナウイルス感染症の影響で制限される中、デイサービスの様子（レクリエーションやリハビリの様子、利用者へのインタビュー）を撮影し、その映像を学校で上映する新しい形での福祉学習を実施しました。
評価	C		

（5）ボランティア活動支援

■目標

①ボランティア団体やまちづくりに取り組む市民の方々への相談対応・情報提供・活動支援を推進していきます。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況																																																
①助成金の交付を行います。 (60団体、上限10,000円)	100%	①ボランティア支援、団体情報、助成金など																																																
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>浜島町</th> <th>大王町</th> <th>志摩町</th> <th>阿児町</th> <th>磯部町</th> <th>市外等</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>相談・助言</td> <td>32件</td> <td>79件</td> <td>54件</td> <td>16件</td> <td>56件</td> <td>0件</td> <td>237件</td> </tr> <tr> <td>登録団体数</td> <td>7団体</td> <td>9団体</td> <td>6団体</td> <td>13団体</td> <td>14団体</td> <td>0団体</td> <td>49団体</td> </tr> <tr> <td>登録団体会員数</td> <td>67名</td> <td>230名</td> <td>99名</td> <td>240名</td> <td>359名</td> <td>0名</td> <td>995名</td> </tr> <tr> <td>個人登録者数</td> <td>5名</td> <td>2名</td> <td>21名</td> <td>29名</td> <td>25名</td> <td>2名</td> <td>84名</td> </tr> <tr> <td>活動費の助成 上限10,000円/1団体</td> <td>60,000円</td> <td>76,000円</td> <td>50,000円</td> <td>108,000円</td> <td>140,000円</td> <td>0円</td> <td>434,000円</td> </tr> </tbody> </table>		浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	市外等	合計	相談・助言	32件	79件	54件	16件	56件	0件	237件	登録団体数	7団体	9団体	6団体	13団体	14団体	0団体	49団体	登録団体会員数	67名	230名	99名	240名	359名	0名	995名	個人登録者数	5名	2名	21名	29名	25名	2名	84名	活動費の助成 上限10,000円/1団体	60,000円	76,000円	50,000円	108,000円	140,000円	0円	434,000円
			浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	市外等	合計																																									
		相談・助言	32件	79件	54件	16件	56件	0件	237件																																									
		登録団体数	7団体	9団体	6団体	13団体	14団体	0団体	49団体																																									
		登録団体会員数	67名	230名	99名	240名	359名	0名	995名																																									
個人登録者数	5名	2名	21名	29名	25名	2名	84名																																											
活動費の助成 上限10,000円/1団体	60,000円	76,000円	50,000円	108,000円	140,000円	0円	434,000円																																											
②ボランティア同士の研鑽や交流を目的にボランティア交流会を開催します。 (年1回)	100%	②新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、例年のボランティア交流会ではなく、理学療法士会及び三重県ボランティア連絡協議会が主催する研修会のサテライト会場を開設し、ボランティアへ参加を呼びかけました。 (2/23：6名参加)																																																
③地域の活動機会へのコーディネートを行います。	0%	③例年、浜島地区民生委員児童委員協議会主催のふれあい喫茶において、子どもボランティアの募集を毎回呼びかけていますが、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止しました。そのため新型コロナウイルス感染症の影響下での活動状況や困りごと等についてアンケート調査を実施しました。																																																

■評価

目標の達成度	<p>・新型コロナウイルス感染症の影響からボランティア活動が不活発になると懸念しましたが、新規の登録団体が4団体ありました。(昨年度登録の4団体は、諸般の事情により未登録となり今年度の登録団体数は昨年度と変わりありませんでした。)大王町の子ども食堂は担当コーディネーターを中心に立ち上げ支援や調整等を行い、活発な活動につながりました。引き続き活動支援を進めていきます。</p>
評価	

(6) 共同募金配分委員会の運営

■目標

- ①社会福祉を目的とする団体や事業に対し、公平中立な立場で配分金を配分できるよう運営していきます。
- ②配分金の効果的な配分方法を見出します。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況
①共同募金配分委員会の組織再編を行います。	100%	①令和2年3月の志摩市共同募金運営委員会の承認を経て、志摩市共同募金運営委員会の委員2名を配分委員として委嘱しました。このことにより委員の構成は、民生委員、住民代表、運営委員となり、また男性が多い傾向でしたが男女比については4対3となりました。
②配分金事業を精査・検証し、効果的な配分計画を検討します。(配分委員会年3回)	100%	②配分委員会において、第1回は令和2年度充当事業の変更・計画と令和2年度の配分事業の計画について、第2回は三重県共同募金会の配分要綱の見直しについて、第3回は本会の配分要綱と次年度の配分事業の計画について検討しました。新型コロナウイルス感染症の影響から第1回と第2回を書面にて実施しました。
③助成事業のプレゼンテーションの開催とともに、共同募金配分助成審査会を開催します。(年1回)	100%	③共同募金配分助成審査会は新型コロナウイルス感染症の影響から助成事業の公開審査(プレゼンテーション)を中止し、書面による第1回配分委員会において助成事業の配分額等について判断を求めました。
④学童・生徒のボランティア活動普及事業補助金の助成方法(対象・金額・報告方法)を見直します。(12月まで)	100%	④学童・生徒のボランティア活動普及事業補助金の助成方法の見直しは、三重県共同募金会の配分金交付要綱の見直しと連動して進めました。
⑤三重県共同募金会の配分要綱見直しを参考に、配分金交付要綱の見直しを検討します。	100%	⑤三重県共同募金会から社会福祉協議会の配分要綱の見直しが示されたことにより、配分委員会や配分金受配団体に11月から意見を求め、本会の配分金交付要綱を見直しました。

■評価

目標の達成度 評価 B	<ul style="list-style-type: none"> ・配分委員会及び共同募金配分助成審査会(プレゼンテーションによる公開審査)は、新型コロナウイルス感染症の影響から計画を変更して実施しました。 ・助成事業の見直しは、三重県共同募金会の配分金交付要綱の見直しと連動して進めました。 ・三重県共同募金会の配分要綱の見直しに伴い、配分計画の見直しと連動し歳末たすけあい募金が廃止となりました。歳末たすけあい募金活動の廃止に
----------------	--

より、志摩市自治会連合会や各地区自治会連合会を対象として配分金事業の見直しについて説明しました。

3. 生活福祉資金貸付事業（受託事業）・・・・・・支出予算 2,370千円

(1) 生活福祉資金貸付事業

■目標

①三重県社会福祉協議会から受託し、低所得者世帯、高齢者世帯、障がい者世帯に対して資金の貸付けと必要な援助指導を行ない、経済的に安定した生活が送れるよう支援します。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況																																	
①生活福祉資金の借り入れについて、貸付相談を実施します。（随時）	100%	① 貸付相談																																	
		(1)通常貸付について																																	
		・相談件数																																	
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>浜島町</th> <th>大王町</th> <th>志摩町</th> <th>阿児町</th> <th>磯部町</th> <th>市外</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>相談・助言</td> <td>5件</td> <td>7件</td> <td>12件</td> <td>74件</td> <td>13件</td> <td>2件</td> <td>113件</td> </tr> </tbody> </table>		浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	市外	合計	相談・助言	5件	7件	12件	74件	13件	2件	113件																	
			浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	市外	合計																										
		相談・助言	5件	7件	12件	74件	13件	2件	113件																										
		・貸付件数																																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>浜島町</th> <th>大王町</th> <th>志摩町</th> <th>阿児町</th> <th>磯部町</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年度当初既貸付件数</td> <td>4件</td> <td>11件</td> <td>23件</td> <td>81件</td> <td>17件</td> <td>136件</td> </tr> <tr> <td>年度内新規貸付件数</td> <td>0件</td> <td>1件</td> <td>0件</td> <td>14件</td> <td>2件</td> <td>17件</td> </tr> <tr> <td>年度内償還完了等件数</td> <td>1件</td> <td>0件</td> <td>2件</td> <td>7件</td> <td>1件</td> <td>11件</td> </tr> <tr> <td>年度末貸付件数</td> <td>3件</td> <td>12件</td> <td>21件</td> <td>88件</td> <td>18件</td> <td>142件</td> </tr> </tbody> </table>		浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	合計	年度当初既貸付件数	4件	11件	23件	81件	17件	136件	年度内新規貸付件数	0件	1件	0件	14件	2件	17件	年度内償還完了等件数	1件	0件	2件	7件	1件	11件	年度末貸付件数	3件	12件	21件	88件	18件	142件
	浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	合計																													
年度当初既貸付件数	4件	11件	23件	81件	17件	136件																													
年度内新規貸付件数	0件	1件	0件	14件	2件	17件																													
年度内償還完了等件数	1件	0件	2件	7件	1件	11件																													
年度末貸付件数	3件	12件	21件	88件	18件	142件																													
(2)新型コロナ特例貸付について																																			
<p>令和2年3月25日より受付を開始しています。新型コロナウイルス感染症の影響を受け、収入減少や失業等により生活資金に困っている方の経済的な相談を支援しました。</p> <p>・相談件数(延べ件数)：令和2年4月1日～令和3年3月31日</p> <p>(内 訳)</p>																																			

	浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	市外・不明	合計
	66件	67件	137件	346件	108件	13件	737件
・貸付件数(令和3年3月31日までの申請の内、4月27日現在で確認できた貸付決定件数)							
	浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	合計	
緊急小口資金(申請)	27件	26件	43件	124件	37件	257件	
緊急小口資金(決定)	26件	24件	41件	117件	33件	241件	
総合支援資金(申請)	14件	11件	28件	77件	29件	159件	
総合支援資金(決定)	14件	10件	27件	75件	25件	151件	
総合支援資金延長(申請)	2件	7件	8件	21件	10件	48件	
総合支援資金延長(決定)	2件	6件	7件	20件	8件	43件	
総合支援資金再貸付(申請)	4件	2件	7件	17件	4件	34件	
総合支援資金再貸付(決定)	2件	2件	5件	14件	2件	25件	
②現在の貸付世帯の中で、定期的に滞納者の生活状況を確認し、借入れ資金への償還指導を行います。 償還指導の進捗率=36/109件	100%	②生活状況の把握と償還指導 ・自立、生活意欲の助長促進に向けた更なる相談援助と償還指導を行いました。 ・償還対象者全員に対し、償還案内を送付(送付時期：6月・9月・12月・3月)し、6ヵ月以上返済が滞っている方には督促状を送付(送付時期：9月・3月)しました。 ・償還指導対象者の生活状況について民生委員等と相談の上、訪問、電話、文書、来所面談により指導しました。					
	浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	合計	
償還指導対象者件数 (内、督促状送付件数)	3件 (0件)	9件 (1件)	18件 (8件)	66件 (23件)	13件 (4件)	109件 (36件)	
償還指導実施件数	1件	3件	6件	17件	9件	36件	
償還につながった件数	0件	2件	0件	4件	5件	11件	
③生活福祉資金貸付担当者研修会へ参加します。(年2回)	0%	※償還指導対象者件数は、生活保護世帯や行方不明の世帯が含まれます。 償還指導実施件数は、順調に償還している世帯、生活保護世帯、行方不明の世帯は除きます。 ③生活福祉資金貸付担当者研修会は、開催されませんでした。					

④生活困窮者自立支援事業等の関係機関と連携した支援を行います。	100%	④貸付相談者の生活面、経済面の聞き取りを行う中で、自立相談や家計改善支援が必要と思われる方への相談申込みを促し、「ふんばり」と連携した支援を行いました。特に今年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受けた休業や失業等による特例貸付相談の際に相談者のニーズ発掘を併行して行いました。
⑤民生児童委員との円滑な連携のため、制度説明を行います。(年1回)	30%	⑤新型コロナウイルス感染症拡大により地域産業が低迷したことにより特例貸付件数が増加状況であることなどについて、民生委員・児童委員を対象に説明を行いました。

■評価

目標の達成度 <table border="1" style="width: 100px; height: 20px;"> <tr> <td style="width: 50px;">評価</td> <td style="text-align: center;">B</td> </tr> </table>	評価	B	<ul style="list-style-type: none"> 生活福祉資金貸付事務を三重県社協から受託し、低所得者世帯、高齢者世帯、障がい者世帯に対して資金の貸付と援助指導を行い、経済的に安定した生活が送れるよう支援しました。中でも、督促状が発行されている滞納者に対しては連絡を促し、現在の生活状況の把握から償還の促進につなげることができました。また、3月25日から続く新型コロナ特例貸付は、通常の貸付に比べると相談者が殺到する状況でした。このことについては、5月にパート職員を雇い、増員を図ることにより対応しました。特例貸付は、現状、令和3年度も6月まで受付期間が延長となるため三重県社会福祉協議会と連携し、低収入となっている方々への相談支援を継続します。また、この貸付を通じて相談者の自立への助長ができるよう自立相談機関と連動した相談支援を進めます。
評価	B		

4. 会員サービス事業・・・・・・・・・・支出予算（法人運営事業に包含）

(1) 会員サービス事業

■目標

①磯部町内の自治会に対し、見守り支援員活動を依頼し、助けあい活動の機運を高め安否確認活動を促進します。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況
①見守り支援員を対象とした研修会を実施します。 ・見守り支援や相談体制についての理解を再認識することを目的に研修会を開催します。(年1回、26地区、170名)	50%	①例年上半期に行っている見守り支援員研修会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止としました。自治会へは、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた外出自粛の状況の中、見守りが必要な方への訪問時における感染防止対策をお願いするとともに、新型コロナウイルス感染症の影響下における見守り活動への相談を常時受け付けることについて説明しました。

■評価

目標の達成度 評価 C	<ul style="list-style-type: none"> ・磯部地区では 22 地区の自治会が 171 名の見守り支援員活動を行っています。例年どおり今年度も見守り支援員研修会を開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止しました。新型コロナウイルス感染症の影響下における見守り活動の在り方について考えていく必要があります。 ・自治会へは、新型コロナウイルス感染症の影響で外出が自粛状況の中、見守りが必要な方への訪問時におけるマスク着用などの感染防止対策をお願いするとともに、新型コロナウイルス感染症の影響下における見守り活動への相談は、常時、受け付けることについて説明しました。新型コロナウイルス感染症の影響下でも可能な見守り活動について検討していきます。 ・新型コロナウイルス感染症の影響下において、独居高齢者宅を見守り支援員が訪問した自治会もありました。好事例として次年度の見守り支援員研修会で紹介します。 ・令和 3 年度においては、自治会助成と見守り支援員を統合した新事業の創設を目指します。
----------------	---

5. 介護予防事業（受託事業）・・・・・・・・支出予算 288千円

(1) 介護予防事業（家族介護教室）

■目標

①介護者の負担軽減や、今後の家族介護に備えるため、介護の基礎的な知識やスキルを身につける機会や情報共有できる機会を提供します。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況
①家族介護教室を開催します。 （年2回開催）	90%	①第1回：令和2年9月18日（金） <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策として ZOOM を活用し、2 会場にて同時開催しました。 ・志摩市健康推進課の米奥保健師を講師に、感染症予防についての知識を高めることや介護に関する知識や技術を学ぶ機会を作りました。参加していただいた方からは、「改めて情報を聞けて緊張感が高まった」や「たくさんの方に知っていただきたい内容だった」との意見があり、介護者等が感染症の予防について知識を高める良い機会となりました。 [参加者数：浜島 2 名 大王 7 名 志摩 5 名 阿児 14 名 磯部 10 名 計 38 名] 第2回：令和2年11月30日（月）、令和2年12月3日（木）、令和2年12月7日（月）

<p>②各地区介護者の会と連携を図り、地域の介護者を支えていく地域づくりを進めます。</p>	<p>80%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「介護マッサージ・介護食について」3会場で実施しました。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により体験型の実施方法が制限されましたが、参加者からの積極的な質問や、講師からの丁寧な説明もあり、「介護マッサージ・介護食」についての理解につながりました。 <p>[参加者数：浜島2名 大王6名 志摩2名 阿児12名 磯部6名 計28名]</p> <p>②各地区介護者の会と連絡調整を行い、啓発チラシの作成等の運営支援を行いました。</p>
--	------------	---

■評価

<p>目標の達成度</p> <table border="1" data-bbox="89 574 280 630"> <tr> <td>評価</td> <td>B</td> </tr> </table>	評価	B	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響もあり開催が危ぶまれましたが、感染症対策を行い計画どおり2回開催することができました。例年に比べると参加者は少なくなりましたが、介護者等の知識を高める機会やリフレッシュ、相互の交流の良い機会となりました。 ・今年度で受託事業は終了となりますが、引き続き地域支援コーディネーターが介護者の会と連携し、地域の介護者同士の自主的な活動を応援するとともに必要な支援を行っていきます。
評価	B		

6. 日常生活自立支援事業（受託事業）・・・・・・支出予算 7,587千円

(1) 日常生活自立支援事業

■目標

①判断能力に不安のある高齢者、障がいのある人などに福祉サービスの利用援助、日常的金銭管理、書類などの預かりサービスを行い、できる限り地域で自立した生活が送れるよう支援します。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況																																								
<p>①新規利用者の相談支援を行います。 (随時)</p>	<p>100%</p>	<p>①実施状況</p> <table border="1" data-bbox="750 1204 1971 1460"> <thead> <tr> <th></th> <th>浜島町</th> <th>大王町</th> <th>志摩町</th> <th>阿児町</th> <th>磯部町</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>相談・助言</td> <td>6件</td> <td>4件</td> <td>1件</td> <td>11件</td> <td>6件</td> <td>28件</td> </tr> <tr> <td>利用契約数</td> <td>1件</td> <td>0件</td> <td>1件</td> <td>0件</td> <td>1件</td> <td>3件</td> </tr> <tr> <td>解約数</td> <td>1件</td> <td>1件</td> <td>0件</td> <td>2件</td> <td>2件</td> <td>6件</td> </tr> <tr> <td>利用者数</td> <td>9名</td> <td>10名</td> <td>3名</td> <td>24名</td> <td>6名</td> <td>52名</td> </tr> </tbody> </table>							浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	合計	相談・助言	6件	4件	1件	11件	6件	28件	利用契約数	1件	0件	1件	0件	1件	3件	解約数	1件	1件	0件	2件	2件	6件	利用者数	9名	10名	3名	24名	6名	52名
	浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	合計																																				
相談・助言	6件	4件	1件	11件	6件	28件																																				
利用契約数	1件	0件	1件	0件	1件	3件																																				
解約数	1件	1件	0件	2件	2件	6件																																				
利用者数	9名	10名	3名	24名	6名	52名																																				

<p>②契約締結審査会へ参加します。 (三重県社協 月1回)</p> <p>③日常生活自立支援事業担当者研修会へ参加します。</p> <p>④生活支援員等研修会へ参加します。 (三重県社協 年1回)</p> <p>⑤利用者再評価の定期実施を行います。</p> <p>⑥法人後見支援との連携を図っていきます。</p>		<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">内訳</td> <td>認知症</td> <td>2名</td> <td>5名</td> <td>2名</td> <td>4名</td> <td>2名</td> <td>15名</td> </tr> <tr> <td>知的障がい</td> <td>4名</td> <td>2名</td> <td>1名</td> <td>9名</td> <td>2名</td> <td>18名</td> </tr> <tr> <td>精神障がい</td> <td>2名</td> <td>3名</td> <td>0名</td> <td>8名</td> <td>2名</td> <td>15名</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>1名</td> <td>0名</td> <td>0名</td> <td>3名</td> <td>0名</td> <td>4名</td> </tr> <tr> <td colspan="2">生活支援員数</td> <td>3名</td> <td>1名</td> <td>1名</td> <td>3名</td> <td>0名</td> <td>8名</td> </tr> <tr> <td colspan="2">生活支援員訪問回数</td> <td>199回</td> <td>178回</td> <td>39回</td> <td>366回</td> <td>119回</td> <td>901回</td> </tr> <tr> <td colspan="2">専門員訪問回数</td> <td>4回</td> <td>13回</td> <td>2回</td> <td>22回</td> <td>1回</td> <td>42回</td> </tr> <tr> <td colspan="2">その他</td> <td>444回</td> <td>704回</td> <td>273回</td> <td>1364回</td> <td>365回</td> <td>3150回</td> </tr> <tr> <td colspan="8">◆相談・助言／問い合わせ件数、初回相談件数</td> </tr> <tr> <td colspan="8">◆その他 / 生活支援以外で対応した専門員の訪問回数及び電話相談件数</td> </tr> </table>	内訳	認知症	2名	5名	2名	4名	2名	15名	知的障がい	4名	2名	1名	9名	2名	18名	精神障がい	2名	3名	0名	8名	2名	15名	その他	1名	0名	0名	3名	0名	4名	生活支援員数		3名	1名	1名	3名	0名	8名	生活支援員訪問回数		199回	178回	39回	366回	119回	901回	専門員訪問回数		4回	13回	2回	22回	1回	42回	その他		444回	704回	273回	1364回	365回	3150回	◆相談・助言／問い合わせ件数、初回相談件数								◆その他 / 生活支援以外で対応した専門員の訪問回数及び電話相談件数								<p>②契約締結審査会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により、三重県社協から新規案件があった場合のみ審査会への出席を求められることから、出席がありませんでした。 (審査案件はありませんでしたが、契約・解約・再評価報告は行っています。) ※審査案件：契約や解約を行うにあたり、専門員で判断し難い場合に審議を求めて提出する案件。 ※報告案件：契約・解約・再評価を行ったことを報告するために提出する案件。 <p>③日常生活自立支援事業担当者研修会（総合相談・生活支援事例検討会）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響もあり、中央研修会への参加を自粛しました。 <p>④生活支援員等研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新任生活支援員が対象となっていたため、本会からの参加者はありませんでした。 <p>⑤再評価（利用者の自立支援に向けた再評価の定期実施）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3ヵ月毎に実施する新規ケースの再評価（3件） ・6ヵ月毎の継続ケース再評価（90件） <p>⑥本会実施の法人後見受任者と関わりがあるケースについては、情報や支援方法を共有するなど、随時連携を図っています。</p> <p>※生活支援員の研修の機会として、他の生活支援員の支援同行を通じての現地研修を実施しました。同行訪問を通じ</p>
		内訳		認知症	2名	5名	2名	4名	2名	15名																																																																						
				知的障がい	4名	2名	1名	9名	2名	18名																																																																						
				精神障がい	2名	3名	0名	8名	2名	15名																																																																						
			その他	1名	0名	0名	3名	0名	4名																																																																							
		生活支援員数		3名	1名	1名	3名	0名	8名																																																																							
		生活支援員訪問回数		199回	178回	39回	366回	119回	901回																																																																							
		専門員訪問回数		4回	13回	2回	22回	1回	42回																																																																							
		その他		444回	704回	273回	1364回	365回	3150回																																																																							
		◆相談・助言／問い合わせ件数、初回相談件数																																																																														
◆その他 / 生活支援以外で対応した専門員の訪問回数及び電話相談件数																																																																																
0%	0%																																																																															
0%	0%																																																																															
100%	100%																																																																															
100%	100%																																																																															

		て支援員同士の交流や支援手法の学びの機会となりました。
--	--	-----------------------------

■評価

目標の達成度 <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">評価</td> <td style="width: 50%;">B</td> </tr> </table>	評価	B	<ul style="list-style-type: none"> ・利用新規契約3件 解約件数6件となります。新規の相談については、多くの課題を抱えている方の割合が高く、関係機関との連携した対応が不可欠です。解約件数については、「本人意思、施設入所、家族支援」と理由は多岐にわたります。 ・コロナ禍により入所先施設や入院先が外部からの出入りを規制したことにより、生活支援活動に支障は出たものの、関係機関との連携により利用者の生活に影響を及ぼすことなく支援ができたと考えています。今後も本人の意思に寄り添った支援を実施していきます。
評価	B		

7. 生活困窮者自立支援事業（受託事業）・・・・・・・・支出予算 22,554千円

(1) 生活困窮者自立支援事業

■目標

- ①自立相談支援事業・就労準備支援事業・家計改善支援事業を一体的に実施しており、複合的な課題に対して適切に見立て、コーディネートが求められることから、各事業が専門性を持ち相談支援が実施できるように職員の資質向上に努めます。
- ②啓発方法の見直しと関係機関との連携を強化し、相談窓口に繋がらない方、支援サービスにアクセスできない方が相談につながるようにしていきます。
- ③関係機関や地域関係者と、地域就労の支援について検討する機会をつくります。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況
①研修会、会議等への参加 ・人材養成研修における国・都道府県研修へ参加します。（国研修3日間、都道府県研修10.5時間以上、ブロック研修等） ・関係機関が主催する研修会、会議へ参加します。（関係機関：就労支援、引きこもり支援、子どもの貧困、こころの健康づくり、障がい者支援、高齢者支援）	100%	①研修会へ参加しました。 ○研修会へ参加し、職員の資質向上に努めました。 ・三重県社協主催キャリアパス生涯研修課程/チームリーダーコース：7月16日～17日。1名参加 ・志摩市地域自立支援協議会「働く」プロジェクト主催研修：9月14日。1名参加 ◆演題 「障がい者就業・生活支援センターについて」 ◆講師 障がい者就業・生活支援センター 御室和世氏 ・志摩市社協地域支援課主催「災害ボランティアコーディネーター養成講座」：9月18日。1名参加 ・志摩市社協地域支援課主催「地域アセスメント研修会」：9月24日。1名参加 ・国研修/自立相談支援事業従事者養成研修会：オンデマンド配信。1名参加

②自立相談支援機関について

- ・早期に支援につなげることができるように、関係機関との連携と実態把握を行います。
- ・自立に向けたプランの作成をします。
- ・複雑化した生活課題については、相談支援調整会議において支援検討を行い、関係機関と連携し支援をします。
- ・就労支援については、社会資源の開発に取り組めます。（認定訓練事業、連携企業の開拓、居場所作り等）

100%

②自立相談支援事業相談件数

	新規相談件数	プラン作成件数
相談支援状況	174 件	48 件

- ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響による生活福祉資金特例貸付の申込者へ支援や住居確保給付金の条件緩和により、昨年度に比べて相談者が増加しました。

○みえ福祉の「わ」創造事業利用実績

	緊急食糧提供事業	緊急時物品等支援事業	就労支援事業（交通費助成）
利用実績	65 件	10 件	59 件

○支援調整会議（月 1 回）

- ・自立相談支援機関（ふんばり）が主催となり、自立支援プランや家計再生プランの承認手続きと新規相談ケースの報告を通じて情報共有や意見集約を図りました。
- ・今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により三密を避けるなど志摩市担当課と協議して開催方法を見直しました。

（出席した相談機関）

本会：就労準備支援事業担当者、家計改善支援事業担当者

志摩市：志摩市生活支援課、志摩市介護・総合相談支援課、志摩市健康推進課

- ・国研修/主任相談支援員養成研修会：オンデマンド配信。1 名参加
- ・第 7 回生活困窮者自立支援全国研究交流会：延べ 10 名参加
 - ◆全体会①11 月 15 日、②1 月 11 日：各 3 名参加
 - ◆分科会①11 月 23 日：1 名参加
 - ◆分科会③12 月 5 日：2 名参加
 - ◆分科会⑧12 月 13 日：1 名参加
- ・国研修/都道府県研修に係る担当者研修会：①10 月 29 日、②1 月 27 日。1 名参加
- ・東海北陸ブロック研修：12 月 9 日～10 日。2 名参加
- ・ひきこもり支援スキルアップ研修：3 月 12 日。1 名参加
- 関係機関が主催する会議へ参加しました。
 - ・南勢志摩地域依存症ネットワーク会議：12 月 25 日。1 名参加

<p>③家計改善支援事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家計改善に向けたプランを作成します。本人が分かりやすい家計表の作成を行います。 ・債務相談等については、司法書士や弁護士による法律相談が必要時に相談できる体制にしていきます。 ・必要に応じ、生活福祉資金と連携し、貸付のあっせんを行います。 <p>④就労準備支援事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プランの作成を行います。 ・直ちに就労が難しい人(高齢者を含む)の就労体験、生活習慣の改善を支援します。 ・就労体験場所を増やし、本人に合わせた就労体験が出来るようにします。 <p>⑤関係機関と連携し地域づくりに取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各事業のパンフレットを作成し、各機関へ配布します。(福祉、就労、教育、税務、住宅等) ・講演会等を実施し、事業啓発を行います。 ・個別事例の課題から社会資源についての 	<p>100%</p> <p>100%</p> <p>90%</p>	<p>他機関：志摩市障がい者相談支援センターこだま</p> <p>③家計改善支援事業</p> <table border="1" data-bbox="757 228 1155 328"> <tr> <th></th> <th>利用者数</th> </tr> <tr> <td>利用実績</td> <td>21名</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年に引き続き、専任の担当者として契約職員を配置しました。(法人後見兼務) ・家計表、キャッシュフロー表を本人と一緒に作成し、家計の「見える化」を図ることにより、相談者自身が家計上の課題に気づき、見直しができるように支援を行いました。 ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により生活福祉資金特例貸付の申込者に対し支援を行いました。 ・家計改善支援のケースについて、事業所内で定期的に事例検討を実施しました。 <p>④就労準備支援事業</p> <table border="1" data-bbox="757 667 1155 767"> <tr> <th></th> <th>利用者数</th> </tr> <tr> <td>利用実績</td> <td>5名</td> </tr> </table> <p>※プログラム作成の支援メニュー(1)～(6)</p> <p>(1)障がい者就労支援事業所での就労体験 (2)日課の見直し、体力づくり (3)就職試験に向けた取り組み (4)介護事業所での介護体験 (5)自力通勤への取り組み (6)パソコン入力の練習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談者の特性に合わせ、寄り添った支援を実施しました。 ・1名が就職につながり、支援終了となりました。 ・新たに就労体験場所を1か所開拓しました。 <p>⑤関係機関と連携、地域づくり</p> <p>(1)第4次地域福祉(活動)計画策定に係る事務座談会への参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務座談会メンバーとして参加しました。 ・地域座談会へ参加しました。(正職員のみ) ・民生委員児童委員協議会より説明資料の作成依頼があったため、参考となる資料を提供しました。 <p>(2)民生委員児童委員協議会定例会への出席</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各町単位で実施されている民生委員児童委員協議会定例会へ出席し、民生委員・児童委員等との顔の見える関係づくりに努めました。 		利用者数	利用実績	21名		利用者数	利用実績	5名
	利用者数									
利用実績	21名									
	利用者数									
利用実績	5名									

<p>検討や地域資源の把握を行います。</p>	<p>(3)パンフレットの配付</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電話番号の変更に伴い、修正したパンフレットを各関係機関へ配付しました。 <p>(4)企業開拓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障がい福祉との連携：志摩市地域自立支援協議会「働く」プロジェクトチーム会議へ出席（月1回）しました。 <ul style="list-style-type: none"> ◆プロジェクトチームとともに企業訪問しました。（1企業） ◆「企業アプローチの方針を検討する部会」に参加しました。 ・関係機関からの紹介により企業を訪問しました。（2企業） <p>(5)研修会の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業啓発のため、研修会（講演会）を実施しました。 <ul style="list-style-type: none"> ◆日 時：令和3年3月5日（金） 13：30～15：30 ◆実施方法：「ZOOM」によるオンライン開催 ◆内 容：○コロナ禍における困窮者相談について 説明者：くらしサポートセンターふんばり 西崎孟 ○コロナ禍における生活設計の見直しかた 講師：三重県金融広報委員会 アドバイザー 生川美奈子 ◆参加者：22名
-------------------------	--

■評価

<p>目標の達成度</p> <table border="1"> <tr> <td>評価</td> <td>B</td> </tr> </table>	評価	B	<ul style="list-style-type: none"> ・新規相談が174件あり、昨年度と比べると2倍強の件数となります。これは新型コロナウイルス感染症の影響により生活苦となった方からの相談が多く寄せられたことから生活困窮者のニーズ把握となりました。相談内容は多岐にわたり、単に経済的に生活が苦しいだけでなく、障がいの疑いやひきこもりなど複合的な課題を有することが多く見受けられました。 ・今後はコロナ特例貸付からつながった相談者の自立に向けた支援の組み立てが急務となります。新型コロナウイルス感染症の影響下でもできる自立生活や生計相談、就労準備支援など自立に向けた課題への解決策をともに考えていきたいと思えます。また、新型コロナウイルス感染症の影響で難しい状況はありましたが、事業啓発活動にも取り組み、研修会の実施や就労体験場所の新規開拓ができました。引き続き、相談者1人1人に寄り添い、自立に向けた支援を行っていきます。
評価	B		

Ⅲ. 在宅福祉サービス事

○居宅介護支援課（事業方針）

公正中立なケアマネジメントの確保、自立に向けた質の高いケアマネジメントを行うことができるよう取り組みます。関係機関と連携するとともに地域とのつながりや居宅介護支援事業所同志のつながりを大切にしながら地域の高齢者、障がい者を支えていくことができるよう努めていきます。

1. 居宅介護支援事業・・・支出予算 121,302千円

(1) 居宅介護支援事業

■目標

- ①介護支援専門員としての専門性を発揮し、要支援・要介護認定を受けた方への適切な予防プラン及びケアプランを作成します。
- ②高齢者がより充実した在宅生活を送ることができるよう、行政、サービス事業者、医療機関など関係機関との連携を密にし、信頼性の高い事業所を目指します。
- ③専門員研修などに積極的に参加し、職員の資質向上に努めます。
- ④要介護認定の訪問調査の依頼を受け、業務を行っていきます。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況
①専門性を担保するため、1人5回以上外部研修に参加します。	160%	①1人平均約8回、外部研修に参加しました。(研修参加延べ回数200回1人平均8回参加)
②居宅情報交換会(会議)を開催します。(年6回)	100%	②居宅情報交換会を6回開催しました。(4月14日、6月16日、8月18日、10月13日、12月1日、3月2日) 居宅介護支援課の課題を検討する会議を年7回開催しました。(計画外)
③週1回の定例会及び月1回の事業所内研修会を開催します。	100%	③週1回の定例会及び月1回の事業所内研修会を開催しました。
④他の法人が運営する居宅介護支援事業者と共同で事例検討会、研修会等を実施します。(年1回)	100%	④全職員が参加できるよう同内容で11月11日、12日の2回開催しました。
⑤24時間連絡体制の確保及び相談に応じる体制を整えます。	100%	⑤従来からの24時間連絡体制を維持し、時間外相談に随時応じています。
⑥介護・総合相談支援課から紹介の困難事例に対応します。	100%	⑥地域支援包括センターから支援困難な利用者の紹介があった場合には引き受けられる体制を整えています。
⑦ケアプラン作成数の目標を1人あたり月	97%	⑦作成者数は1人平均34件となっています。(障がいプラン合算)

35 件とします。

⑧営業実績

・経営状況

	大王事業所		磯部事業所		合計	
	介護プラン	予防プラン	介護プラン	予防プラン	介護プラン	予防プラン
ケアプラン作成件数	3,460 件	481 件	4,432 件	621 件	7,892 件	1,102 件
[前年比]	0	+71 件	-58 件	+165 件	-58 件	+236 件
当期利益	-43,242 円		7,581,217 円		7,537,975 円	
当期利益増減値 [前年比]	1,981,875 円		2,898,784 円		4,880,659 円	

・認定調査取り扱い件数

	大王事業所	磯部事業所	合計
取り扱い件数	2 件	3 件	5 件
[前年比]	-8 件	-12 件	-20 件

・年度別推移

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
サービス活動収益	152,333,030 円	151,308,774 円	142,731,084 円	134,513,628 円	135,648,637 円
延べ作成件数	9,628 件	9,545 件	9,011 件	8,816 件	8,994 件
当期利益	17,606,508 円	12,713,162 円	15,696,935 円	2,657,316 円	7,537,975 円
当期利益増減値 [前年比]	-10,288,428 円	-4,893,346 円	2,983,773 円	-13,039,619 円	4,880,659 円

・1 件当たりのケアプラン作成料（月額）

要支援 1.2（予防プラン）…4,100 円 要介護 1.2（介護プラン）…14,570 円、要介護 3.4.5（介護プラン）…17,730 円

・大王事業所

介護サービスのケアプラン（介護プラン）作成件数は変わりなく、予防サービスのケアプラン（予防プラン）作成件数が増えています。予防プランは 1 件当たりの計画作成料が低額であるため、大きな収益の増加にはつながりにくい状況です。人事異動による 1 名分の人件費が減少したことにより前年度より損失額が改善しています。

		<p>・磯部事業所</p> <p>介護プランの作成件数は減少し、予防プランの作成件数が増えています。そのため収益は減っていますが、人事異動による1名分の人件費が減少したことにより前年比の利益が増えています。</p>
--	--	---

■評価

<p>目標の達成度</p> <table border="1"> <tr> <td>評価</td> <td>A</td> </tr> </table>	評価	A	<p>・今年度は新型コロナウイルス感染症の影響が大きくありましたが、人員基準等の臨時的な取り扱いに従いながら、在宅勤務、通信機器を利用して会議、研修を行う等して、資質を維持しながら、事業が継続できるよう努めました。</p> <p>・予防の利用者数は増加していますが、介護の利用者数の減少により収入は減っています。利益は職員の減員により増えています。引き続き利用者に満足いただけるサービスを提供し利用者数が増加するよう努めます。</p>
評価	A		

(2) 障がい者相談支援事業

■目標

- ①相談支援専門員として、障がい者等の有する能力及び適正に応じ、自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、適切なサービス等利用計画及び障害児支援利用計画を作成します。
- ②総合的なサービス提供ができるよう、関係市町、地域の保健、福祉、医療機関との連携に努めます。
- ③介護保険制度の介護支援専門員と密接に連携していきます。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況
①専門性を担保するため、1人2回以上外部研修に参加します。	180%	①1人平均3.6回、外部研修に参加しています。(研修参加延べ回数50回、1人平均3.6回参加)
②障がい者地域ケア会議に参加します。(年6回)	66%	②障がい者地域ケア会議に4回参加しました。(7月13日、9月14日、11月11日、3月15日参加。5月11日、1月18日は新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止)
③ケアプラン作成数の目標を1人あたり月35件とします。	97%	③作成者数は1人平均34件となっています。(介護プラン合算)
		④営業実績 ・計画相談件数

	大王事業所	磯部事業所	合計		
計画相談件数	176 件	126 件	302 件		
[前年比]	+4 件	+28 件	+32 件		
・年度別推移					
	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
障がい福祉サービス等事業収益	3,417,020 円	3,802,540 円	3,767,490 円	3,935,340 円	4,469,330 円
延べ作成件数	204 件	228 件	218 件	269 件	302 件
・ケアプラン更新事務 1 件…16,810 円 (1～3 年に 1 回) モニタリング 1 件…13,930 円 (3 ヶ月～6 ヶ月に 1 回) ケアプラン料は更新事務、モニタリング時のみとなるため、件数の増加が大きな収益の増加につながりにくくなっています。					

■評価

目標の達成度 <table border="1"> <tr> <td>評価</td> <td>A</td> </tr> </table>	評価	A	・利用者数、対応件数は昨年度より増えています。新型コロナウイルス感染症の影響により、外部研修への参加機会は減っていますが、感染予防対策をしながらできる限り研修会へ参加し、事業所の資質向上に努めました。今後も障がいのある人が地域で生活する上での困りごとについての相談に応じ、関係機関と連携しながら、サービス利用計画を作成し福祉サービス利用の支援を行っていきます。
評価	A		

○訪問サービス課（事業方針）

今年度は、訪問介護事業、障害ヘルパー事業におきましては、利用者ニーズに沿った自立支援を促すサービス提供等を提案しながら、信頼性の高い事業運営に努めます。訪問入浴事業、訪問看護事業、福祉用具貸与事業では、居宅介護支援事業所への空き情報の報告や周知を行い新規利用者の確保に努めながら、体制の見直しと効率よい事業運営に努めます。訪問サービス課においては、今年度は利用者の減少、介護人材の確保、人材育成といった課題と向き合いながら、半期ごとの運営状況を注視し、次の通り取り組みを行います。また、働き方改革を踏まえた体制の見直し等を行い、健全な事業所運営に努めます。

1. 訪問介護事業・・・支出予算 52,629千円

(1) 訪問介護事業・日常生活支援総合事業第一号訪問事業

■目標

- ①利用者のニーズに沿ったサービスを提供することにより、利用者の社会的孤立感の解消及び心身の機能維持、改善並びに家族の身体的、精神的な負担の軽減に努めます。
- ②職員の資質の向上（介護技術・医療の知識・接遇等）に取り組み、研修会への参加や勉強会を定期的に行います。
- ③各居宅介護支援事業所へ空き状況を報告するなど連携を取りながら新規利用者の獲得、利用者のサービス提供回数増に積極的に取り組んでいきます。
- ④人材育成ができる体制づくりを行います。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況
①毎月1回は、パート職員を含めたヘルパー会議を行います。	80%	①定期的にミーティングを行い、必要時には利用者ごとにケース会議を開催し、支援方法等について話し合いました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、全体で集まらず少人数での開催としました。8月、12月は調整がつかず連絡事項の伝達のみとなりました。訪問サービス課としての課題を検討する会議を年4回開催しました。（計画外）
②資質向上、専門性を担保するため、1人2回以上外部研修会に参加します。 （内1回は障がい特化した研修）	80%	②常勤職員については研修会参加を計画しましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため研修会が相次ぎ中止となりました。下半期はウェブでの研修会が開催され研修の機会を確保しましたが、職員全員が研修会に参加することはできませんでした。（研修テーマ：コロナ対応について、介護保険報酬改定、障がいの理解について） 本会の事業所において開催した志摩市社協新型コロナウイルス感染症対策行動計画（事業継続計画）についての説明を含む研修会や接遇研修、安全運転・車両点検に参加しました。
③研修会参加者による伝達講習を実施します。	80%	③パート職員を含むミーティングで、研修内容の伝達を行いました。
④毎月1回は、パート職員を含めた自主研修会を行います。	80%	④少人数で資料を利用しての自主研修会を行いました。 （研修テーマ：コロナ感染症予防対策について、マスク着用時の熱中症予防について、接遇について） 精神的に不安定な利用者への支援については、機会ごとに話し合い、助言できる体制を取りました。
⑤前年比並みの利用者数を確保します。 （障がいヘルパーと一体の運営）	91%	⑤利用者数、訪問時間ともに減少しており、それに伴い、介護報酬を含む収入も減となっています。 ※減少した理由として、1日複数回訪問していた利用者の状態悪化による入所、通所型サービスへの振替が増えたことに伴う訪問減が考えられます。また、総合事業については、訪問型サービスの提供事業所が少ないため、当事業所への依頼が増え、利用者の増加となりました。
⑥職員確保に努めます。（常勤1名、パート職員1名以上）	50%	⑥正職員を1名増員しました。パート職員については年度内に調整できませんでしたが、令和3年4月から1名の増員を予定します。 ⑦営業実績

	<ul style="list-style-type: none"> 延べ利用者数及び延べサービス提供時間 					
		延べ利用者数	延べサービス提供時間数	サービス提供時間数		
				身体介護	生活援助	総合事業
	サービス提供状況	20,846名	18,262時間45分	6,967時間30分	9,334時間00分	1,918時間15分
	[前年比]	-2,048名	-1,913時間00分	-714時間00分	-1,361時間45分	+119時間45分
	<ul style="list-style-type: none"> 年度別推移 					
		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	サービス活動収益	73,746,410円	67,676,293円	65,074,903円	71,292,263円	66,693,782円
	延べ利用者数	26,843名	23,744名	21,946名	22,894名	20,846名
	当期利益	963,485円	1,310,296円	3,412,451円	13,124,854円	11,204,207円
当期利益増減値 [前年比]	-14,470,244円	346,811円	2,102,155円	9,712,403円	-1,920,647円	
<ul style="list-style-type: none"> 本会以外のヘルパー事業所も人員確保が難しく、対応が困難なことから、本会への依頼が増えていますが、人員に限りがあることから対応に苦慮しています。 実利用者数の変動はありませんでしたが、延べ利用者数が減少しました。その主な理由は、1日又は1週の利用回数が多い利用者が死亡や入所などにより減少したことによるものです。このことにより前年比の収益は減少し、当初予算比は52万円の減収となりました。費用においては令和2年度末における管理職の定年退職を見据え、事業所の体制を維持するため正職員1名を加配したことによる人件費が増加し、利益については前年比において減少しました。 						

■評価

目標の達成度 評価 B	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の要望を聞き、丁寧に利用者の支援内容の検討等を行うことで、ニーズに沿ったサービスが提供できました。また、訪問時に本人、家族の話を聴くことで、介護負担の軽減、精神的ストレスの軽減に努めました。 新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、外部研修は中止となりましたが、インターネットや情報誌を活用して少人数での勉強会を開催しました。 居宅介護支援事業所とこまめな情報交換を行い、支援内容の検討を行いました。 4月の人事異動で正職員1名が増員となり、係長、主任、係の職階による業務の見直しを行い、人材育成のできる体制を整えました。また、新型コロナウイルス感染症拡大による職員の不安等についてこまめに話を聴くことで、ストレスを軽減することができました。
----------------	--

2. 障がい者ヘルパーセンター事業・・・・・・・・支出予算 41,743千円

(1) 障がい者ヘルパーセンター事業

■目標

- ①利用者のニーズに沿ったサービスを提供することにより、利用者の社会的孤立感の解消及び心身の機能維持、改善並びに家族の身体的、精神的な負担の軽減に努めます。
- ②職員の資質の向上（介護技術・医療の知識・接遇等）に取り組み、研修会への参加や勉強会を定期的に行います。
- ③障がい者相談支援事業所へ空き状況を報告するなど連携を取りながら新規利用者の獲得、利用者のサービス提供回数増に積極的に取り組んでいきます。
- ④人材育成ができる体制づくりを行います。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況
①毎月1回は、パート職員を含めたヘルパー会議を行います。	80%	①定期的にミーティングを行い、必要時には利用者ごとにケース会議を開催し、支援方法等について話し合いました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、全体で集まらず少人数での開催としました。8月、12月は調整がつかず連絡事項の伝達のみとなりました。
②資質向上、専門性を担保するため、1人2回以上外部研修会に参加します。	80%	②常勤職員については、研修会参加を計画しましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、研修会が相次ぎ中止となりました。下半期はウェブでの研修会が開催され、研修の機会を確保しましたが、職員全員が研修会に参加することはできませんでした。（研修テーマ：コロナ対応について、介護保険報酬改定、障がいの理解について） 本会の事業所において開催した志摩市社協新型コロナウイルス感染症対策行動計画（事業継続計画）についての説明を含む研修会や接遇研修、安全運転・車両点検に参加しました。
③研修会参加者による伝達講習を実施します。	80%	③パート職員を含むミーティングで、研修内容の伝達を行いました。
④毎月1回は、パート職員を含めた自主研修会を行います。	80%	④少人数で資料を利用した自主研修会を行いました。 （研修テーマ：コロナ感染症予防対策について、マスク着用時の熱中症予防について、接遇について） 精神的に不安定な利用者への支援については、機会ごとに話し合い、助言できる体制を取りました。
⑤前年比並みの利用者数を確保します。 （訪問介護と一体の運営）	100%	⑤自立支援給付においては、利用者数は1%増加、訪問時間は0.4%減少とねじれ現象が起こっています。原因の1つとして、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための措置として、会議等の中止や入所先からの帰省等の中止があ

⑥職員確保に努めます。
(常勤1名、パート職員1名以上)

50%

り、長時間支援の同行援護事業の減少が考えられます。

受託事業である移動支援事業については、新型コロナウイルス感染症拡大防止策としてのサンライフあごプール閉鎖、長時間利用の中止もあり、利用者、提供時間ともに減少しました。

⑥正職員を1名増員しました。パート職員については年度内に調整できませんでしたが、令和3年4月から1名の増員を予定します。

⑦営業実績

・延べ利用者数

	自立支援給付（居宅、重度訪問、同行援護）		受託事業（移動支援）	
	延べ利用者数	延べ提供時間数	延べ利用者数	延べ提供時間数
サービス提供状況	8,570名	10,396時間00分	281名	591時間00分
[前年比]	+83名	-430時間30分	-41名	-85時間45分

・年度別推移

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
サービス活動収益	35,972,363円	39,013,546円	47,553,937円	55,465,187円	57,572,344円
延べ利用者数	6,936名	6,532名	7,973名	8,809名	8,851名
当期利益	12,242,332円	4,931,322円	13,986,012円	19,011,067円	13,470,327円
当期利益増減値 [前年比]	-704,562円	-7,311,010円	9,054,690円	5,025,055円	-5,540,740円

・ヘルパー一体型移送サービス：920件、外出支援（志摩市よりの受託）：28件にも対応しました。

・一体型移送サービスでも新型コロナウイルス感染症予防対策の影響もあり、外出の機会が減ったことに伴い件数が減少しました。

・実利用者数、延べ利用者数ともに大きな変動はありませんでした。収益増については、特加算の過誤返戻請求分とコロナ感染症緊急包括支援金交付によるものです。そのため、当初予算より305万円余り増加しましたが、契約職員1名を訪問介護事業から配置換えしたことやパート職員のサービス提供が増えたことで人件費が増加し、利益については前年比において減少しました。

目標の達成度	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の要望を聞き、丁寧に利用者の支援内容の検討等を行うことで、ニーズに沿ったサービスが提供できました。また、訪問時に本人、家族の話を聴くことで、介護負担の軽減、精神的ストレスの軽減に努めました。 ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、外部研修は中止となりましたが、インターネットや情報誌を活用しての少人数での勉強会を開催しました。 ・障がい者相談支援事業所とこまめな情報交換を行い、支援内容の検討を行いました。 ・4月の人事異動で正職員1名が増員となり、係長、主任、係の職階による業務の見直しを行い、人材育成のできる体制を整えました。また、新型コロナウイルス感染症拡大による職員の不安等についてこまめに話を聴くことで、ストレスを軽減することができました。
評価	

3. 訪問入浴介護事業・・・支出予算 16,828千円

(1) 訪問入浴介護事業・介護予防訪問入浴介護事業

■目標

- ①利用者のニーズに沿ったサービスを提供することにより、利用者の社会的孤立感の解消及び心身の機能維持、改善並びに家族の身体的、精神的な負担の軽減に努めます。
- ②職員の資質の向上（介護技術・医療の知識・接遇等）に取り組み、研修会への参加や勉強会を定期的に開催していきます。
- ③各居宅介護支援事業所へ空き状況を報告するなど連携を取りながら新規利用者の獲得、利用者のサービス提供回数増に積極的に取り組んでいきます。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況
①資質向上、専門性を担保するため、1人1回以上外部研修に参加します。	150%	①新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、研修会が相次ぎ中止となりましたが、下半期は研修会が開催され、参加しました。（研修テーマ：新型コロナウイルス感染症発生時の連携体制について、在宅で起こりやすい皮膚トラブルについて、胃ろう・留置カテーテル管理について） 本会の事業所において開催した志摩市社協新型コロナウイルス感染症対策行動計画（事業継続計画）についての説明を含む研修会や接遇研修、安全運転・車両点検に参加しました。
②研修参加者による伝達講習を実施します。	100%	②毎日のミーティングで研修内容について伝達しました。 特に皮膚トラブルについては、全員に周知し入浴時の対応に役立てました。
③毎月1回は、パート職員を含めた自主研修会を行います。	100%	③新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、資料配布にて行いました。 ケース検討、話し合いを訪問終了後、毎回行いました。連絡ノートやシフト表を活用して利用者の情報共有を行いました。
④各居宅介護支援事業所へ空き情報を報告	100%	④月1回、居宅介護支援事業所9事業所に情報提供し、利用希望者には迅速な対応を行いました。

<p>し、スムーズなサービス提供につなげます。</p> <p>⑤延べ利用者数を前年比+10%を目標とします。</p> <p>⑥パート職員確保に努めます。(2名程度)</p> <p>⑦年度内でも収支の状況を見て、事業継続について検討します。</p>	<p>90%</p> <p>0%</p> <p>0%</p>	<p>⑤利用回数増加の希望に沿えるよう調整しました。また、5月には、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため休止したデイサービスの代替サービスとして2名の利用者に訪問入浴を利用していただきましたが、終末期利用者が多く、利用者増にはつながりませんでした。</p> <p>介護保険新規利用者：21人 利用終了者：19人</p> <p>⑥訪問入浴の仕事に興味があり活動できる人がないか、職員を通じて声掛けを行いました。成果として表れていないので継続して行っています。</p> <p>⑦職員の努力もあり、収支の悪化は少しばかり改善されました。また、本会の看護師不足を補うため、看護師1、介護員2の体制の取れる日で通所介護事業所へ応援を行いました。</p> <p>⑧営業実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・延べ利用者数 <table border="1" data-bbox="752 730 1155 880"> <tr> <td></td> <td>阿児事業所</td> </tr> <tr> <td>延べ利用者数</td> <td>1,281名</td> </tr> <tr> <td>[前年比]</td> <td>0名</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・年度別推移 <table border="1" data-bbox="752 928 2145 1225"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>サービス活動収益</td> <td>17,146,310円</td> <td>18,687,159円</td> <td>16,351,091円</td> <td>17,094,500円</td> <td>17,667,360円</td> </tr> <tr> <td>延べ利用者数</td> <td>1,343名</td> <td>1,419名</td> <td>1,238名</td> <td>1,281名</td> <td>1,281名</td> </tr> <tr> <td>当期利益</td> <td>495,142円</td> <td>888,858円</td> <td>-450,122円</td> <td>-295,066円</td> <td>350,428円</td> </tr> <tr> <td>当期利益増減値 [前年比]</td> <td>-91,982円</td> <td>393,716円</td> <td>-1,338,980円</td> <td>155,056円</td> <td>645,494円</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・延べ利用者数に増減なく、介護保険収益が増加したのはコロナ緊急包括支援金の交付によるもので、当初予算より64万円増加しました。効率よくサービスを提供する事による経費削減に努め、利益の増加につなげました。 		阿児事業所	延べ利用者数	1,281名	[前年比]	0名		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	サービス活動収益	17,146,310円	18,687,159円	16,351,091円	17,094,500円	17,667,360円	延べ利用者数	1,343名	1,419名	1,238名	1,281名	1,281名	当期利益	495,142円	888,858円	-450,122円	-295,066円	350,428円	当期利益増減値 [前年比]	-91,982円	393,716円	-1,338,980円	155,056円	645,494円
	阿児事業所																																					
延べ利用者数	1,281名																																					
[前年比]	0名																																					
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度																																	
サービス活動収益	17,146,310円	18,687,159円	16,351,091円	17,094,500円	17,667,360円																																	
延べ利用者数	1,343名	1,419名	1,238名	1,281名	1,281名																																	
当期利益	495,142円	888,858円	-450,122円	-295,066円	350,428円																																	
当期利益増減値 [前年比]	-91,982円	393,716円	-1,338,980円	155,056円	645,494円																																	

■評価

目標の達成度	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者一人一人の希望を確認し、湯温・時間を調整し、きめ細やかなサービスの提供ができました。支援中に本人、家族の話を聴くことで、介護負担の軽減や精神的負担の軽減に努めました。 ・毎回の訪問終了後に利用者ごとのケース検討、話し合いを行い、利用者の情報共有を図ることで、職員の資質の向上に努めました。 ・居宅介護支援事業所へこまめに空き情報を提供し、新規利用者の獲得、利用回数の増加に努めました。 ・新型コロナウイルス感染症拡大による職員の不安等についてこまめに話を聴くことで、ストレスを軽減することができました。
評価 B	

4. 福祉用具貸与事業・・・支出予算 1,961千円

(1) 福祉用具貸与事業

■目標

- ①利用者のニーズに沿った福祉用具を提供することにより、利用者の心身の機能維持、改善並びに家族の身体的、精神的な負担の軽減に努めます。
- ②職員の資質の向上（介護技術・医療の知識・接遇等）に取り組み、研修会への参加や勉強会を定期的に開催していきます。
- ③各居宅介護支援事業所へ空き状況を報告するなど連携を取りながら新規利用者の獲得に積極的に取り組んでいきます。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況						
①資質向上、専門性を担保するため、1人1回以上外部研修に参加します。	0%	①新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、参加を予定していた全ての研修会が中止となりました。ウェブ研修、リモート研修での研修機会の確保を試みましたが、専門研修の受講に至りませんでした。事業所内研修で、志摩市社協新型コロナウイルス感染症対策行動計画（事業継続計画）についての説明を含む研修会、安全運転・車両点検、接遇研修に参加しました。（出席者：各1名）						
②各居宅介護支援事業所へ周知等を行い、利用者増加に努めます。	0%	②居宅介護支援事業所へカタログの配布や訪問を行いました。利用者増にはつながりませんでした。						
③前年比並みの利用者数を確保します。	79%	③施設入所や死亡された利用者があり、その後新規利用者の確保ができなかったため、利用者減となってしまいました。						
		④営業実績						
		・延べ利用者数						
		<table border="1"> <tr> <td></td> <td>貸与利用者数</td> <td>販売利用者数</td> </tr> <tr> <td>延べ利用者数</td> <td>128名</td> <td>1名</td> </tr> </table>		貸与利用者数	販売利用者数	延べ利用者数	128名	1名
	貸与利用者数	販売利用者数						
延べ利用者数	128名	1名						

		[前年比]	-35 名	-2 名			
		<ul style="list-style-type: none"> ・年度別推移 					
			平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
		サービス活動収益	1,880,230 円	2,285,340 円	2,361,667 円	2,411,738 円	2,020,710 円
		延べ利用者数	146 名	142 名	152 名	163 名	128 名
		当期利益	800,503 円	896,731 円	935,927 円	410,475 円	233,734 円
		当期利益増減値 [前年比]	-438,719 円	96,228 円	39,196 円	-525,452 円	-176,741 円
		<ul style="list-style-type: none"> ・補完型福祉機器貸与事業は、浜島 8 件、大王 27 件、志摩 18 件、阿児 20 件、磯部 8 件、合計 81 件の利用希望があり、対応しました。 ・この事業は、訪問サービス課の職員が兼務で担当している事業であることから積極的に利用者確保をすすめなかったこともあり、利用者が死亡等で減少後、増加させることができませんでした。令和 2 年度末においては、実利用者は 9 名となっており、令和元年度の実利用者数（12 名）を目標に増加させる努力を行います。 					

■評価

目標の達成度 評価 C	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者のニーズに沿った福祉機器を貸与、販売することで、本人の自立の支援、介護負担の軽減に努めました。 ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、外部研修が中止となったため、ウェブ等での研修機会を模索しましたが、機会を得ることができませんでした。インターネットや情報誌を活用して知識の習得に努めました。 ・居宅介護支援事業所へ周知、情報共有を行いました。利用者の増加につなげることができませんでした。
----------------	---

5. 訪問看護事業・・・・・・支出予算 13,463千円

(1) 訪問看護事業

■目標

- ①利用者のニーズに沿ったサービスを提供することにより、利用者の社会的孤立感の解消及び心身の機能維持、改善並びに家族の身体的、精神的な負担の軽減に努めます。
- ②職員の資質向上（新たな知識の習得、多職種との連携強化）に取り組み、研修会への参加に努めます。
- ③各居宅介護支援事業所へ空き状況を報告するなど連携を取りながら新規利用者の獲得、利用者のサービス提供回数増に積極的に取り組んでいきます。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況						
①毎月1回管理者会議へ出席します。	83%	①新型コロナウイルス感染症拡大の影響で4、5月は中止となりましたが、6月以降は毎月1回の管理者会議に出席し、情報を共有し、資質の向上に努めました。						
②資質向上、専門性を担保するため、1人1回以上外部研修に参加します。	133%	②専門研修：4回参加（管理者会議後の専門研修10回） 「第1回伊勢志摩心不全ネットワーク」研修会、新型コロナ感染症発生時の連携体制について、在宅で起こりやすい皮膚トラブル、胃ろう・留置カテーテル管理について、認知症事例検討会等 ウェブ研修会を活用することで、研修会に参加しやすい環境ができました。 事業所内研修で行われた、志摩市社協新型コロナウイルス感染症対策行動計画（事業継続計画）についての説明を含む研修会、接遇研修、安全運転・車両点検に関する研修会に参加しました。（出席者：各3名）						
③研修会参加者による伝達講習を実施します。	100%	③研修会に参加した職員が、研修会の資料を使って毎月のケースカンファレンス実施の際に伝達し、支援に活用しました。						
④居宅介護支援事業所へ空き状況の報告をし、スムーズなサービス提供につなげます。	100%	④月1回、居宅介護支援事業所4ヵ所へ周知、情報共有を行い、利用希望者には迅速な対応を行いました。また、病院、診療所等を訪問し、利用者確保に努めましたが、24時間体制のこともあり医療保険による新規利用者確保につながりませんでした。						
⑤延べ利用者数を前年比+10%を目標とします。	99%	⑤延べ利用者は前年比+9.9%となりました。 介護保険新規利用者：10人　利用終了者：10人　利用回数増加を希望された方が増加しました。						
⑥職員確保に努めます。（1名以上）	0%	⑥職員確保はできませんでしたが、職員間の連携、情報共有を行うことで、より質の高いサービス提供を行うことができました。また、法人全体の看護師不足を補うため、週1回阿児通所及び月1回生活介護事業所へ応援体制を取りました。						
⑦年度内でも収支の状況を見て、事業継続について検討します。	100%	⑦理事会において協議の結果、事業継続についての判断は現時点では示されず、地域ニーズの把握と環境への影響、運営状況等をさらに見極めることが指示されており、今後も継続課題として検討します。						
		⑧営業実績 ・延べ利用者数						
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>介護保険</th> <th>医療保険</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延べ利用者数</td> <td>1,938名</td> <td>0名</td> </tr> </tbody> </table>		介護保険	医療保険	延べ利用者数	1,938名	0名
	介護保険	医療保険						
延べ利用者数	1,938名	0名						

		[前年比]	+174名	0名			
		<ul style="list-style-type: none"> ・年度別推移 					
			平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
		サービス活動収益	18,523,890円	15,123,190円	11,146,590円	10,947,290円	12,393,769円
		延べ利用者数	2,785名	2,405名	1,924名	1,791名	1,938名
		当期利益	3,499,161円	-198,946円	1,771,213円	-2,124,547円	-1,742,243円
		当期利益増減値	793,580円	-3,698,107円	1,970,159円	-3,895,760円	382,304円
		[前年比]					
		<ul style="list-style-type: none"> ・訪問看護連絡協議会のアドバイザー派遣事業を活用し、訪問看護事業に関するアドバイスを受けました。アドバイザーから「利用者に喜んでもらえる事業所として何ができるか」、「慢性疾患に特化した事業所としての運営」などについて助言を受けたことにより、本会の利用者にサービスに関する希望を聴き居宅介護支援事業所と連携した支援を行いました。例：車いすで散歩したいなど ・実利用者数の変動はありませんでしたが、利用回数を増やすことを希望する利用者にサービスを提供したことにより延べ利用者数は増加となり、当初予算より165万円（コロナ緊急包括支援金の交付53万円含む）増加しました。また通所介護事業所の看護師不足を解消するための応援体制により人件費を案分したため、利益は少し回復しましたが、174万円の赤字となっています。事業を運営していくには常勤換算で2.5人以上の職員が必要であり、人件費を賄うだけの利用実績がないと事業継続が困難となります。令和2年度末においては正職員2名、パート職員1名の体制であり、人員配置を見直すことも必要かと思われます。 					

■評価

目標の達成度	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者一人一人の希望を確認し、ニーズに沿ったきめ細やかなサービスの提供ができました。支援中に本人、家族の話を聴くことで、介護負担の軽減や精神的負担の軽減に努めました。また、利用者に変化があった際には、職員間で情報共有を行い、支援内容の再確認、看護内容等の見直しについての提案を行いました。 ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、外部研修はほぼ中止となりましたが、インターネットや情報誌を活用して知識の習得に努めました。ウェブ研修会が主流になり、参加しやすいこともあり、多くの研修会に参加することができ、研修内容を共有し、訪問に役立てました。 ・居宅介護支援事業所等へこまめに空き情報を提供し、新規利用者の獲得に努めました。また、病院、診療所等を訪問し、利用者確保に努めましたが、24
評価	

時間体制のこともあり医療保険による新規利用者確保につながりませんでした。

○通所介護課（事業方針）

令和元年度は、大王通所及び阿児通所の利用者数が大幅に減少しました。その対策として今年度阿児通所においては、改修工事を見越した利用抑制の影響を最小限に抑えるため、通常通りの事業を継続し、外部のリハビリ専門職を活用した生活機能向上連携を実施します。大王通所では、機能訓練加算を算定し、事業所の機能強化を広報し利用者増を図ります。

以上のことを踏まえ、通所介護課においては、次のとおり取り組みを行います。

1. 通所介護事業・・・支出予算 265,214千円

（1）通所介護事業及び介護予防・日常生活支援総合事業通所型サービス

■目標

- ①居宅介護支援事業所に空き情報をこまめに報告するなど連携をとりながら、新規利用者の獲得及び利用者のサービス提供回数増に積極的に取り組んでいきます。
- ②職員の資質向上（介護技術・医療の知識・接遇等）に取り組み、研修会への参加や勉強会を定期的に行います。
- ③利用してみたいとの希望があれば、介護保険の認定を受けていない方でも体験利用や見学できるように努めていきます。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況
①通所会議を定期的に行います。（年6回）	100%	①通所会議を6回開催（5月、7月、9月、11月、1月、3月）しました。さらに今年度は計画外の課題解決会議を6回開催（5月、6月、8月、10月、12月、2月）し、現状の課題分析、将来展望、事業継続計画（BCP）について協議しました。
②常勤職員は外部研修に参加します。（1人2回以上）	163%	②常勤職員については、研修会に参加するよう計画していましたが、しかしながら新型コロナウイルス感染拡大防止のため研修会が相次ぎ中止となりましたが、下半期はオンライン研修が開催され参加できる研修が増えました。（基礎的な研修 2回24名、専門的な研修 17回56名、その他 3回5名）
③資質向上のため、内部研修・伝達研修を開催します。（年3回）	142%	③各事業所において、勉強会（事業計画、接遇、安全運転・車両点検、介護保険報酬改正）を開催しました。（浜島4回、大王4回、阿児5回、磯部4回）また、実績が伸び悩んでいる大王・阿児においては、事業運営（人員配置・経営）について合同で定期的な常勤会議を開催しました。（合同会議4回、39名）
④大王通所において機能訓練加算を算定します。	100%	④4月から機能訓練を実施しました。機能訓練を実施する利用者は63名中22名です。（3月現在）

⑤阿児通所において生活機能向上連携加算を算定します。

⑥1日の平均利用を浜島33名、大王27名、阿児22名、磯部29名とします。

100%
浜 109%
大 93%
阿 90%
磯 104%

⑤4月から志摩の里と生活機能向上連携業務に関する協定書を締結し、理学療法士と連携し個別機能訓練を実施しています。機能訓練を実施する利用者は55名中43名です。(3月現在)

⑥営業実績

・経営状況(予防・基準該当生活介護含む)

	浜島事業所	大王事業所	阿児事業所	磯部事業所	合計
利用定員	40名→45名	40名	30名	40名	155名
延べ利用者数	11,094名	7,513名	6,052名	9,209名	33,868名
[前年比]	+952名	-454名	-41名	+555名	+1,012名
サービス提供日数	307日	298日	307日	306日	
1日平均利用者数	36.1名	25.2名	19.7名	30.1名	111.1名
前年度 1日平均利用者数	33.3名	26.1名	20.0名	28.4名	107.7名
当期利益	13,669,210円	-3,622,543円	874,730円	10,178,212円	21,099,609円
当期利益増減値 [前年比]	11,979,049円	2,132,457円	5,760,509円	5,817,055円	25,689,070円

・年度別推移

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
サービス活動収益	285,619,750円	287,290,029円	280,098,404円	274,740,914円	295,860,053円
延べ利用者数	33,623名	33,395名	32,921名	32,856名	33,868名
当期利益	19,042,342円	13,922,715円	2,131,961円	-4,589,461円	21,099,609円
当期利益増減値 [前年比]	18,382,965円	-5,119,627円	-11,790,754円	-6,721,422円	25,689,070円

・台風の影響により10月11日が休みとなり、営業日は307日(前年度より2日多い)でした。新型コロナウイルス感染症の影響により4月と5月は利用を自粛される方がいました。また、2月には大王通所介護事業所において新型コロナウイルス感染症により9日間営業を休止しました。通所介護事業の利用状況は、浜島通所介護事業所と磯部通所介護事業所において利用者が大幅に増加したため、前年度より延利用者数は増えています。なお、各事業所

		<p>の分析については以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浜島通所介護事業所 年間の平均利用者数は36.1名（前年度33.3名）で延利用者数は952名の増加です。収益は前年度より1,383万円増加（中重度ケア体制加算により440万円増、1日平均利用者数3名増により750万円増）し、当初予算よりも1,369万円増加しました。 ・大王通所介護事業所 年間の平均利用者数は25.2名（前年度26.1名）で延利用者数は454名の減少です。4月から機能訓練加算、5月からは中重度ケア体制加算を算定しましたが、中重度ケア体制加算については7月から再び算定できなくなりました。また、先述しましたように新型コロナウイルス感染症により9日間営業日が少なくなったことが収益減の主な要因です。そのため、収益は前年度よりも100万円減少し、当初予算よりも328万円減少しました。 ・阿児通所介護事業所 年間の平均利用者数は19.7名（前年度20.0名）で延利用者数は41名減少しました。新型コロナウイルス感染症の影響がありましたが、延べ利用者数は前年度並みでした。4月から生活機能向上連携加算を算定したことにより、収益は前年度より175万円増加しましたが、当初予算よりは約354万円減少しました。 ・磯部通所介護事業所 年間の平均利用者数は30.1名（前年度28.4名）で延利用者数は555名増加しました。収益は前年度よりも305万円増加し、当初予算よりも2万円増加しました。
--	--	---

■評価

<p>目標の達成度</p> <table border="1"> <tr> <td>評価</td> <td>A</td> </tr> </table>	評価	A	<ul style="list-style-type: none"> ・各居宅介護支援事業所に空き情報のお知らせをするとともに、利用回数増の要望がある方については積極的に受け入れました。 ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響で研修会が相次ぎ中止になりましたが、オンライン研修が開催されたので可能な限り参加しました。勉強会の開催については、予定どおり定期的に変更しました。 ・お試しの利用を希望される方については、継続して受け入れを行いました。
評価	A		

2. 介護予防事業（受託事業）・・・・・・支出予算 4,514千円

(1) 介護予防事業（菜の花館）

■目標

①外出の機会が少ない高齢者等が、要支援・要介護に陥らず、生きがいをもち地域で自立した生活を送ることができるよう支援します。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況									
①菜の花館の運営を行います。 ⇒生きがい活動支援通所事業の実施 (水曜日・金曜日) ⇒一般利用(火曜日、木曜日)	59%	①事業実績 ・延べ利用者数 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>生きがい活動支援通所(水・金)</th> <th>一般高齢者通所(火・木)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延べ利用者数</td> <td>542名</td> <td>620名</td> </tr> <tr> <td>[前年比]</td> <td>-144名</td> <td>-676名</td> </tr> </tbody> </table>		生きがい活動支援通所(水・金)	一般高齢者通所(火・木)	延べ利用者数	542名	620名	[前年比]	-144名	-676名
		生きがい活動支援通所(水・金)	一般高齢者通所(火・木)								
延べ利用者数	542名	620名									
[前年比]	-144名	-676名									
②施設・事業の将来像を市と協議します。	100%	※新型コロナウイルス感染症予防対策として、生きがい活動支援通所及び一般高齢者通所は5月19日まで休止しました。また、市内のカラオケ店でクラスターが発生したことに伴い、再び一般高齢者通所事業は2月3日より3月末まで休止しました。そのため、利用者数は大幅な減少となりました。 ②生きがい活動支援通所の利用者については対象利用者を要支援の方も利用できるよう緩和されたため、3月より利用者が2倍となっています。引き続き、将来像について協議を行います。									

■評価

目標の達成度 評価 C	・生きがい活動支援通所及び一般高齢者通所とも新型コロナウイルス感染拡大防止で休止していた期間があるため、昨年度より延利用者数は減少しました。しかしながら、生きがい活動支援通所の新規利用者は2月から3月にかけて8名ありました。
----------------	--

○障がい福祉課(事業方針)

障がい福祉課においては、障がいのある児・者が日中活動を有意義に利用できるように、関係機関と連携しながら事業運営していくために、次のとおり取り組みを行います。特に、障がい福祉分野で必要となる資格取得に向けた整備を総務課と協働して進めます。

1. 障がい者生活介護センター事業・・・・・・支出予算 100,972千円

(1) 障がい者生活介護センター事業

■目標

①介護を要する障がいのある方に、通所していただき、入浴、排せつ及び食事等の介護、創作活動や生産活動の機会の提供、その他身体機能及び生活能力の向上のための必要な援助を行います。また、家族の身体的、精神的な負担の軽減に努めます。今年度から日中一時支援事業は、生活介護きらりの事業の中に位置づけます。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況																		
①質の向上のため一人2回以上外部研修に参加します。また、研修会参加者による伝達講習を実施し全体のスキルアップを図ります。	28%	<p>① 外部研修派遣の状況</p> <table border="1" data-bbox="752 427 1823 571"> <thead> <tr> <th></th> <th>基礎研修</th> <th>専門研修</th> <th>その他</th> <th>計(延べ人数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>かがやき</td> <td>8名</td> <td>5名</td> <td>3名</td> <td>16名</td> </tr> <tr> <td>きらり</td> <td>0名</td> <td>0名</td> <td>12名</td> <td>12名</td> </tr> </tbody> </table> <p>*目標：各事業所 50 回/年×2 事業所 実績：28/100 回</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響を受け、今年度計画されていた研修等が中止となり、目標延べ人数とは異なった状況となってしまいました。今後も努力し、可能な限りで研修に参加していきます。下半期においても新型コロナウイルス感染症の影響を受け、研修の開催状況が減少傾向であったため、研修参加実績数を伸ばすことが出来ませんでした。</p>					基礎研修	専門研修	その他	計(延べ人数)	かがやき	8名	5名	3名	16名	きらり	0名	0名	12名	12名
	基礎研修	専門研修	その他	計(延べ人数)																
かがやき	8名	5名	3名	16名																
きらり	0名	0名	12名	12名																
②毎月1回常勤会議を開催し、情報の共有、課題等の検討に取り組みます。	89%	<p>②会議開催の状況</p> <table border="1" data-bbox="752 863 1626 1007"> <thead> <tr> <th></th> <th>職員会議</th> <th>支援会議等</th> <th>計(回数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>かがやき</td> <td>13回</td> <td>12回</td> <td>25回</td> </tr> <tr> <td>きらり</td> <td>6回</td> <td>12回</td> <td>18回</td> </tr> </tbody> </table> <p>*目標：各事業所 24 回/年×2 事業所 実績：43/48 回</p> <p>(きらり)</p> <p>新型コロナウイルス感染防止対策等もあり、職員会議が予定数の半分となってしまいました。会議の際は、極力三密を避けるために間隔を取り実施しています。</p> <p>下半期においても、職員会議の開催頻度が減少し、当初予定した回数の半分となり目標の達成は出来ませんでした。情報共有のためにミーティングでの伝達や回覧を行うことで、事業所内においてサービスの質の向上に活かすことが出来ました。</p> <p>障がい福祉課の課題を検討する会議を年7回開催しました。(計画外)</p>					職員会議	支援会議等	計(回数)	かがやき	13回	12回	25回	きらり	6回	12回	18回			
	職員会議	支援会議等	計(回数)																	
かがやき	13回	12回	25回																	
きらり	6回	12回	18回																	
③職員のスキルアップのため、勉強会の	30%	<p>③上半期においては、新型コロナウイルス感染症の影響があり、勉強会を実施することが出来ませんでした。</p>																		

機会（年1回以上）を確保します。

④かがやき、きらりの両事業所において前年度延べ利用人数を実績目標とします。

99%

下半期においては、課内の全職員が集合して勉強会を実施することを避けて、課内会議での資料を使った伝達研修の機会を確保し、情報共有することができました。

④営業実績

・経営状況

	きらり事業所	かがやき事業所	合計
利用定員	20名	20名	40名
延べ利用者数	4,230名	3,098名	7,328名
[前年比]	-48名	+8名	-40名
サービス提供日数	244日	244日	488日
1日平均利用者数	17.3名	12.7名	15.0名
前年度 1日平均利用者数	17.7名	12.8名	15.2名
当期利益	-6,316,280円	-35,347円	-6,351,627円
当期利益増減値 [前年比]	-9,263,207円	168,190円	-9,095,017円

・年度別推移

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
サービス活動収益	89,853,633円	100,860,438円	100,385,715円	97,404,172円	101,791,077円
延べ利用者数	8,236名	8,017名	7,571名	7,368名	7,328名
当期利益	15,717,210円	15,859,718円	11,288,870円	2,743,391円	-6,351,627円
当期利益増減値 [前年比]	-2,619,030円	142,508円	-4,570,848円	-8,545,479円	-9,095,017円

・かがやき

延べ利用者数は前年比8名の微増となり、介護給付収益が約99万円増加しました。育児休暇であった契約職員1名が令和2年4月から復職したことにより、人件費は約280万円増加しました。また、磯部通所介護事業所との折

	<p>半で特殊浴槽（4,691,000円）を購入したため費用が大幅に増額しました。</p> <p>・きらり</p> <p>延べ利用者数は前年比48名減少し、介護給付収益が約65万円減少しました。かがやき事業所で予算計上していた正職員1名の人件費を、令和2年度からきらり事業所へ移行したことにより、人件費が前年度と比較して大幅に増加しました。</p>
--	--

■評価

<p>目標の達成度</p> <table border="1" data-bbox="91 523 282 576"> <tr> <td>評価</td> <td>B</td> </tr> </table>	評価	B	<p>(かがやき)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員会議と支援会議を毎月開催し、職員間で情報共有及び課題の検討を図りながら事業に取り組みました。 ・新型コロナウイルス感染症の影響で年間を通して研修の機会が少なく、厳しい結果となりました。下半期からは、オンライン研修に参加することで職員のスキルアップを図ることができました。また、パート職員2名が研修に参加することができましたが、今後も参加できる職員を広げる体制を整えたいと思います。研修後は、伝達研修を行い職員間で内容を共有し、現場業務に役立てることができました。 ・行事に関しては、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、なるべく外出を控えて感染リスクを避けながらも利用者を楽しみを持ってもらえるように工夫をしました。 ・長期入院された方もありましたが、前年に比べ延べ利用者数は増加しており、目標を達成することができました。（新規利用者1名、利用回数の追加を希望する利用者4名の対応ができました。）複数の方から利用回数を増やしてほしいなどの利用希望がありますが、送迎車輛の配車台数等により受け入れが困難な状況となっています。 ・昨年に引き続き、利用者満足度を把握するためのアンケートを実施しましたので、要望や課題等の把握に努め今後の支援に活かしていきたいと思いません。 <p>(きらり)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外部研修への参加については、新型コロナウイルス感染症の状況が好転せず目標は達成されませんでした。なるべく事業所内での研修を取り入れる努力を行いました。 ・職員会議の開催回数について目標は未達成でしたが、開催した際はなるべく職員間での情報共有を行うことで事業に活かすことが出来ました。 ・新型コロナウイルス感染症の予防策として、利用者やご家族の協力と理解のもと、外出支援、プール利用、菓子工房等の行事を中止させていただきました。また、職員間で工夫を行い、施設内の三密を避けながら、少ない回数ではありますがレクリエーション行事を楽しんでいただけたと思います。 ・利用実績については、新型コロナウイルス感染症の影響により、6名の利用者が4月と5月に利用自粛となりました。 <p>年間を通しては、2名が利用中止、2名が新規利用となっており、実利用者数は変動していませんが、前年度延べ利用人数の目標達成は出来ませんでした。</p>
評価	B		

た。

- ・利用者満足度アンケートの結果を活かし、可能な範囲内でサービスの質の向上に努めることが出来ました。

2. 放課後等デイサービスセンター事業・・・・・・・・支出予算 23,132千円

(1) 障がい児童デイサービスセンター事業

■目標

- ①障がいのある学齢期の子ども健全な育成を図るため、授業の終了後または休業日に、生活能力の向上に必要な訓練や指導、集団生活への適応訓練、社会との交流の促進等を行い、様々な体験を通じ個々の子どもの状況に応じた発達支援を提供します。また、各事業所の実情に応じた創意工夫を図り提供する支援の質の向上に努めます。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況										
①支援の質の向上のため、一人2回以上の外部研修に参加します。	22%	① 外部研修派遣の状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>基礎研修</th> <th>専門研修</th> <th>その他</th> <th>計(延べ人数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>くれよん</td> <td>0名</td> <td>0名</td> <td>11名</td> <td>11名</td> </tr> </tbody> </table> *目標：50回/年 実績：11回/50回		基礎研修	専門研修	その他	計(延べ人数)	くれよん	0名	0名	11名	11名
	基礎研修	専門研修	その他	計(延べ人数)								
くれよん	0名	0名	11名	11名								
②毎月支援会議及び常勤会議を開催し、情報の共有や支援課題の検討等に取り組みます。	50%	②会議開催の状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>職員会議</th> <th>支援会議等</th> <th>計(回数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>くれよん</td> <td>6回</td> <td>6回</td> <td>12回</td> </tr> </tbody> </table> *目標：24回/年 実績：12回/24回		職員会議	支援会議等	計(回数)	くれよん	6回	6回	12回		
	職員会議	支援会議等	計(回数)									
くれよん	6回	6回	12回									
③職員のスキルアップや事故・虐待防止のために職員全体会議及び勉強会を確保します。 (年4回以上)	25%	③新型コロナウイルス感染症の影響があり、10月22日(木)の1回のみ虐待防止についての勉強会を実施しました。										
④常に課題や苦情が発生した場合は、真摯に受け止め速やかに課題解決に取り組み改善策の共有を図ります。	100%	④今年度においては大きな課題や苦情はありませんでしたが、課題や苦情が発生した場合は真摯に受け止め、速やかに課題解決に取り組み、改善策の共有を図っていきます。										
⑤くれよん、くれよん2の両事業所において年	79%	⑤営業実績										

齢による退所者が3名いるものの、前年度延べ利用人数を実績目標とします。

※令和2年2月から事業統合し、障がい児童デイサービスセンターくれよん（主たる事業所）、障がい児童デイサービスセンターくれよん2（従たる事業所）として事業運営しています。

・経営状況

	くれよん（浜島・大王）
利用定員	10名
延べ利用者数	2,567名
[前年比]	-263名
サービス提供日数	243日
1日平均利用者数	10.5名
前年度1日平均利用者数	11.6名
当期利益	2,918,624円
当期利益増減値 [前年比]	5,536,559円

・年度別推移

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
サービス活動収益	26,448,004円	37,758,046円	30,332,397円	26,877,689円	26,197,232円
延べ利用者数	3,072名	3,481名	3,250名	2,830名	2,567名
当期利益	-1,924,486円	10,420,645円	1,991,897円	-2,617,936円	2,918,624円
当期利益増減値 [前年比]	-6,015,857円	12,345,131円	-8,428,748円	-4,609,833円	5,536,559円

・延べ利用者数は前年比263名減少したことにより、介護給付収益が約82万円減少しました。令和2年度からキャリアのある職員に代わり、新卒の正職員1名を配置したことで人件費を抑制することができました。

■評価

目標の達成度	・職員のスキルアップを目指し、目標を定めて外部研修へ参加することとていしましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で厳しい結果となりました。
評価	C ・利用者の楽しみでもある事業所内でのイベント及び行事は、新型コロナウイルス感染症の影響により大幅に縮小し、外食等は行わず室内の飾りつけや

	<p>浜島でのプール活動等の支援となりました。</p> <ul style="list-style-type: none">・利用者数は昨年実績と比較すると、新型コロナウイルス感染症によって各学校が臨時休校となった影響もあり大幅に減少しました。・くれよん2（大王）の利用者が多数利用自粛したため、両事業所の活動内容に大幅な偏りがありました。・利用者の減少並びに新型コロナウイルス感染症対策としての三密回避を鑑み、浜島の利用者（3名）に大王で4月中旬～5月末の臨時休校期間中のみ利用していただきました。・昨年に引き続き、利用者満足度を把握するためのアンケートを実施しましたので、今後の支援に活かしていきたいと考えています。・4月中旬～5月末は、新型コロナウイルス感染症の影響で各学校が臨時休校となったことで、当初の放課後利用ではなく、長期休暇と同様の休校日利用として支援しました。・少子化に伴う利用者数の減少が予測されるため、市内2カ所で運営していた障がい児童デイサービスセンター事業は、令和3年度から大王町に拠点を置く「くれよん2」にて運営する統合計画を立案しました。令和3年4月の短縮授業終了後（4月中旬頃）に実施していく予定です。
--	--

3. 就労支援事業・・・支出予算 173,287千円

(1) はばたき・あいのその・えりはら・ひまわり

■目標

【B型（はばたき、あいのその、えりはら）】

①一般企業等での就労が困難な障がいのある方に働く場を提供するとともに、知識及び能力の向上のために必要な訓練を行います。

【移行（ひまわり）】

①一般企業などへの就労を希望する人に、一定期間、就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練を行います。

【A型（ひまわり）】

①労働者（雇用）として働きながら一般就労を目指します。

【生活介護（えりはら）】

①介護を要する障がいのある方に通所していただき、排せつ及び食事等の介護、創作活動や生産活動の機会の提供、その他身体機能及び生活能力の向上のための必要な援助を行います。また、家族の身体的、精神的な負担の軽減に努めます。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況
------	-----	------

<p>【共通】</p> <p>①職員会議を毎月1回開催します。 (その他必要に応じて職員会議・支援会議等を適宜開催)</p> <p>②サービスの質及び知識向上に向け外部研修への積極的な参加を行います。また、参加していない職員にも共有できるよう伝達研修等も積極的に取り入れていきます。</p> <p>③新しい食品表示ルール、HACCPによる衛生管理に対応します。 ※HACCP（ハサップ）とは、制度化された国際的な基準で食品の安全を高める衛生管理の方法</p> <p>④はばたき、あいのその、えりはら、ひまわりの事業所において、前年度延べ利用人数を実績目標とします。</p>	<p>90%</p> <p>23%</p> <p>100%</p> <p>99%</p>	<p>【共通】</p> <p>①会議開催の状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>職員会議</th> <th>支援会議等</th> <th>計（回数）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>はばたき</td> <td>8回</td> <td>8回</td> <td>16回</td> </tr> <tr> <td>あいのその</td> <td>13回</td> <td>12回</td> <td>25回</td> </tr> <tr> <td>えりはら</td> <td>12回</td> <td>12回</td> <td>24回</td> </tr> <tr> <td>ひまわり</td> <td>11回</td> <td>11回</td> <td>22回</td> </tr> </tbody> </table> <p>*目標：各事業所 24回/年×4事業所 目標：87回/96回</p> <p>②外部研修派遣の状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>基礎研修</th> <th>専門研修</th> <th>その他</th> <th>計（名）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>はばたき</td> <td>14名</td> <td>7名</td> <td>1名</td> <td>22名</td> </tr> <tr> <td>あいのその</td> <td>11名</td> <td>3名</td> <td>1名</td> <td>15名</td> </tr> <tr> <td>えりはら</td> <td>1名</td> <td>2名</td> <td>3名</td> <td>6名</td> </tr> <tr> <td>ひまわり</td> <td>1名</td> <td>1名</td> <td>1名</td> <td>3名</td> </tr> </tbody> </table> <p>*目標：各事業所 50回/年×4事業所 実績：46回/200回</p> <p>③（はばたき、あいのその、えりはら）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10月から11月に開催の伊勢保健所主催によるHACCP制度化説明会へ、各事業所の現場職員が参加しました。 <参加者数：はばたき3名、あいのその3名、えりはら3名> ・今後は各事業所と共有しながら管理書類を整備していき、HACCPに沿った衛生管理を令和3年4月から開始していきます。 <p>④就労支援事業営業実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>はばたき</th> <th>あいのその</th> <th>えりはら</th> <th>ひまわり</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用定員</td> <td>20名</td> <td>20名</td> <td>20名</td> <td>20名</td> <td>80名</td> </tr> <tr> <td>延べ利用者数</td> <td>4,962名</td> <td>4,091名</td> <td>4,912名</td> <td>929名</td> <td>14,894名</td> </tr> <tr> <td>[前年比]</td> <td>+129名</td> <td>-354名</td> <td>+55名</td> <td>+147名</td> <td>-23名</td> </tr> <tr> <td>サービス提供日数</td> <td>263日</td> <td>243日</td> <td>248日</td> <td>240日</td> <td>994日</td> </tr> </tbody> </table>		職員会議	支援会議等	計（回数）	はばたき	8回	8回	16回	あいのその	13回	12回	25回	えりはら	12回	12回	24回	ひまわり	11回	11回	22回		基礎研修	専門研修	その他	計（名）	はばたき	14名	7名	1名	22名	あいのその	11名	3名	1名	15名	えりはら	1名	2名	3名	6名	ひまわり	1名	1名	1名	3名		はばたき	あいのその	えりはら	ひまわり	合計	利用定員	20名	20名	20名	20名	80名	延べ利用者数	4,962名	4,091名	4,912名	929名	14,894名	[前年比]	+129名	-354名	+55名	+147名	-23名	サービス提供日数	263日	243日	248日	240日	994日
	職員会議	支援会議等	計（回数）																																																																										
はばたき	8回	8回	16回																																																																										
あいのその	13回	12回	25回																																																																										
えりはら	12回	12回	24回																																																																										
ひまわり	11回	11回	22回																																																																										
	基礎研修	専門研修	その他	計（名）																																																																									
はばたき	14名	7名	1名	22名																																																																									
あいのその	11名	3名	1名	15名																																																																									
えりはら	1名	2名	3名	6名																																																																									
ひまわり	1名	1名	1名	3名																																																																									
	はばたき	あいのその	えりはら	ひまわり	合計																																																																								
利用定員	20名	20名	20名	20名	80名																																																																								
延べ利用者数	4,962名	4,091名	4,912名	929名	14,894名																																																																								
[前年比]	+129名	-354名	+55名	+147名	-23名																																																																								
サービス提供日数	263日	243日	248日	240日	994日																																																																								

1日平均利用者数	18.9名	16.8名	19.8名	3.9名	14.9名
前年度					
1日平均利用者数	18.0名	17.9名	19.3名	3.3名	14.8名
当期利益	-735,258円	2,557,701円	-412,315円	-10,219,519円	-8,809,388円
当期利益増減値 [前年比]	-1,886,488円	-2,564,999円	-6,311,830円	-2,724,056円	-13,487,373円

・年度別推移

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
サービス活動収益	184,696,020円	178,230,592円	171,102,888円	170,797,812円	170,011,343円
延べ利用者数	16,091名	14,826名	15,161名	14,917名	14,894名
当期利益	20,937,109円	15,825,430円	8,865,599円	4,677,985円	-8,809,388円
当期利益増減値 [前年比]	8,483,618円	-5,111,679円	-6,959,831円	-4,187,614円	-13,487,373円

・はばたき

延べ利用者数は前年比129名の増加となり、訓練等給付収益が約166万円増加しました。新型コロナウイルス感染症の影響でイベントや移動販売等による売り上げが落ち込み、就労支援事業収益は前年比で約86万円の減少となりました。

・あいのその

延べ利用者数は前年比354名の減少となり、訓練等給付収益が約235万円減少しました。訓練等給付収益が減少した理由としては、11月中旬から利用者の諸事情による利用休止が1名、死亡者が1名、4月から5月にかけて新型コロナウイルス感染症による利用休止が2名であったことが要因です。また、新型コロナウイルス感染症の影響で、就労支援事業収益が前年比で約335万円の減少となりました。特に「味工房ともやま」は、ともやま公園の宿泊客や修学旅行などの団体客が減少したことにより朝食、夕食などの売上が落ち込んだことが最大の要因となっています。

・えりはら

延べ利用者数は前年比55名の増加となり、訓練等給付収益が約29万円増加しました。なお、コロナ禍の状況ではありませんでしたが、就労支援事業収益が前年比で約48万円増加しました。特に前年比で売り上げが伸びた事業は、シルバー人材センターから受注する配食サービスが約8万円、弁当の受注販売が約26万円とそれぞれ増額となりました。

<p>【はばたき】</p> <p>①工賃向上へ向けた新たな商品開発に取り組めます。</p> <p>②職員の資質向上へ向け、研修や勉強会等に積極的に参加します。</p> <p>③各作業場での高齢化等を考慮し、各年齢層、個別ニーズにあった作業メニューの提供を行います。</p>	<p>70%</p> <p>44%</p> <p>60%</p>	<p>また、費用において令和元年度末で定年退職した正職員1名を嘱託職員として再雇用し、えりはら事業所へ人員配置したことにより人件費が約309万円増加する結果となりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひまわり <p>延べ利用者数は前年比147名の増加となり、訓練等給付収益が約97万円増加しました。就労支援事業収益も前年比約21万円増加しました。費用については、人事異動に伴う人件費が前年比約280万円増加しました。法人本部で計上していた消費税の経費を令和2年度から事業所別の経費としたことにより、前年比約35万円増加しました。延べ利用者数が増加することにより、人件費が約198万円増加する結果となりました。(A型事業所では、利用者を雇用するため)</p> <p>【はばたき】</p> <p>①新型コロナウイルス感染症の影響で、イベント等がなく新たな形態での販売や商品の開発に取り組みました。</p> <p>農園：志摩市農林課より、梅の提供や芝桜の植替え及び除草作業の委託がありました。梅については収穫から加工、販売に向けて取り組みを行いました。また、新型コロナウイルス感染症対策としてマスクの製作と販売を通年で行いました。</p> <p>菓子工房：移動販売の自粛等に伴って、浜島事業所等への陳列販売や各種イベントでの商品予約形態をとり販売を促進しました。</p> <p>味処：新型コロナウイルス感染症対策として、状況に応じてテイクアウトと配食による使い分けを行いながらの提供販売を行いました。</p> <p>②研修会は新型コロナウイルス感染症の影響により中止傾向となったことから、例年より参加機会が少なくなりましたが、可能な限り研修へ参加するよう取り組みました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回より新たな取り組みとなった、通信での研修への参加を行いました。 ・現場職員が自立支援協議会の研修委員会の委員となり、実際に研修を組み立てる側として参加しました。 <p>③新型コロナウイルス感染症の影響による緊急事態宣言や緊急警戒宣言等があり、利用者の安全と三密状態の緩和のための取り組みを行いました。そのため、今年度については、担当者会議や対面での面談が十分にできず、書面による希望確認やサービス等についてのアンケートを実施しました。</p> <p>農園：農園については、利用者が多いこともあり、三密の状態を避けるため、利用者同士の作業の間隔や手指消毒等の対策や時間をずらして食事提供を行ったりしました。緊急事態宣言時や緊急警戒宣言時に</p>
--	----------------------------------	--

<p>④現状の事業を見直し整理を行います。</p>	<p>60%</p>	<p>は、自宅作業等を組み合わせながら、新たな作業メニューを提供しました。</p> <p>レインボー：緊急事態宣言時には営業を休止しましたが、その後は新型コロナウイルス感染症対策をとり再開しました。作業についても消毒等を行いながらの作業が多くなりました。</p> <p>味 処：テイクアウト等を中心とした作業の組み立てが多くなったこともあり、午後からの作業について、消毒作業や内職作業を多く取り入れました。</p> <p>④今回の新型コロナウイルス感染症による影響もあり、新たな形態にあった事業展開を行いました。</p> <p>農 園：今年度は、当番業務についてマニュアルを見直し、再度作業を見直しました。利用者間の距離感や様々な状況下でできる作業について見直しました。</p> <p>菓子工房：ペットクッキーを新たな形で販売したり、イベントに合わせた予約販売等を行いました。また、メニューチラシ等を新たに見直しました。</p> <p>味 処：テイクアウトや様々な環境下で営業ができるようマニュアルを作成していくよう検討しました。</p>
<p>【あいのその】</p> <p>①現行の作業内容の整理を行います。 (あいのその、ひかり)</p> <p>②工賃向上のために戦略的な作業計画を立てられるよう準備を行います。 (あいのその)</p> <p>③工賃向上へ向けて、新たな作業内容及び販売ルートの開拓を行います。 (共通)</p>	<p>60%</p>	<p>【あいのその】</p> <p>①②③</p> <ul style="list-style-type: none">・これまでの作業メニュー、自主製品では、新型コロナウイルス感染症の影響下において生産活動収入が大きく減少することが分かりました。新型コロナウイルス感染症の影響がある状況でも、生産活動収入を維持もしくは向上できるようにするための新しい仕事を模索しています。・障がい者自立支援協議会の「働くプロジェクト」から、新たに「牡蠣養殖に使用するロープのくぎ抜き作業」の受注をいただきました。・立神地区にある「草木染め」工房へ、職員と利用者が3日間に分かれて工房体験をしました。令和3年度には、新たな自主製品として「草木染め」を立ち上げる予定です。・味工房ともやまについては、ともやま公園での合宿や修学旅行等がほぼキャンセルとなり、春休み、ゴールデンウィーク、夏休み等の売上収入は減少しました。しかし、9月～11月の時期は、伊勢志摩圏域への修学旅行、志摩自然学校での体験学習を行う学校が多数あり、例年同月と比較すると収入は増えました。・昨年度より「共同受注窓口みえ」からいただいていた、「三重とこわか国体」啓発用のポケットティッシュへの台紙入れ作業を行いました。・新型コロナウイルス感染症の影響で生産活動収入が落ちたため、急遽、布製マスク作りを始め、大王通所介護事業所

<p>【えりはら】</p> <p>①店舗のリニューアル計画の実施(壁面・オーニングテント・店内レイアウト・お店限定メニューの商品開発)</p> <p>②受託作業の課題を整理し、工賃確保、工賃UPにつながる作業を取り入れます。</p> <p>③火曜日を活用した惣菜事業の展開を広げます。</p> <p>④家族交流会(面談)を開催します。</p>	<p>60%</p> <p>80%</p> <p>80%</p> <p>90%</p>	<p>の利用者によるマスク購入の協力もあり、収入の落ち込みを補填することができました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひかり作業場の自主製品を、道の駅、海女の家五左屋で販売していただけるようになりました。 ・鶴方幼稚園が、新型コロナウイルス感染症の影響で開催できない夕涼み会の代替えプレゼントとして、ひかり作業場のアイロンビーズ製品の注文をいただきました。今後は、他の幼稚園にも、ひかり作業場の自主製品の営業を行います。 ・自主製品の販売ルートを探しています。地中海村、横山カフェテラス ミラドール志摩等に交渉する予定です。また、「草木染め」を開始したら、他の自主製品と併せてPLANT 志摩店での手作り市に出店することも考えています。 <p>【えりはら】</p> <p>①皇學館大学のCLL活動(「伊勢志摩定住自立圏共生学」教育プログラムによる地域人材育成)と連携して、手作りの製品企画、フェアチランシのデザイン図案を学生と検討する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施できませんでした。しかし、大学構内での「えりはらパン」の知名度を上げるために大学生との会議を数回重ねて、構内用の販売チランシを学生中心に作成して売上向上に努めました。</p> <p>②内職作業の職員負担(点検)の多い作業を見直し、発注元と相談して高度な作業は量を少なくして、なるべく利用者ができる作業を増やすように取り組みました。そして、厨房作業に利用者を増員し、受注作業等を他の利用者に振り分けして作業時間の確保に努めました。また、パンの販売先については、新型コロナウイルス感染症拡大防止により幾つかの企業や事業所からえりはらの移動販売自体を断られた時期もありましたが、新規の販売先を開拓して工賃確保に努めました。</p> <p>③配食及び弁当の受注販売の実績は下表のとおりです。惣菜事業については実施できませんでしたが、木曜日の弁当の受注販売については、厨房作業の利用者を2名体制にして、1回の受注可能数を増やしました。</p> <table border="1" data-bbox="734 1145 2163 1391"> <thead> <tr> <th>販売先等</th> <th>実績</th> <th>内訳</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>シルバー人材センター(配食)</td> <td>2,146,620円</td> <td>4月385個、5月404個、6月462個、7月427個、8月360個、9月459個 10月505個、11月420個、12月418個、1月342個、2月438個、3月491個</td> </tr> <tr> <td>弁当の受注販売</td> <td>847,390円</td> <td>4月98個、5月106個、6月130個、7月147個、8月96個、9月156個 10月197個、11月190個、12月211個、1月204個、2月119個、3月190個</td> </tr> </tbody> </table> <p>④今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、当初予定していた家族交流会(面談)の代替として、事業所の</p>	販売先等	実績	内訳	シルバー人材センター(配食)	2,146,620円	4月385個、5月404個、6月462個、7月427個、8月360個、9月459個 10月505個、11月420個、12月418個、1月342個、2月438個、3月491個	弁当の受注販売	847,390円	4月98個、5月106個、6月130個、7月147個、8月96個、9月156個 10月197個、11月190個、12月211個、1月204個、2月119個、3月190個
販売先等	実績	内訳									
シルバー人材センター(配食)	2,146,620円	4月385個、5月404個、6月462個、7月427個、8月360個、9月459個 10月505個、11月420個、12月418個、1月342個、2月438個、3月491個									
弁当の受注販売	847,390円	4月98個、5月106個、6月130個、7月147個、8月96個、9月156個 10月197個、11月190個、12月211個、1月204個、2月119個、3月190個									

<p>(年1回)</p> <p>【ひまわり】</p> <p>①牡蠣の販売方法及び販売ルートの開拓を行います。</p> <p>②一般企業などへの就労を希望する人に、情報を提供し、企業との面接機会を増やします。</p> <p>③就労移行支援事業所の今後の方向性を検討します。</p>	<p>60%</p> <p>100%</p> <p>70%</p>	<p>サービスの質の向上等を目的とした「えりはらの利用に関するアンケート」を実施しました。</p> <p>【ひまわり】</p> <p>①牡蠣の販売については例年、本会のホームページからの注文及び電話、FAXでの注文を受け付けていますが、新規はもちろん前年度のリピーター（約80%程度）にも多く利用いただきました。また、ホームページについては閲覧数を増やすための再調整を行いました。</p> <p>②就労移行支援の利用登録者は3名ですが、1名は利用休止中で、1名はB型事業所へ移行しました。もう1名は、就労に関する情報の提供や事業所見学の実施、あるいは市内の事業所での実習などを通してステップアップを目指し、就労に向けての支援を継続して行っています。</p> <p>③志摩市には就労移行支援事業所が「ひまわり」だけのため、検討の結果、次年度も事業を継続していく予定です。</p>
---	-----------------------------------	--

■評価

<p>目標の達成度</p> <table border="1" data-bbox="91 836 282 884"> <tr> <td>評価</td> <td>B</td> </tr> </table>	評価	B	<ul style="list-style-type: none"> ・就労支援事業は、4月から5月の約2ヵ月間、新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者及び家族の判断で利用を自粛する方が、あいのその・はばたき・えりはらの事業所で数名ずつみえました。しかし、あいのそのを除く3事業所で、延べ利用者数は前年度実績数を上回る結果となり訓練等給付費は増額となりました。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響で、イベント行事や訪問販売での自主製品の売り上げが伸びず、生産活動収入が落ち込む結果となりました。この傾向は、令和3年度以降も予測されるため、新型コロナウイルス感染症の影響下に対応した販売方法対策を日々考えながら今後も事業実施していく必要性があります。 ・6月頃からサービス利用を自粛する方も減少傾向となっており、新型コロナウイルス感染症に引き続き留意しながら、今後は少しずつでも売り上げを回復していけるような事業運営を目指していきます。 ・職員の資質向上のために積極的な外部研修への参加を促すよう計画していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、上半期は各種研修会の開催が中止や延期といった状況が続き、各事業所とも研修会参加の実績が厳しい結果となりました。
評価	B		

社会福祉法人 志摩市社会福祉協議会

〒515-0214 三重県志摩市磯部町迫間 955

TEL 0599-56-1600

FAX 0599-56-1601

e-mail honsho@shima-fukushikyo.or.jp

<http://www.shima-fukushikyo.or.jp>